

スーパーグローバル大学創成支援事業
東京外国語大学 目標の進捗状況



2025年3月7日

東京外国語大学

目次

第1章 概要	4
スーパーグローバル大学創成支援事業とは	4
本資料の概要	4
第2章 目標の進捗状況（国際化関連）	5
第1節 多様性	5
教員に占める外国人及び外国の大学で学位を取得した専任教員等の割合	5
職員に占める外国人及び外国の大学で学位を取得した専任職員等の割合	7
教職員に占める女性の比率	9
全学生に占める外国人留学生の割合	11
第2節 流動性	15
日本人学生に占める留学経験者の割合	15
大学間協定に基づく交流数	20
第3節 語学力関係	24
外国語による授業科目数・割合	24
外国語のみで卒業できるコースの数等	29
学生の語学レベルの測定・把握、向上のための取組	31
第4節 教務システムの国際通用性	32
ナンバリング実施状況・割合	32
シラバスの英語化の状況・割合	33
第5節 大学の国際開放度	34
奨学金支給の入学許可時の伝達	34
混住型学生宿舎の有無	35
第3章 目標の進捗状況（ガバナンス改革関連）	38
年俸制の導入	38
テニユアトラック制の導入	40
事務職員の高度化への取組	42
第4章 目標の進捗状況（教育改革関連）	43
学生の主体的参加と大学運営への反映の促進	43
TOEFL等外部試験の学部入試への活用	44

第5章 目標の進捗状況（大学独自の成果指標）	46
語学力（語学力に関するチャレンジ目標達成者）	46
Joint Education Program 開設数	47
留学200%達成者	48
本学学生の全世界的展開	49
Global Japan Office の設置数	50
巻末資料 各指標の定義について	51

スーパーグローバル大学創成支援事業とは

スーパーグローバル大学創成支援事業とは、文部科学省が国際化を徹底して進める大学をスーパーグローバル大学（SGU）として採択し、大学改革を重点支援していくプロジェクトです。本プロジェクトは、2014年度から2023年度までの10年間実施されました。

SGUには、世界レベルの教育研究を行う大学「タイプA（トップ型）」と、日本社会のグローバル化を牽引する大学「タイプB（グローバル化牽引型）」の2種類があり、以下のとおり計37大学が選ばれています。

【タイプA 13大学】

北海道大学、東北大学、筑波大学、東京大学、東京医科歯科大学、東京工業大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、広島大学、九州大学、慶應義塾大学、早稲田大学

【タイプB 24大学】

千葉大学、東京外国語大学、東京藝術大学、長岡技術科学大学、金沢大学、豊橋技術科学大学、京都工芸繊維大学、奈良先端科学技術大学院大学、岡山大学、熊本大学、国際教養大学、会津大学、国際基督教大学、芝浦工業大学、上智大学、東洋大学、法政大学、明治大学、立教大学、創価大学、国際大学、立命館大学、関西学院大学、立命館アジア太平洋大学

(うち、奈良先端科学技術大学院大学と国際大学は、学部をもたない大学院だけの大学)

本資料の概要

本資料は、独立行政法人日本学術振興会の資料及び本学の実績値をもとに、本学が定めた目標の進捗状況をグラフで表したものです。

経年比較の対象となるのは、スーパーグローバル大学創成支援事業の実施開始の前年度（2013年度）から2023年度までです。なお、SGU採択校平均及びタイプB平均の割合は、割合を単純に足し上げ、対象となる大学数で割っています。

第2章

目標の進捗状況（国際化関連）

第1節

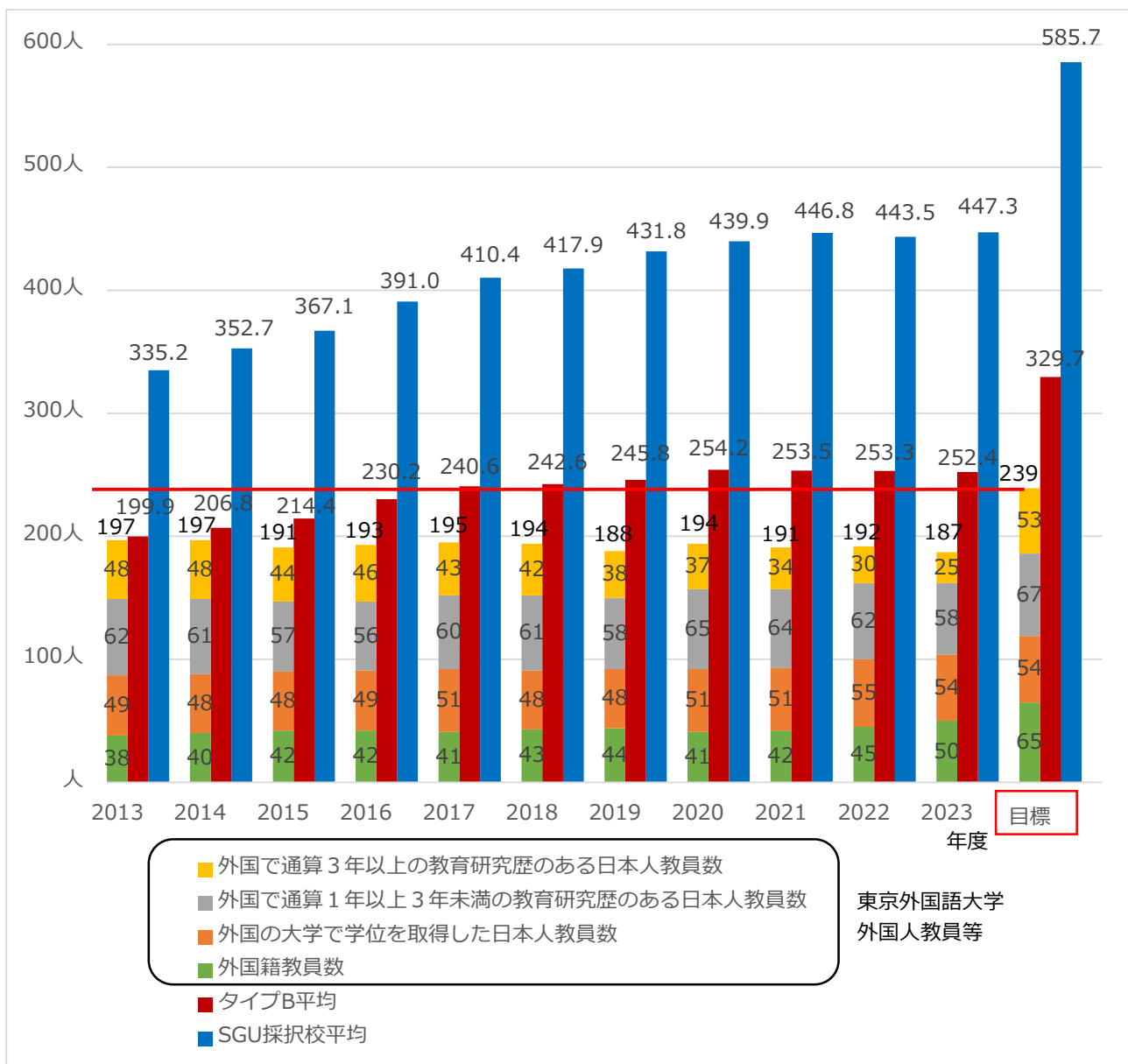
多様性

大学共通必須項目

教員に占める外国人及び外国の大学で学位を取得した専任教員等の割合

○人数

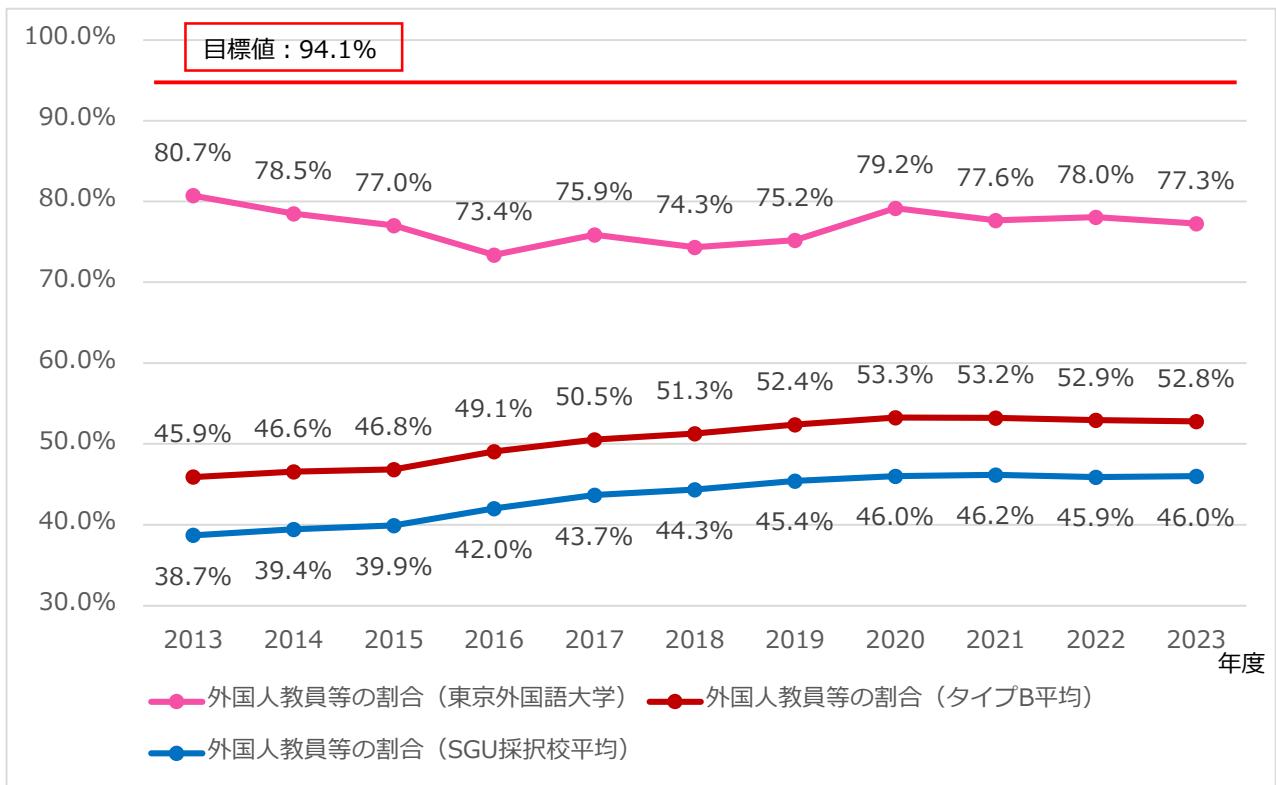
(毎年度5月1日時点)



○割合

割合 = 外国人教員等 ÷ 全専任教員数

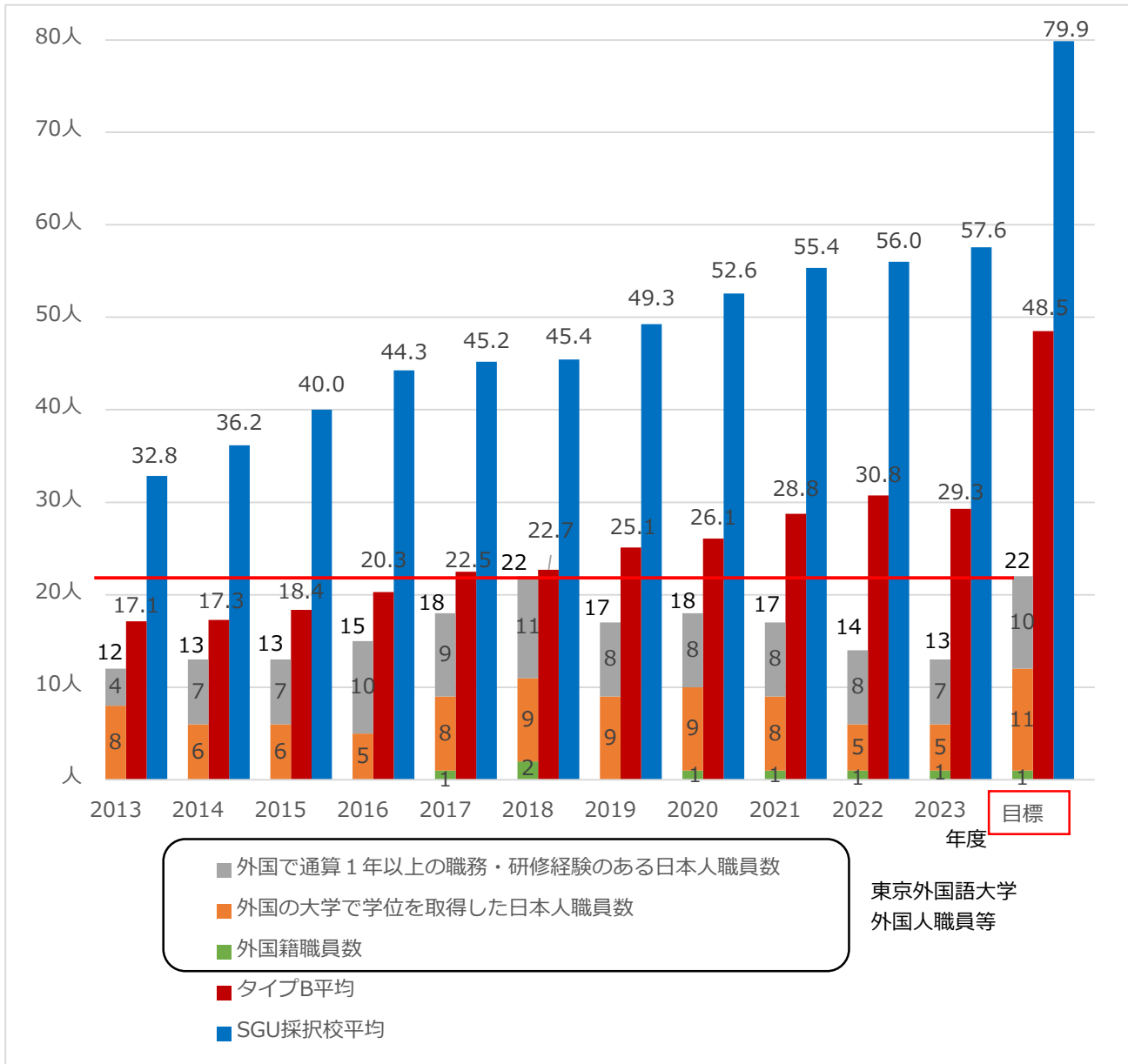
(毎年度5月1日時点)



職員に占める外国人及び外国の大学で学位を取得した専任職員等の割合

○人数

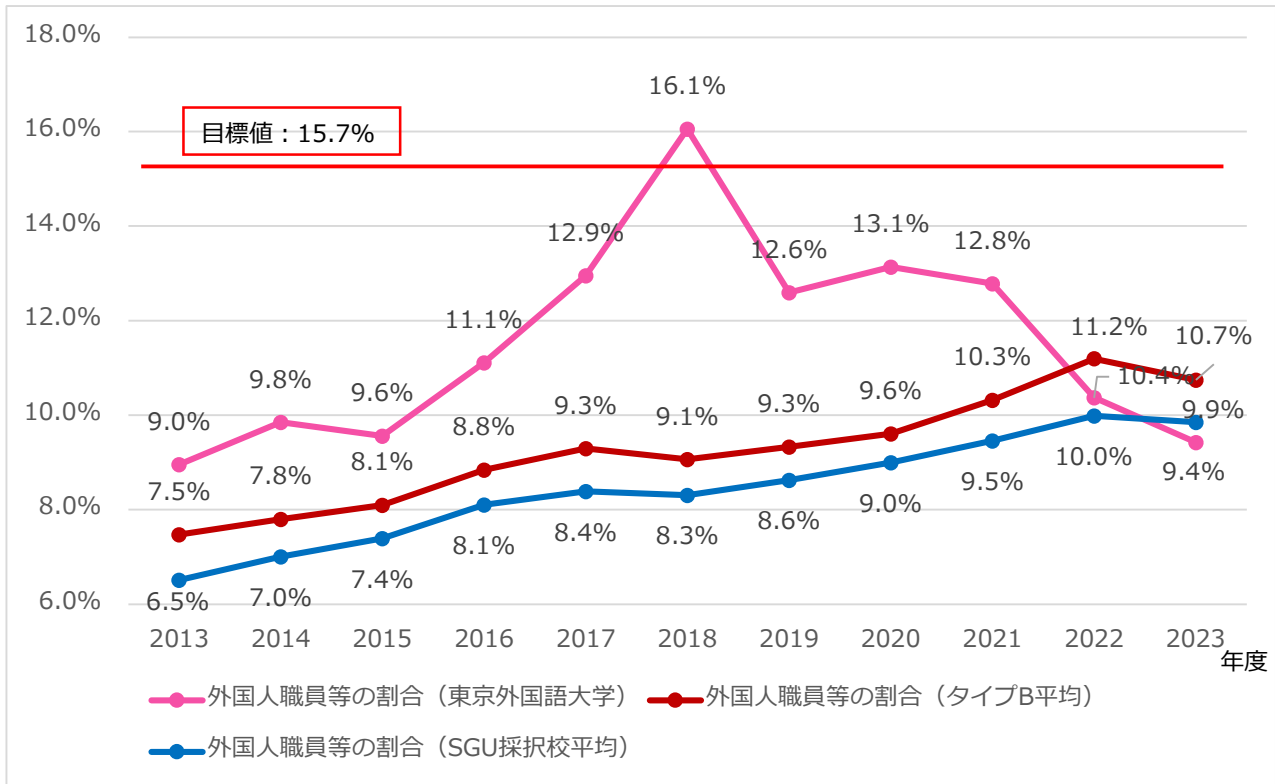
(毎年度5月1日時点)



○割合

割合 = 外国人職員等 ÷ 全専任職員数

(毎年度5月1日時点)



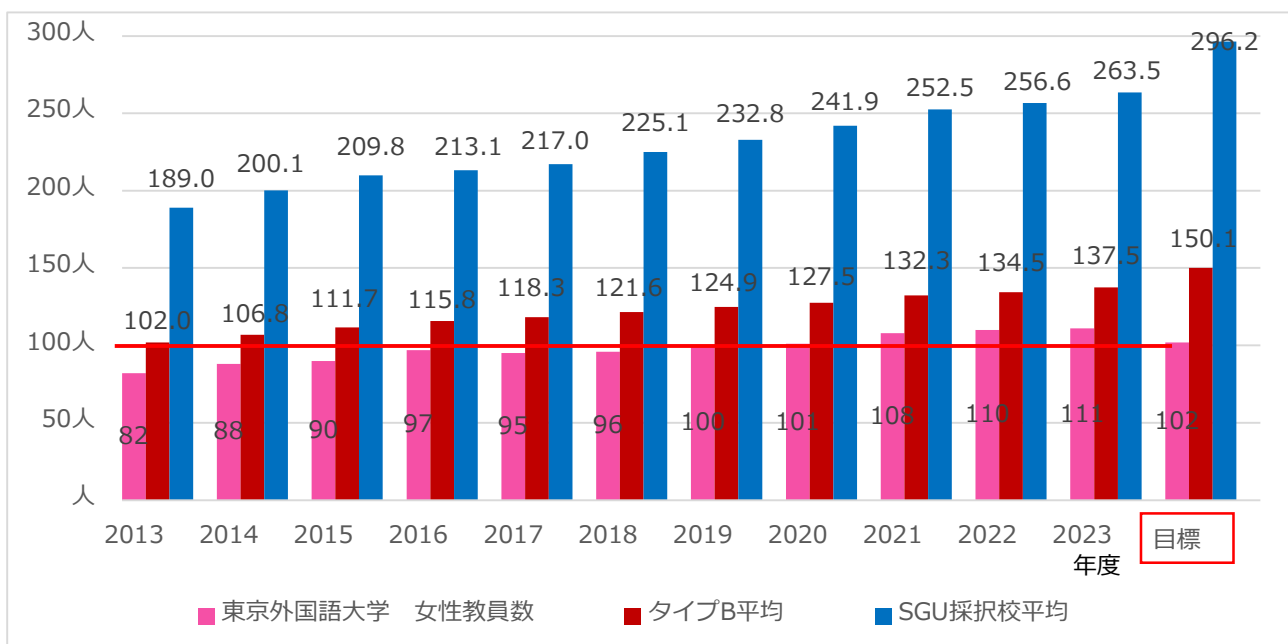
教職員に占める女性の比率

大学選択項目（本学選択）

●教員に占める女性の比率

○人数

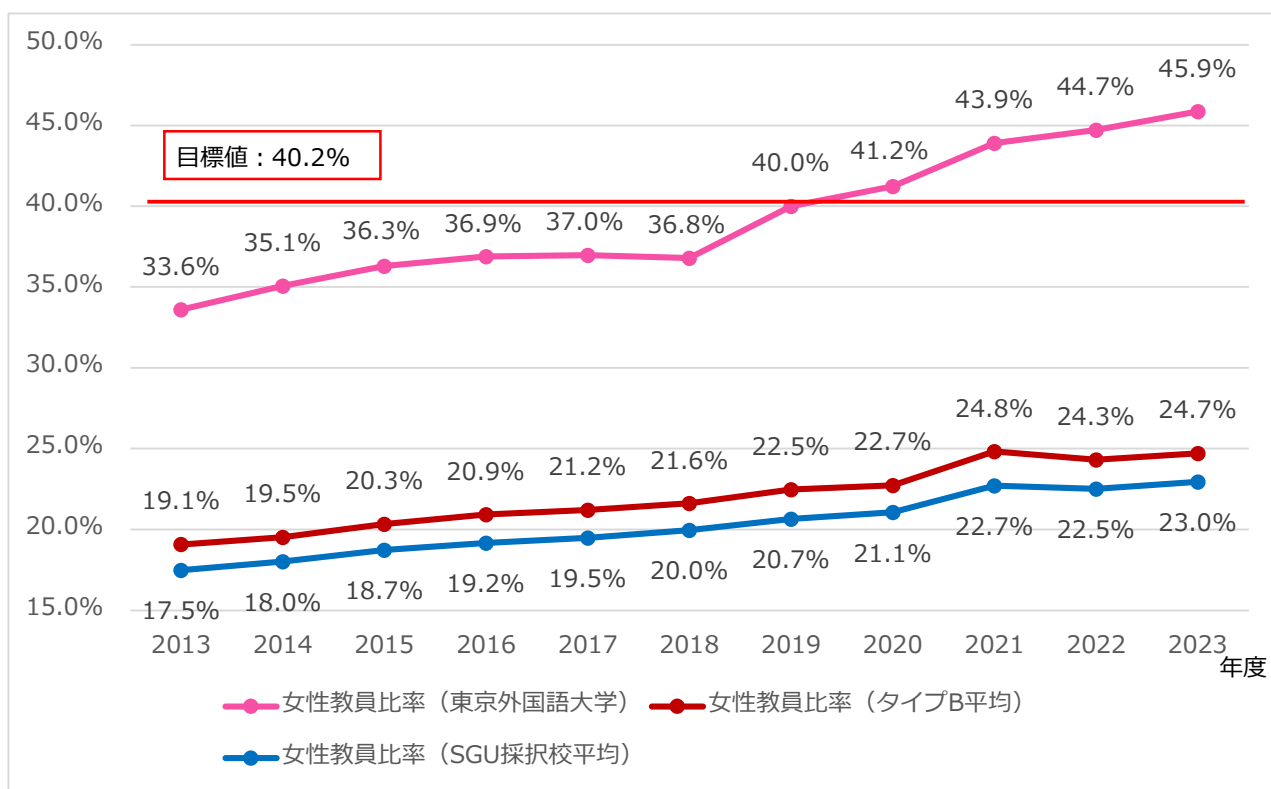
（毎年度5月1日時点）



○割合

割合 = 女性教員数 ÷ 全専任教員数

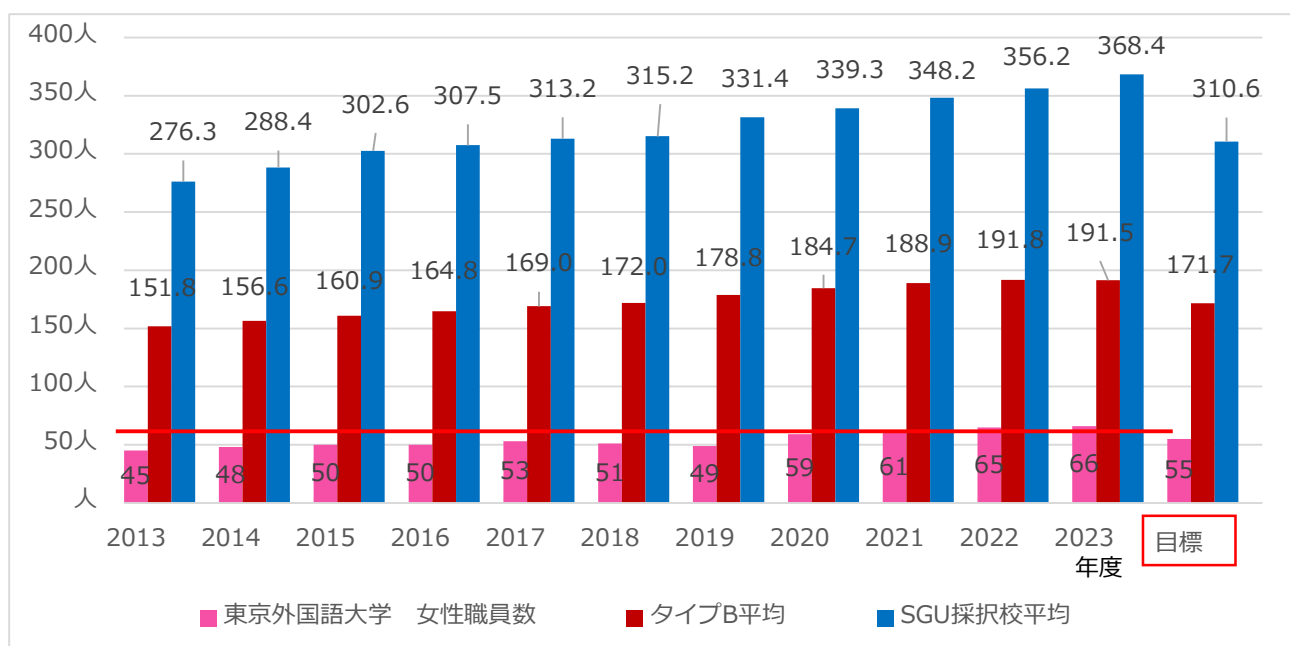
（毎年度5月1日時点）



●職員に占める女性の比率

○人数

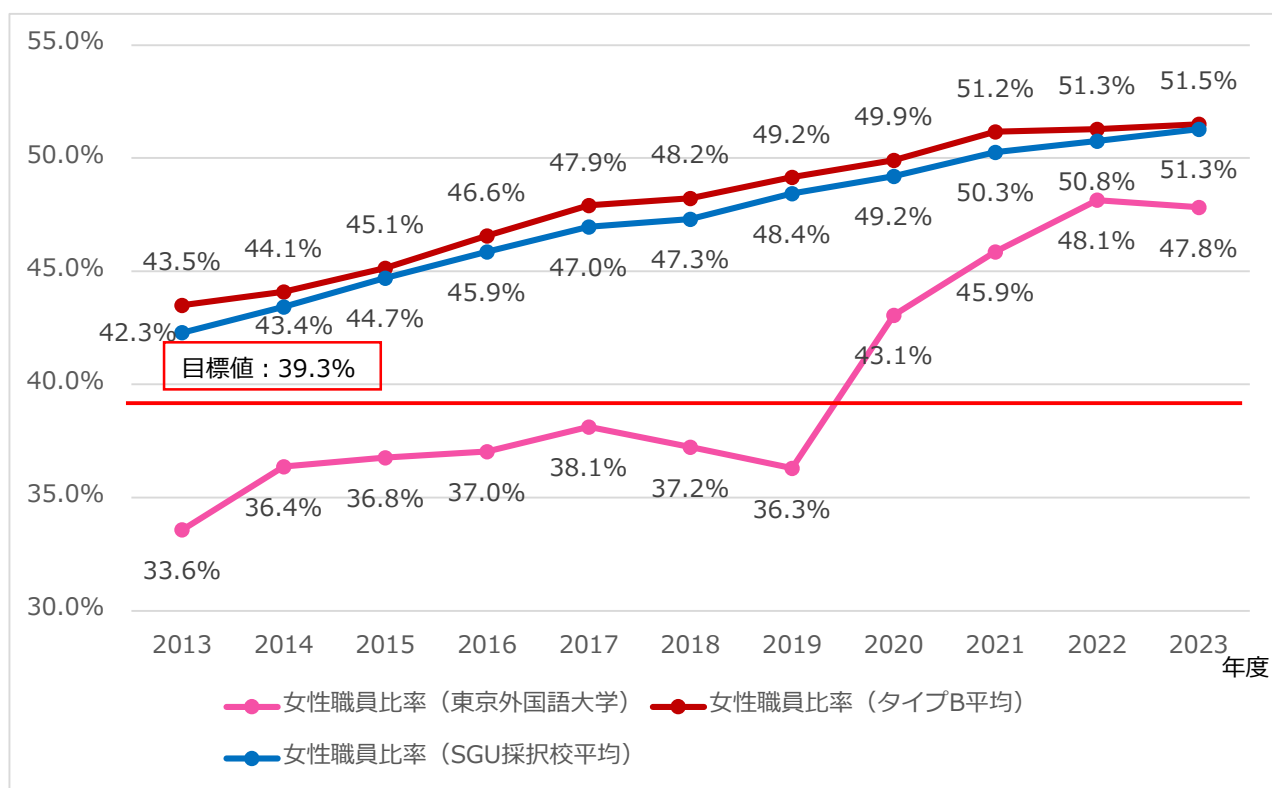
(毎年度5月1日時点)



○割合

割合 = 女性職員数 ÷ 全専任職員数

(毎年度5月1日時点)



※2018年度、2021年度、2022年度、2023年度はフォローアップ結果に掲載なし

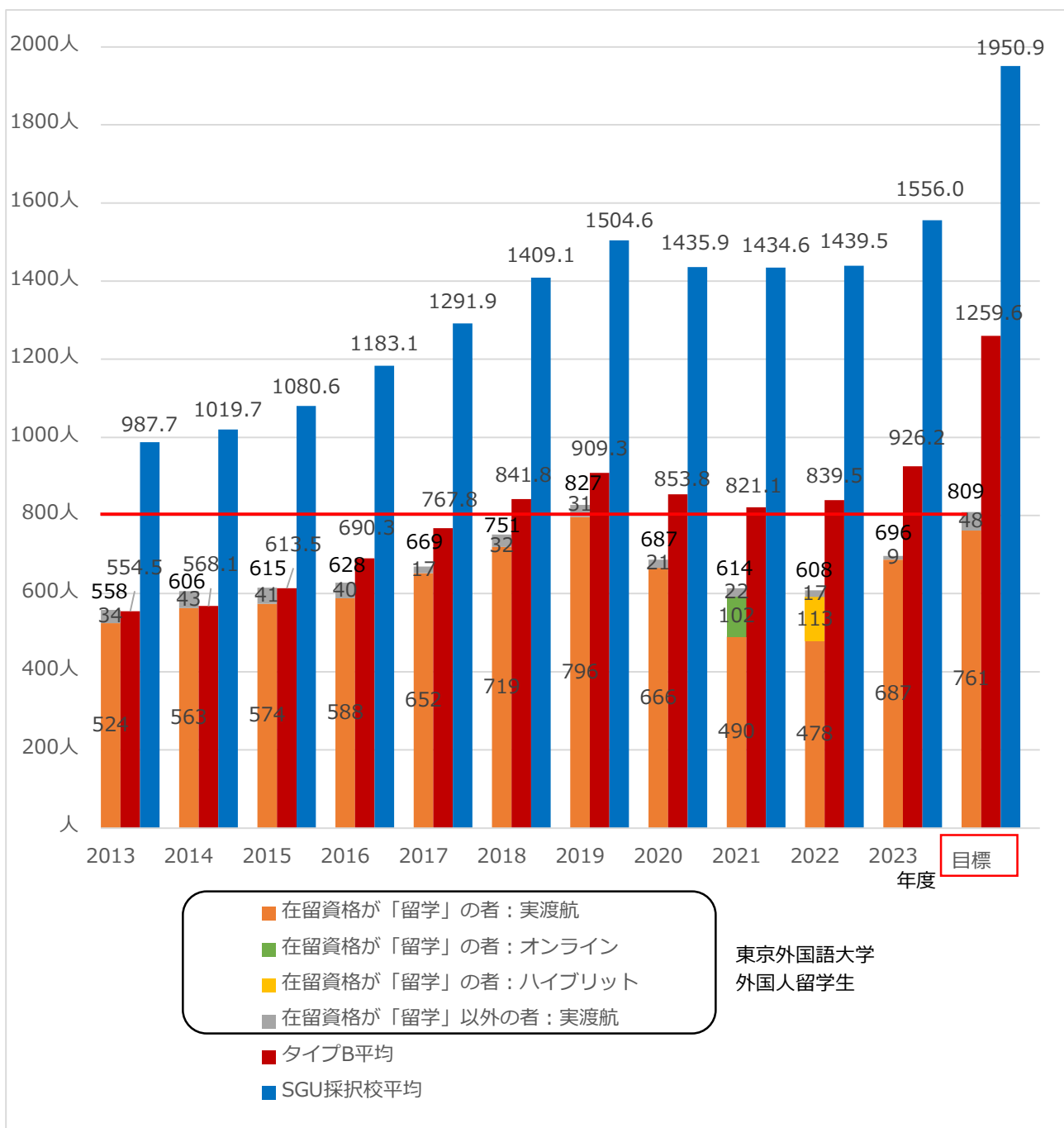
全学生に占める外国人留学生の割合

大学共通必須項目

●5月1日時点

○人数

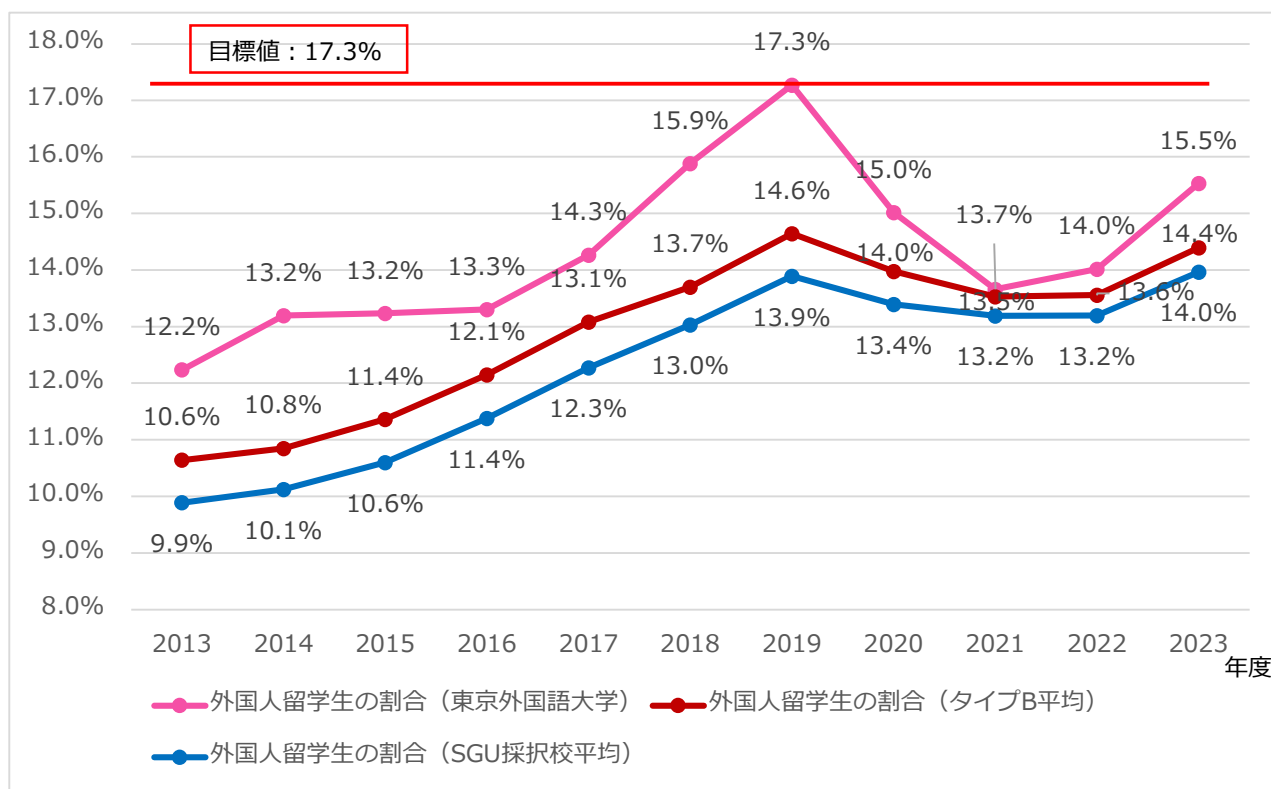
(毎年度5月1日時点)



○割合

割合 = 外国人留学生数 (5月1日時点) ÷ 全学生数

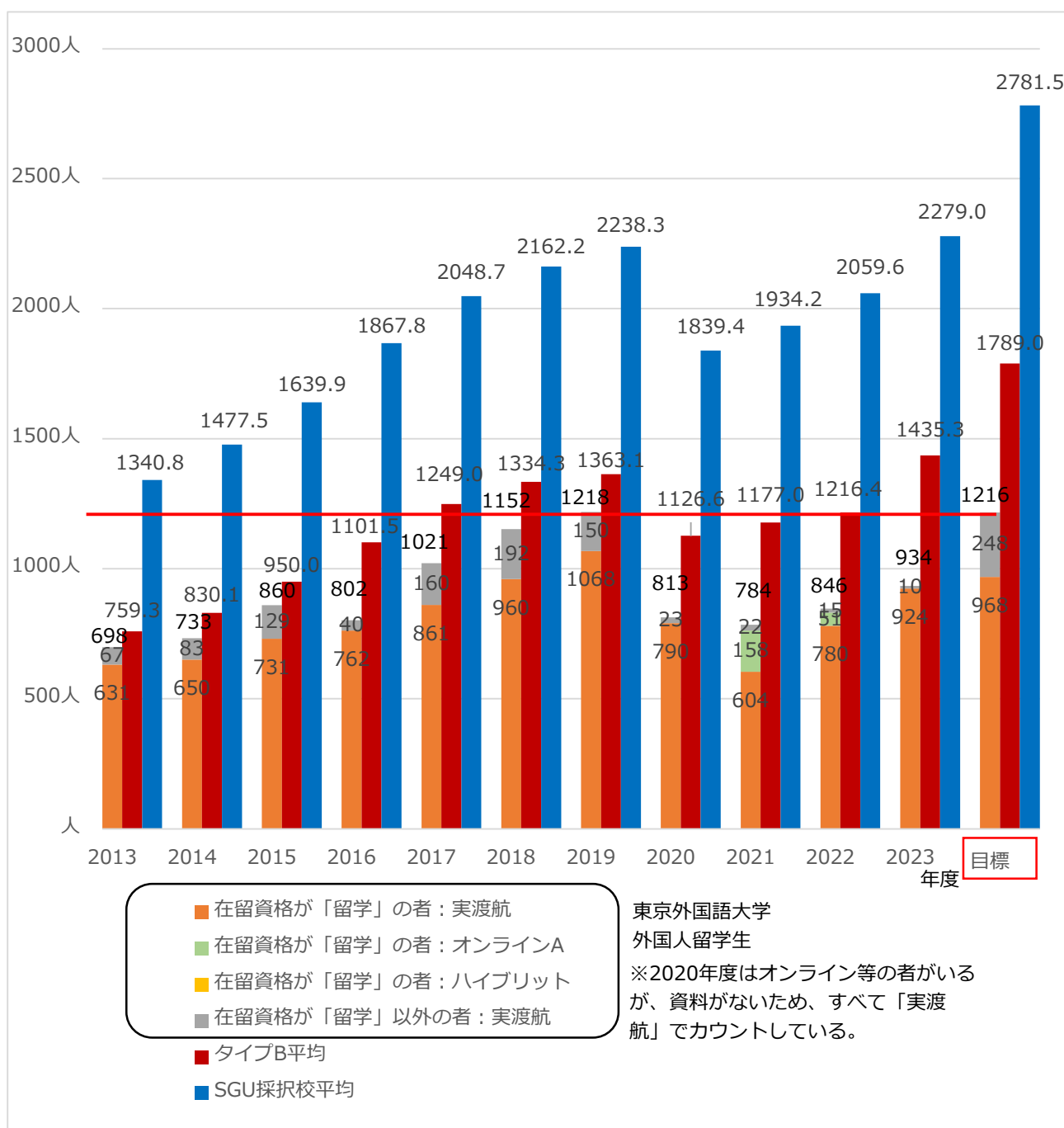
(毎年度5月1日時点)



●通年

○人数

(毎年度通年)

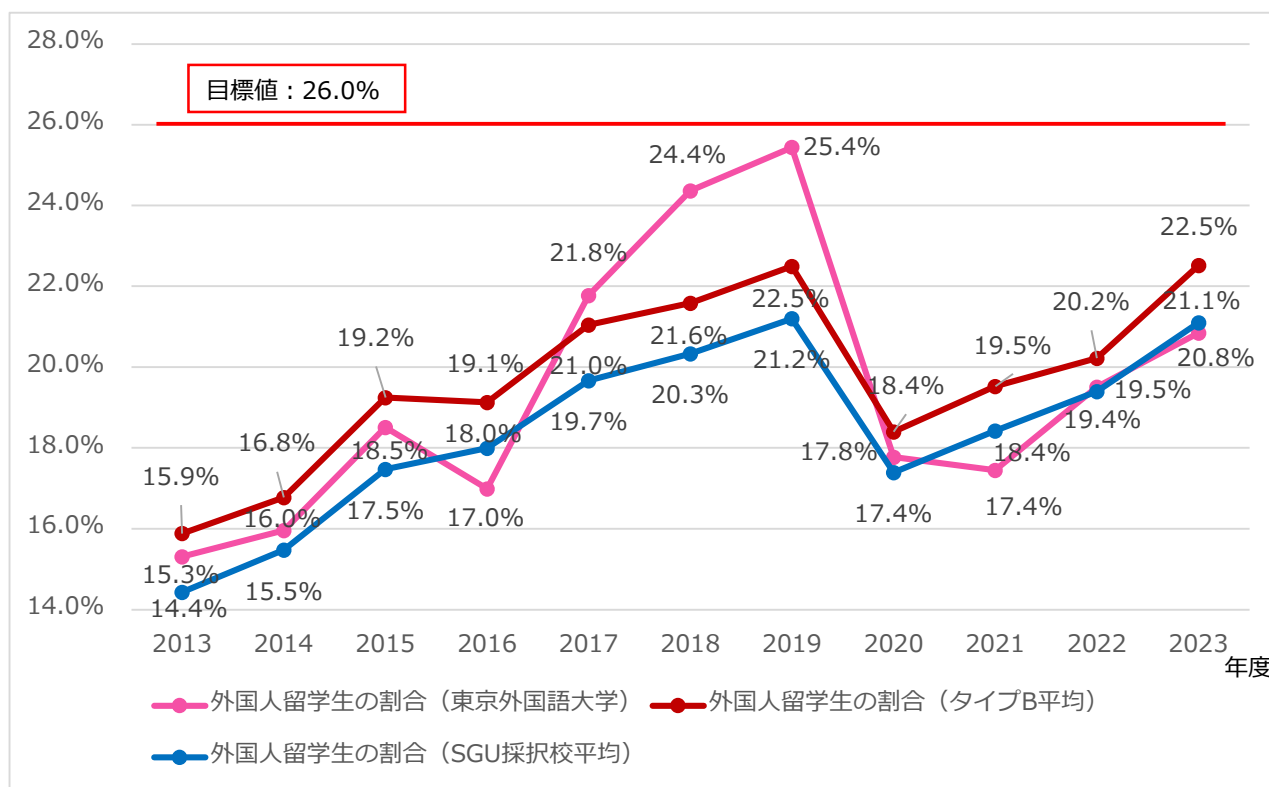


※オンラインA：コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替えて実施したもの

○割合

割合 = 外国人留学生数 (通年) ÷ 全学生数

(毎年度通年)



第2節

流動性

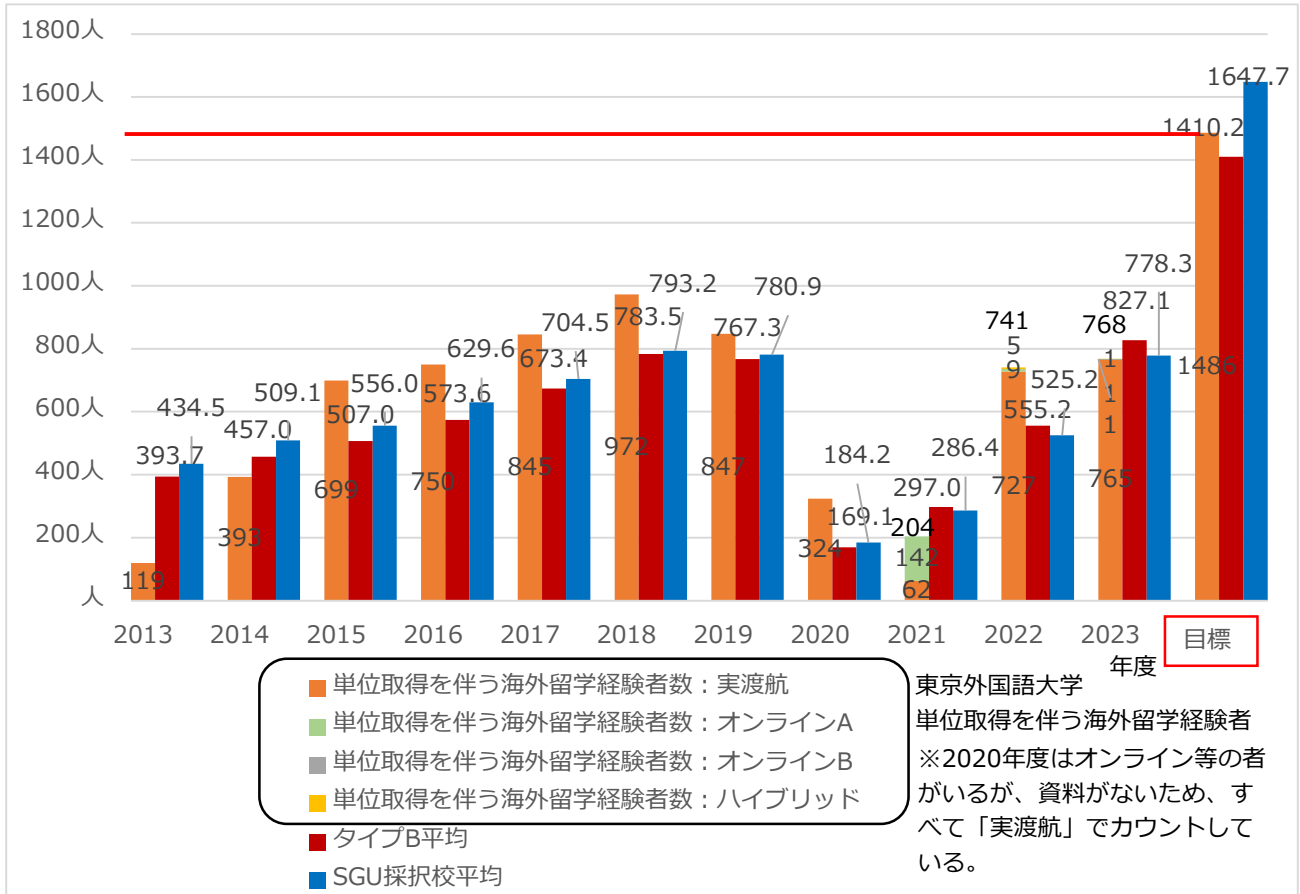
日本人学生に占める留学経験者の割合

大学共通必須項目

● 単位取得を伴う海外留学経験者

○人数

(毎年度通年)



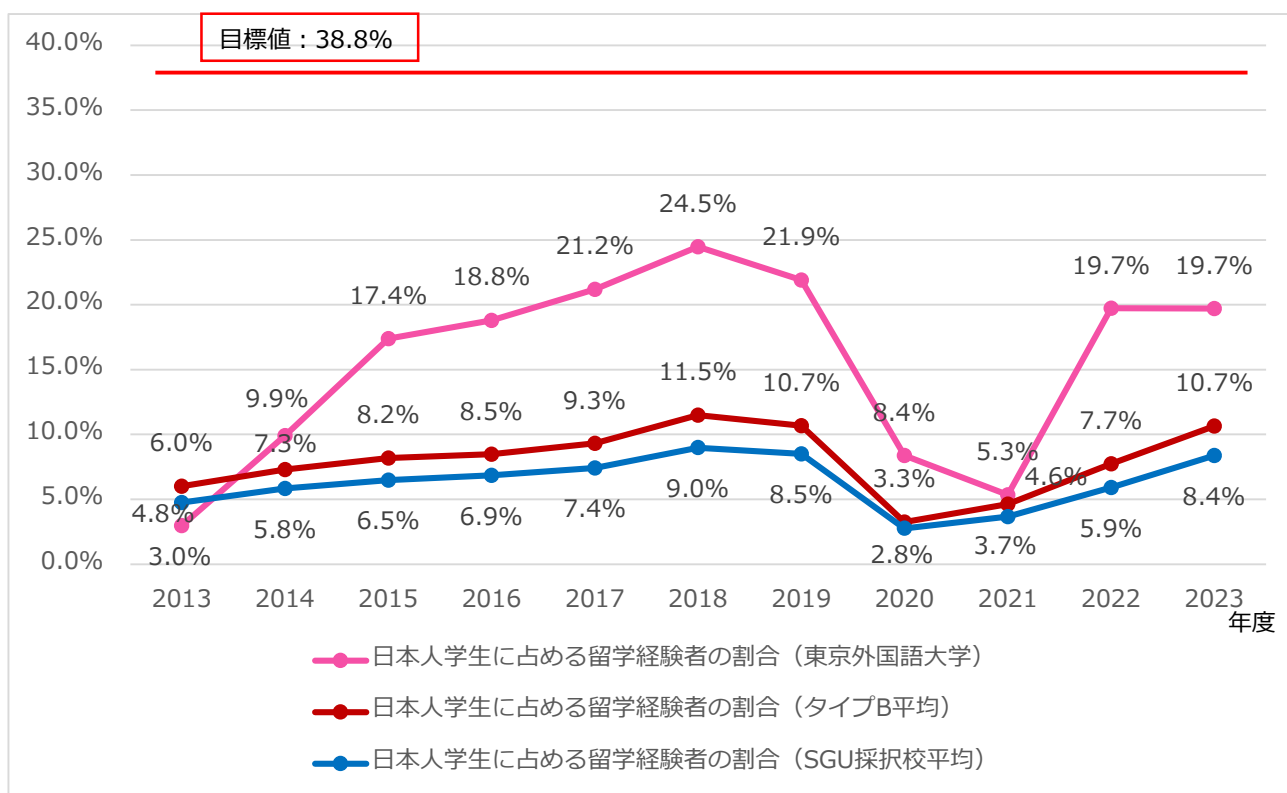
※オンラインA：コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替えて実施したもの（以下同じ）

※オンラインB：もともとオンライン実施で準備していたもの（以下同じ）

○割合

割合 = 単位取得を伴う海外留学経験者 ÷ 日本国籍を有する正規学生数

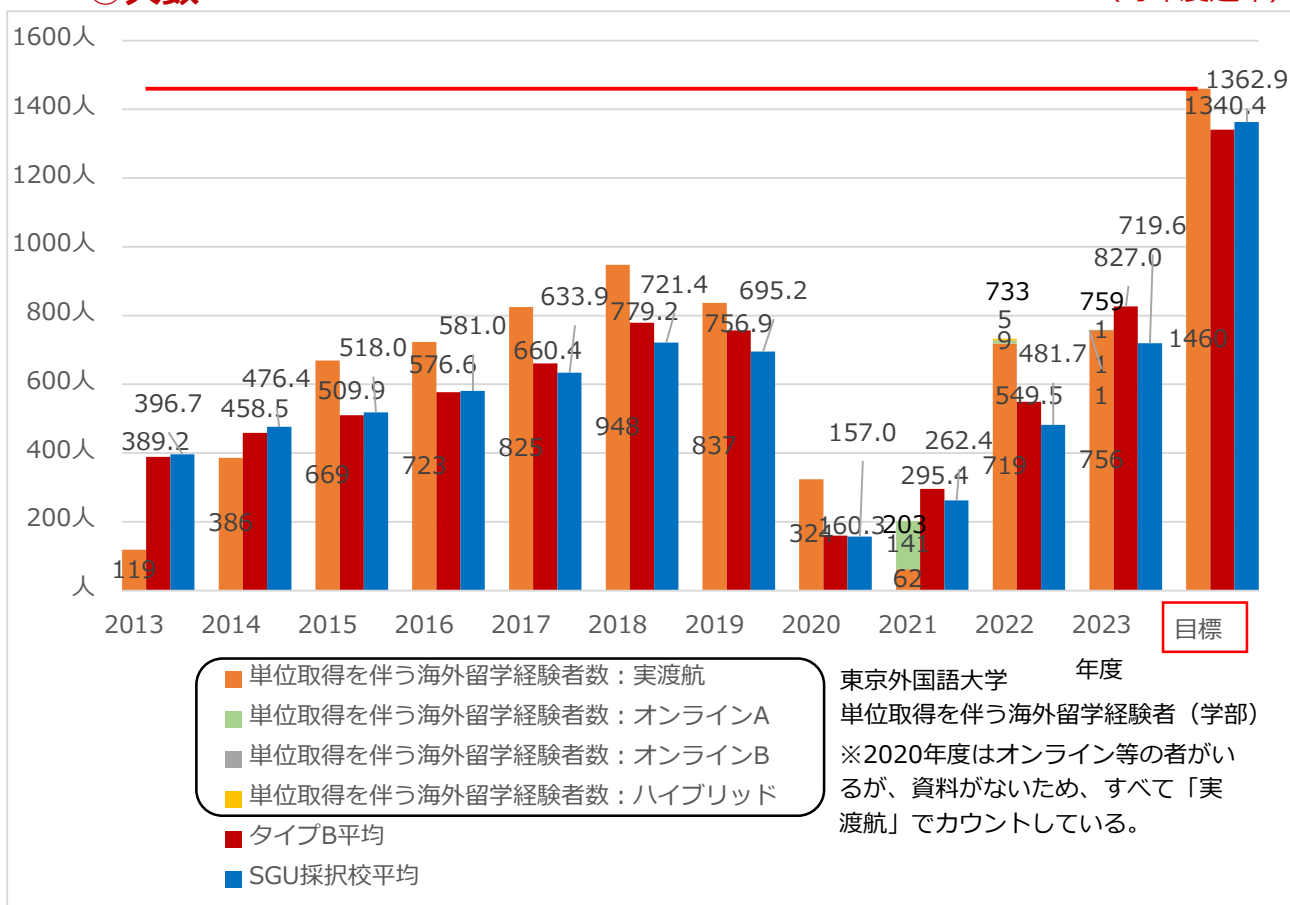
(毎年度通年)



●単位取得を伴う海外留学経験者（学部）

○人数

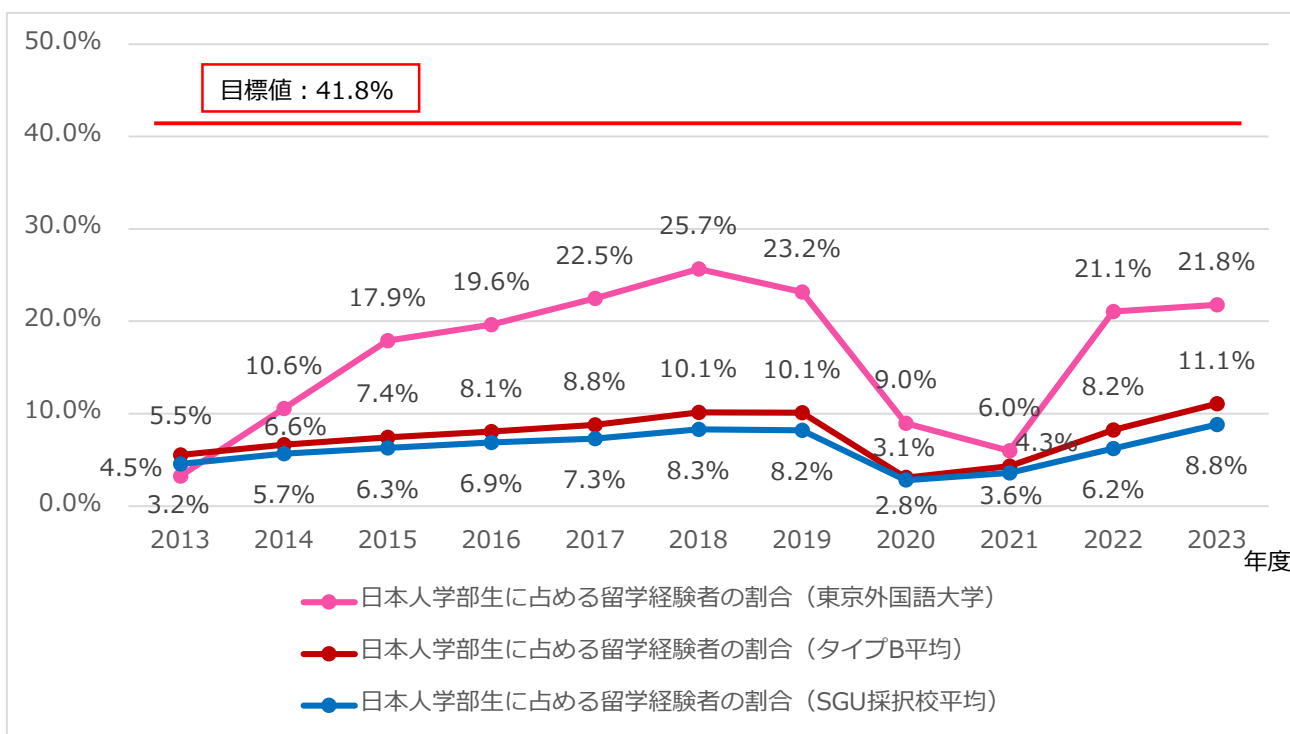
（毎年度通年）



○割合

（毎年度通年）

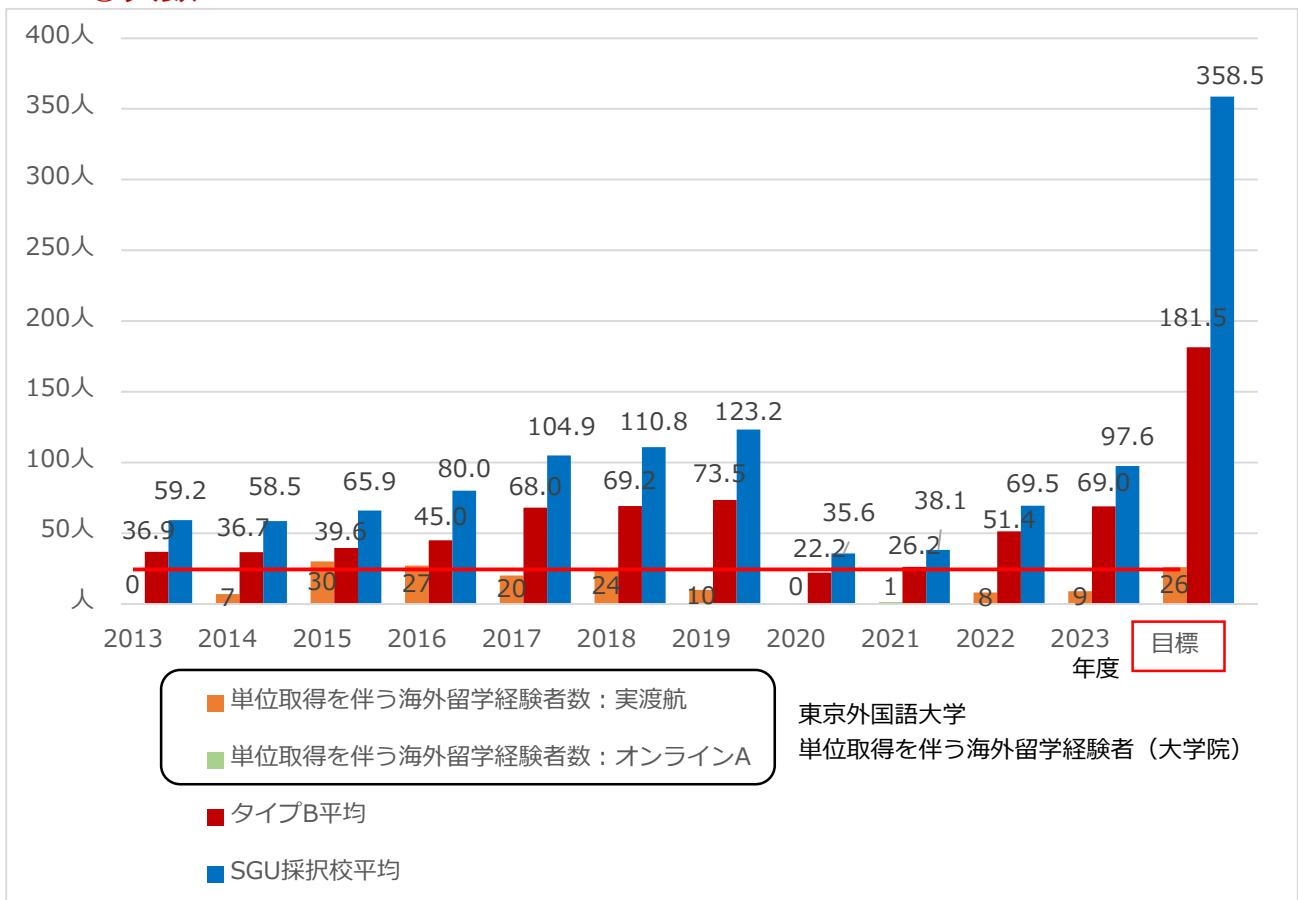
割合 = 単位取得を伴う海外留学経験者（学部） ÷ 日本国籍を有する正規学部数



●単位取得を伴う海外留学経験者（大学院）

○人数

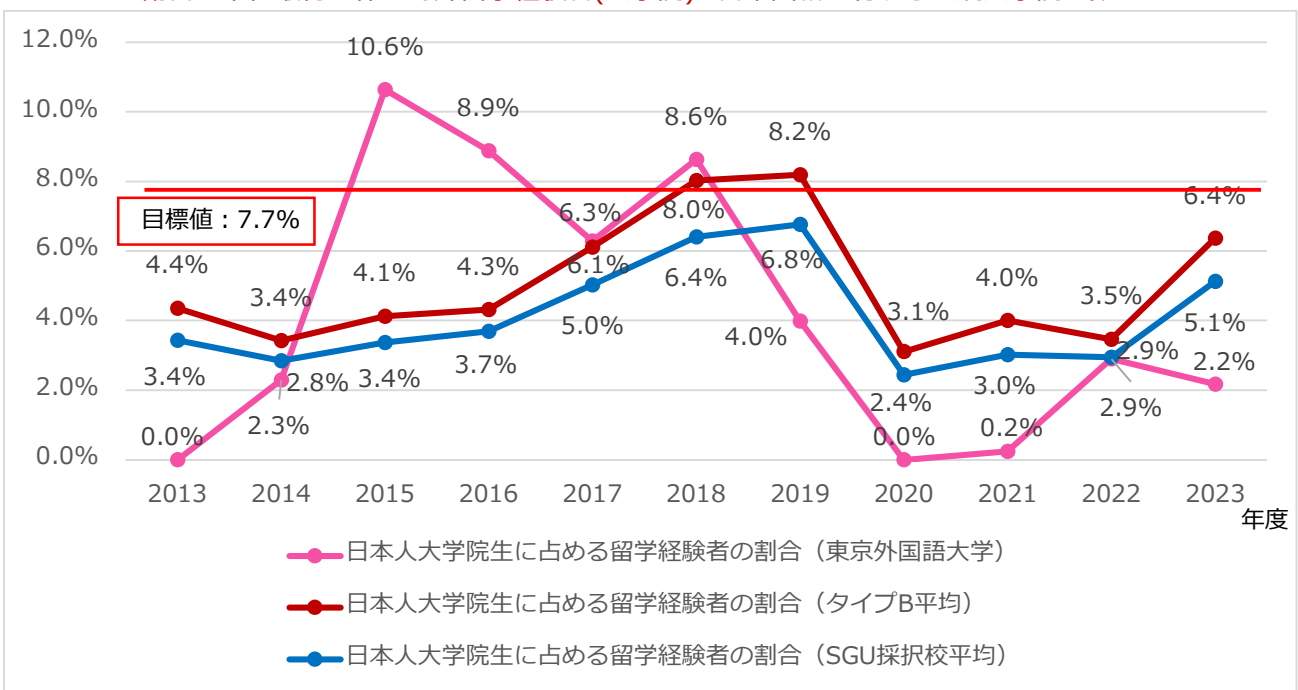
（毎年度通年）



○割合

（毎年度通年）

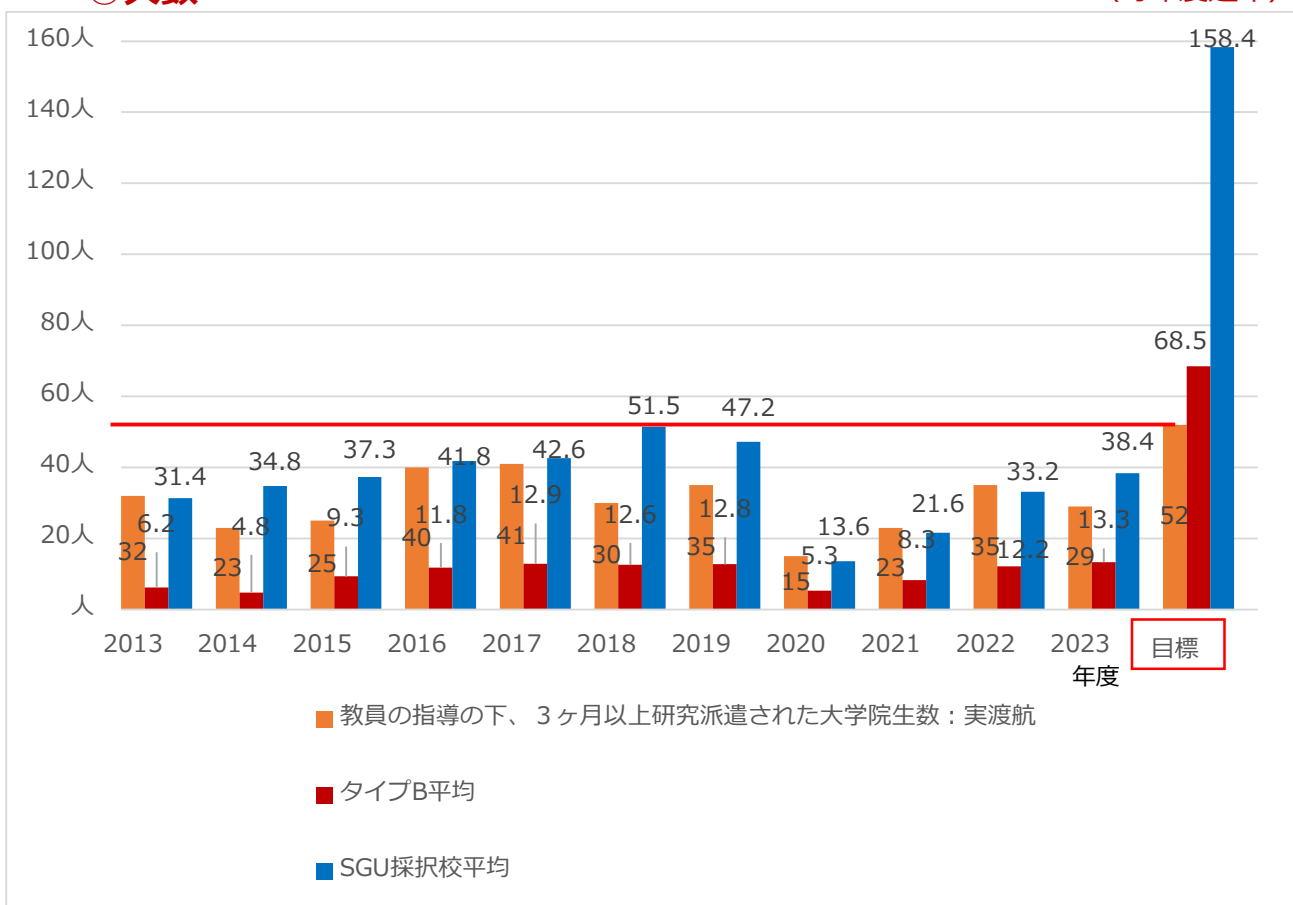
割合 = 単位取得を伴う海外留学経験者(大学院) ÷ 日本国籍を有する正規大学院生数



●教員の指導の下、3ヶ月以上研究派遣された大学院生数

○人数

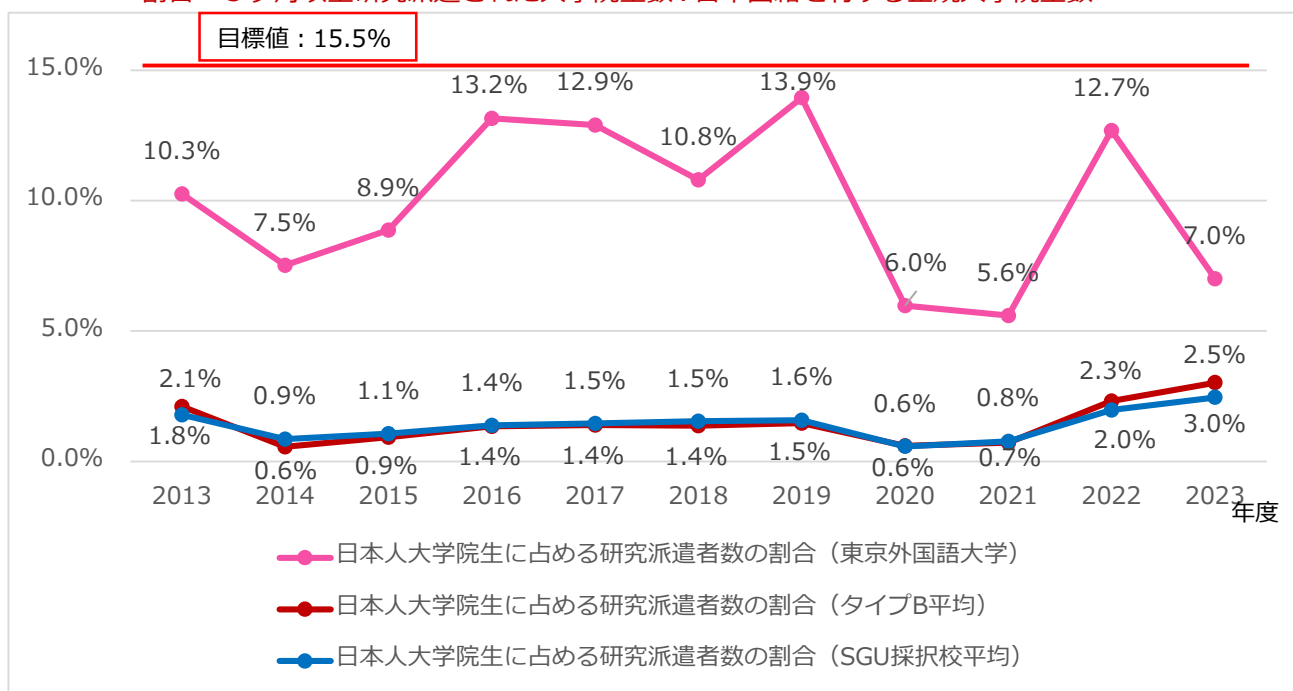
(毎年度通年)



○割合

(毎年度通年)

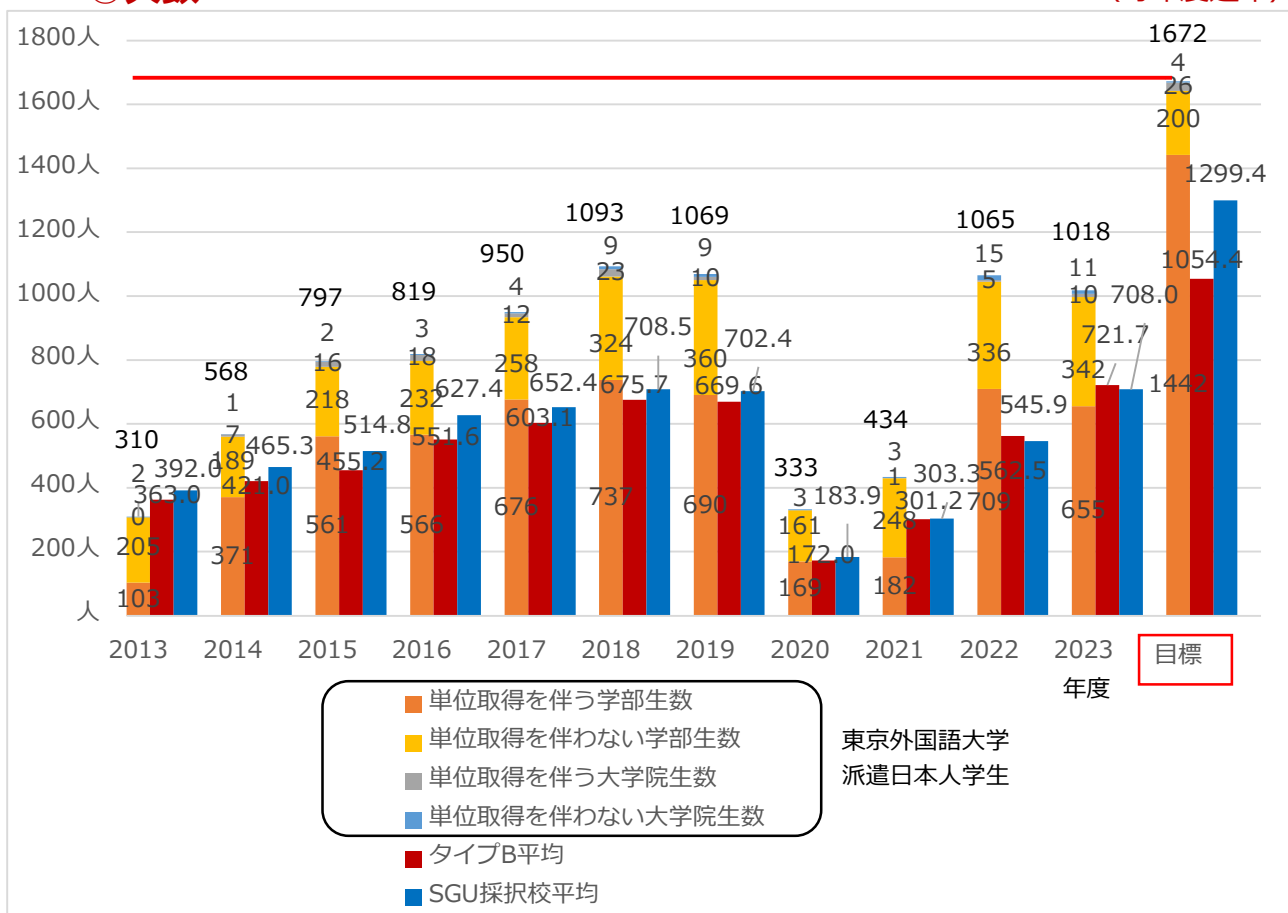
割合 = 3ヶ月以上研究派遣された大学院生数 ÷ 日本国籍を有する正規大学院生数



●派遣日本人学生

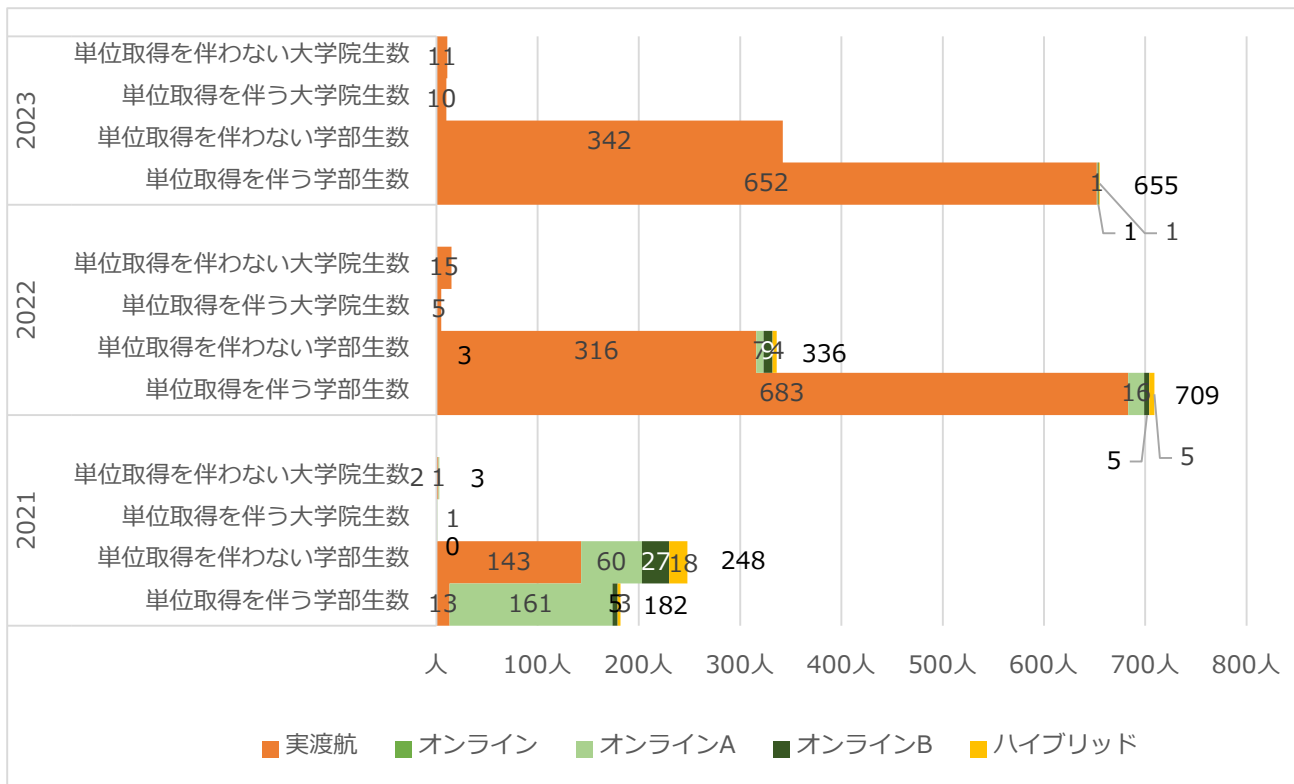
○人数

(毎年度通年)



○東京外国語大学 2021、2022、2023年度内訳

(毎年度通年)



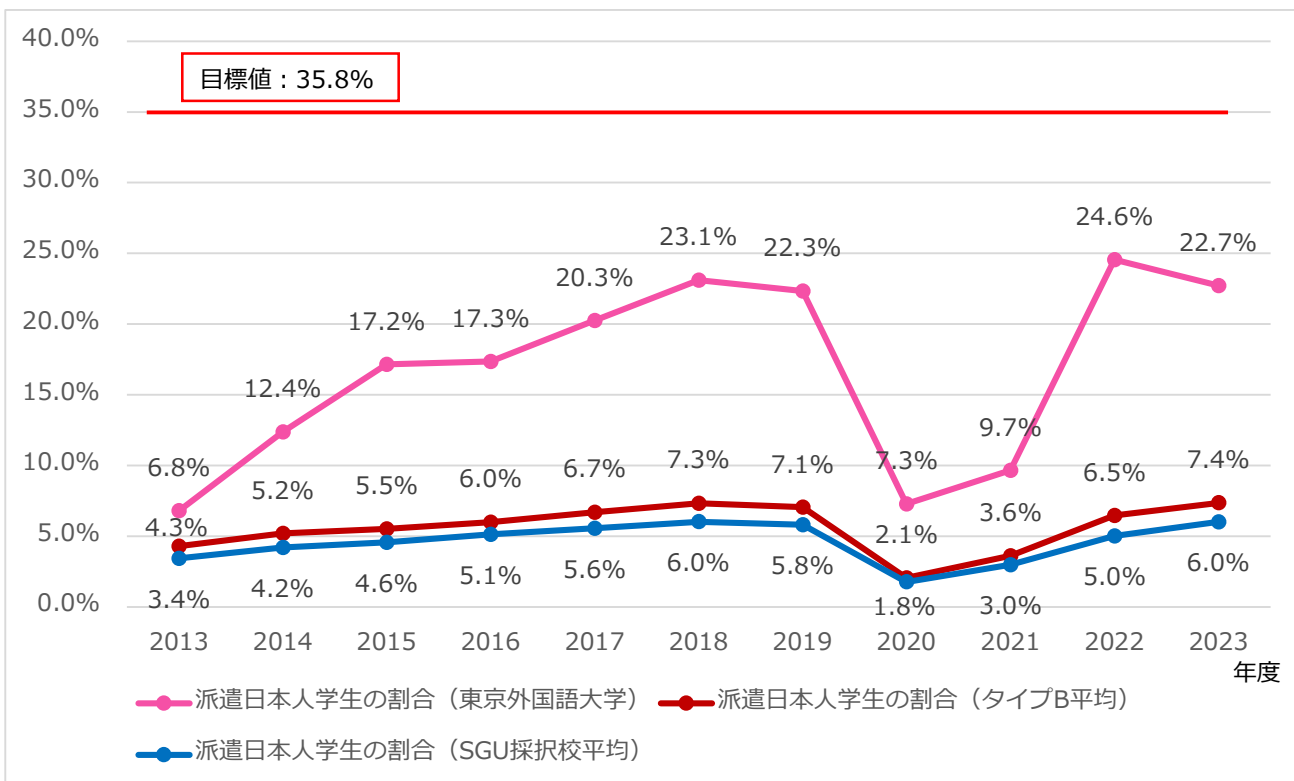
※オンラインA：コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替えて実施したもの（以下同じ）

※オンラインB：もともとオンライン実施で準備していたもの（以下同じ）

○割合

割合 = 大学間協定に基づく派遣日本人学生数 ÷ 全学生数

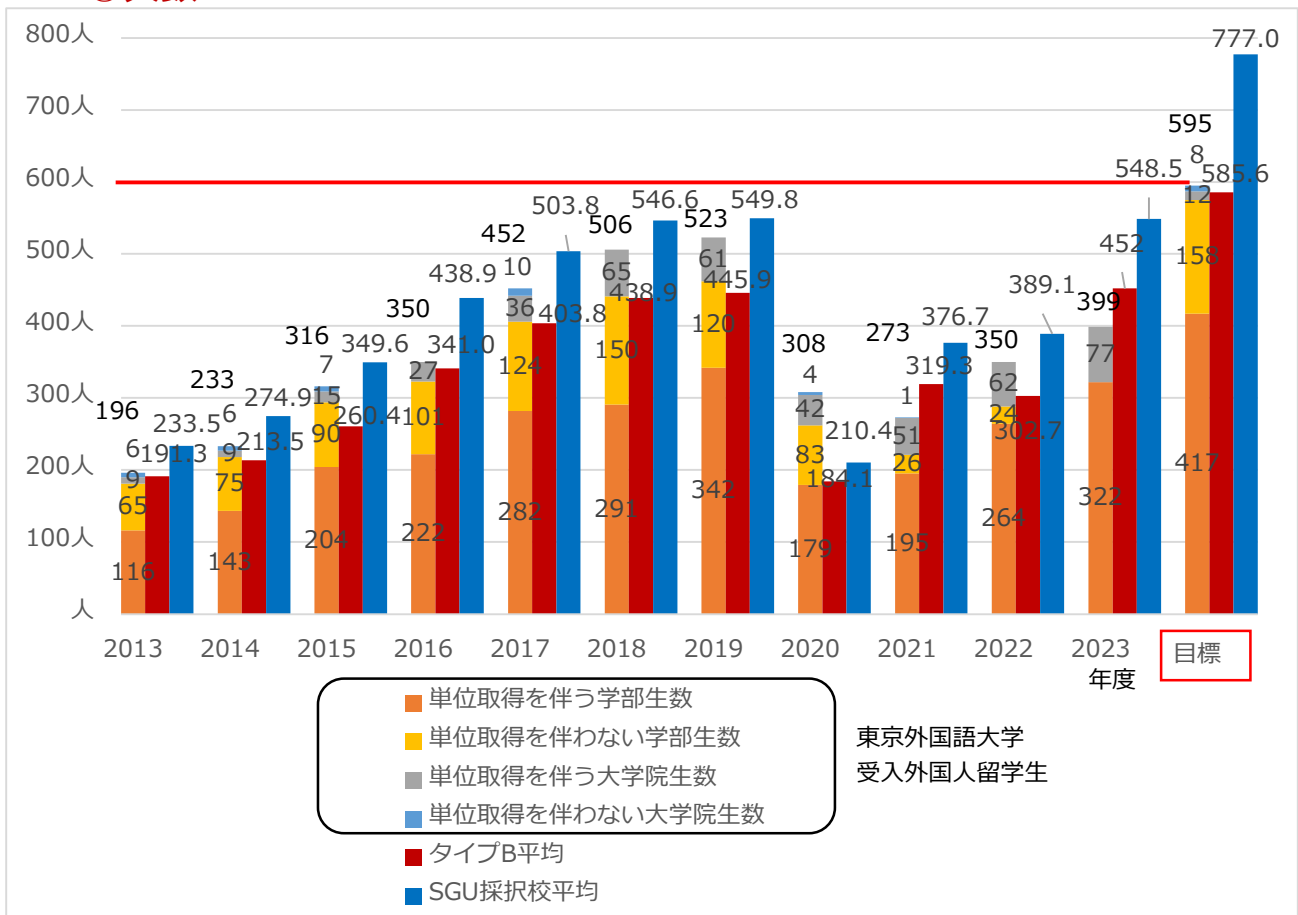
(毎年度通年)



●受入外国人留学生

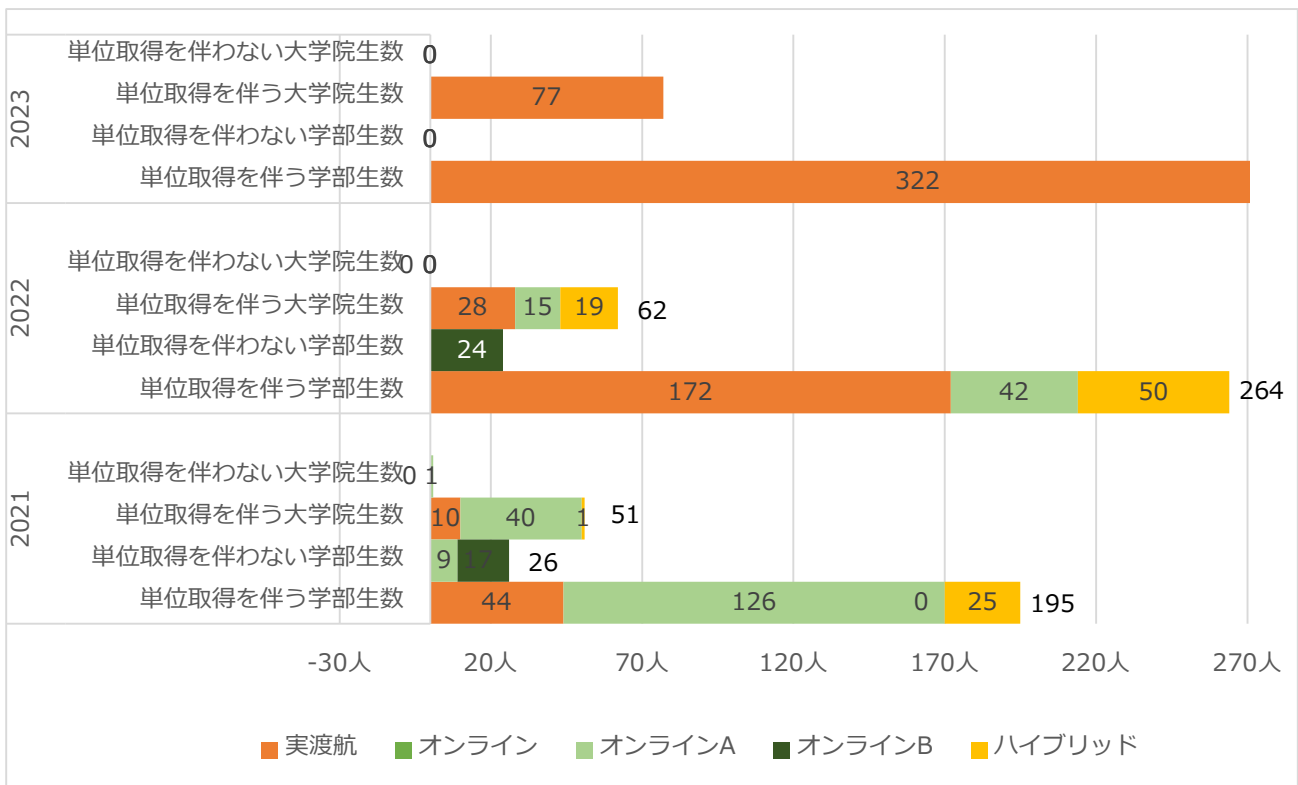
○人数

(毎年度通年)



○東京外国語大学 2021、2022、2023年度内訳

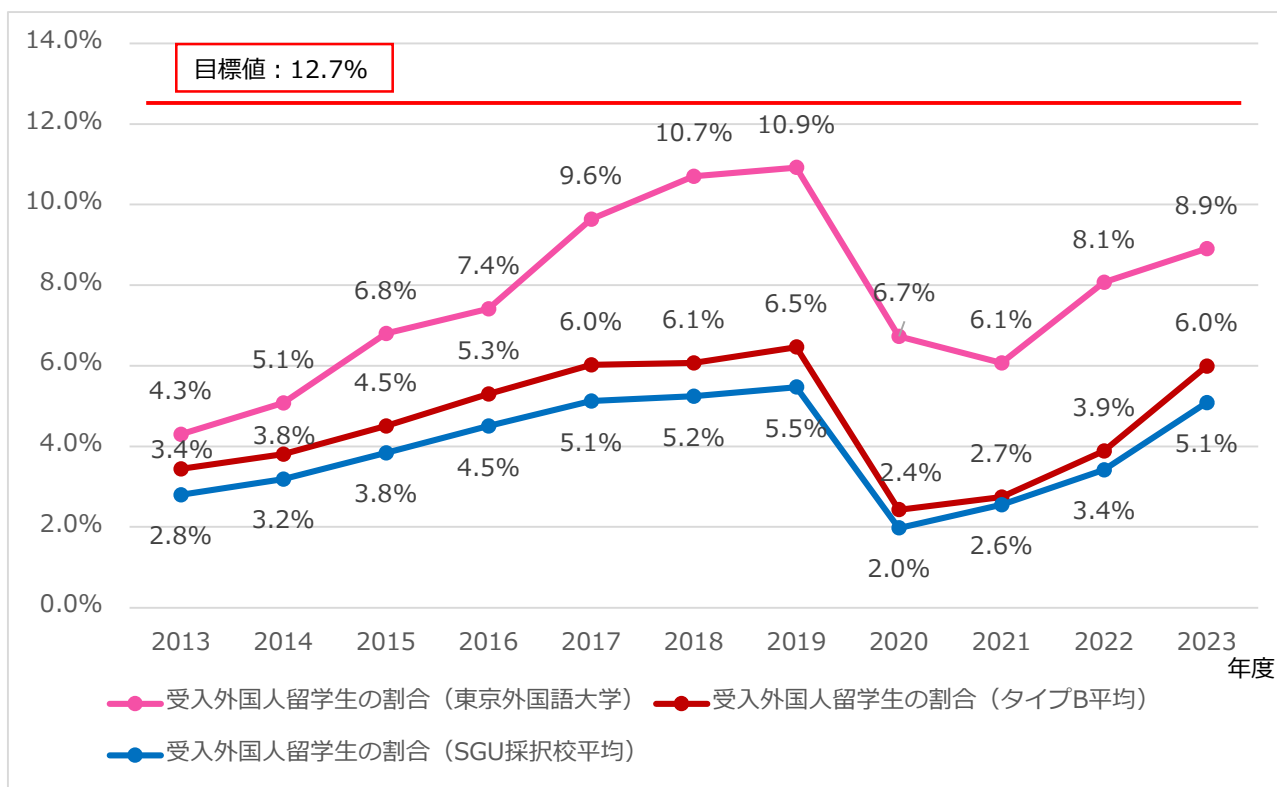
(毎年度通年)



○割合

割合 = 大学間協定に基づく受入外国人留学生数 ÷ 全学生数

(毎年度通年)



第3節

語学力関係

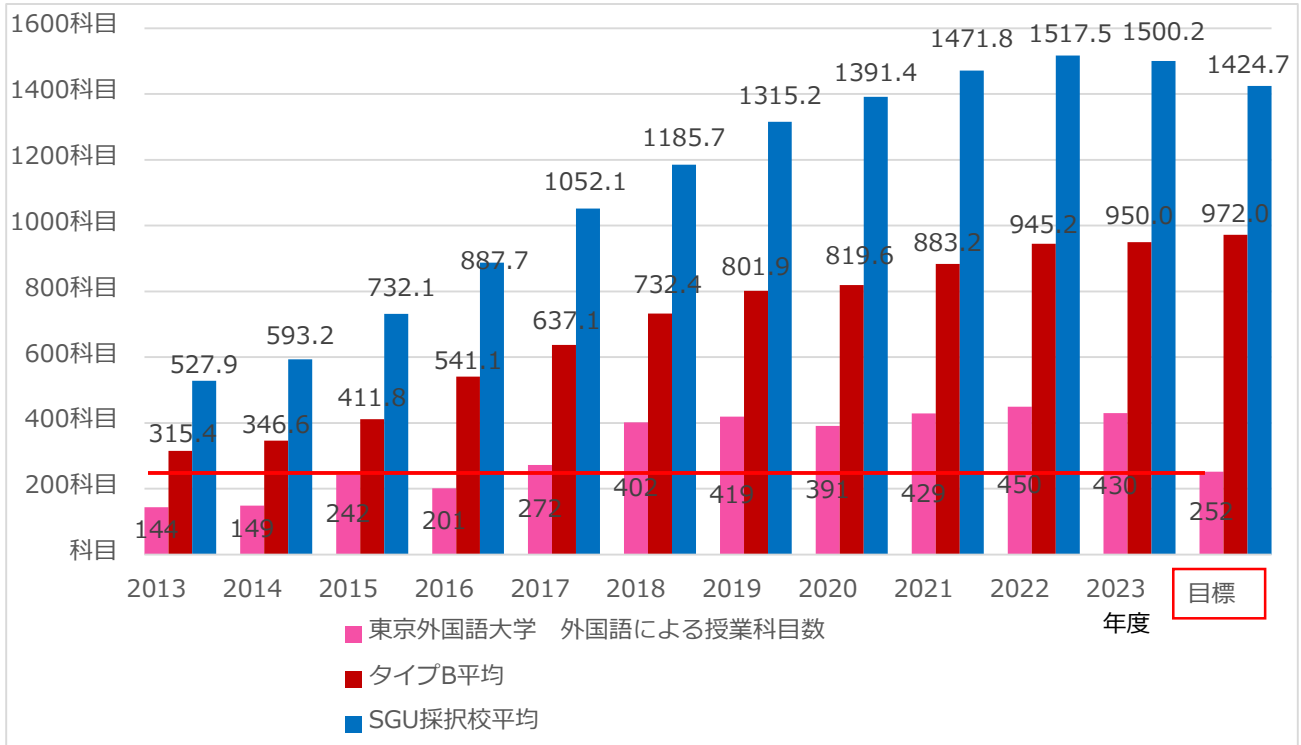
外国語による授業科目数・割合

大学共通必須項目

●外国語による授業科目

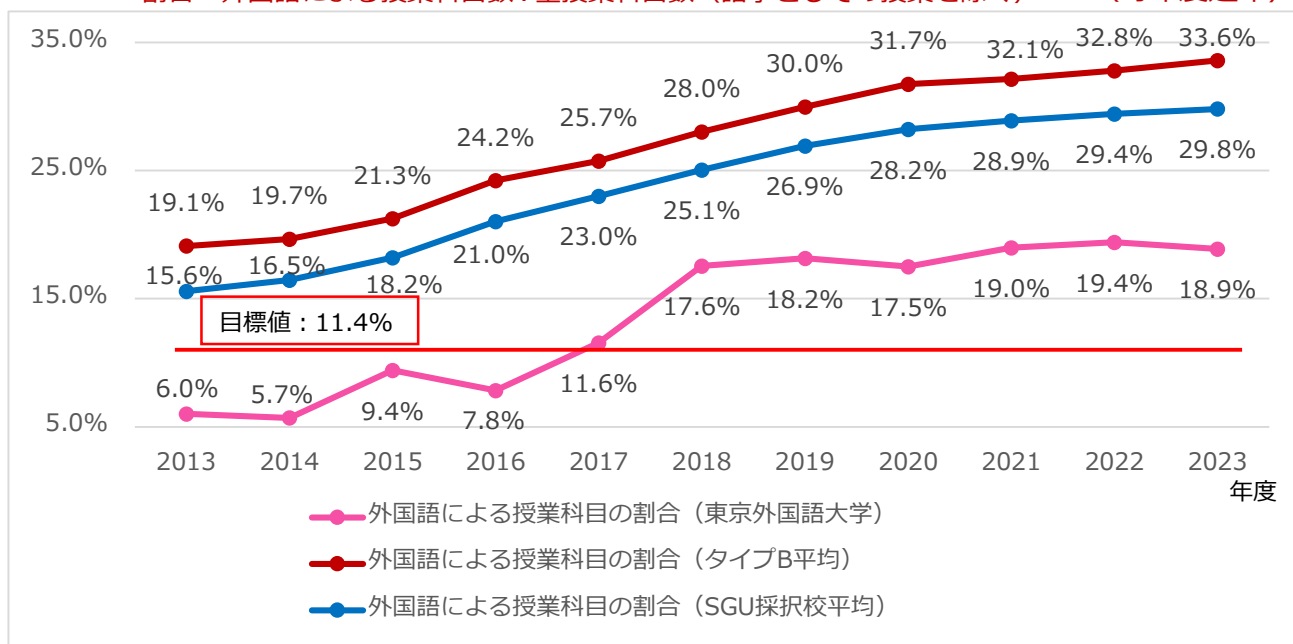
○科目数

(毎年度通年)



○割合

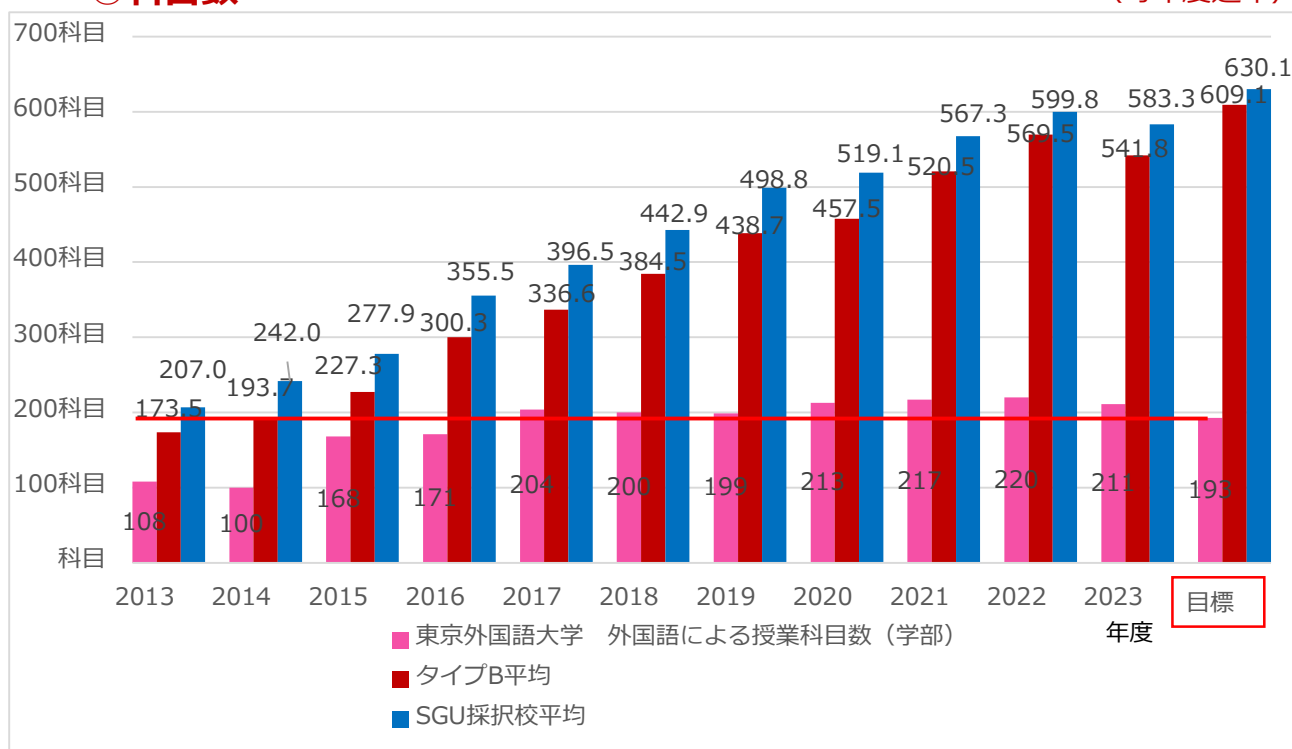
割合 = 外国語による授業科目数 ÷ 全授業科目数 (語学としての授業を除く) (毎年度通年)



●外国語による授業科目 (学部)

○科目数

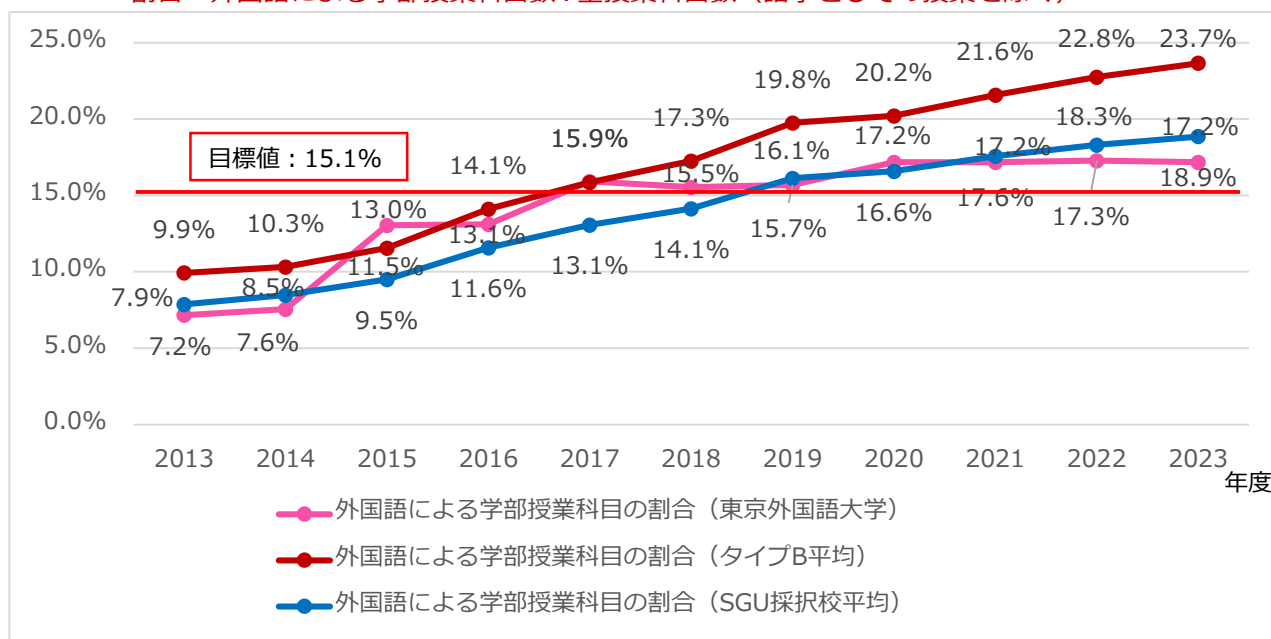
(毎年度通年)



○割合

(毎年度通年)

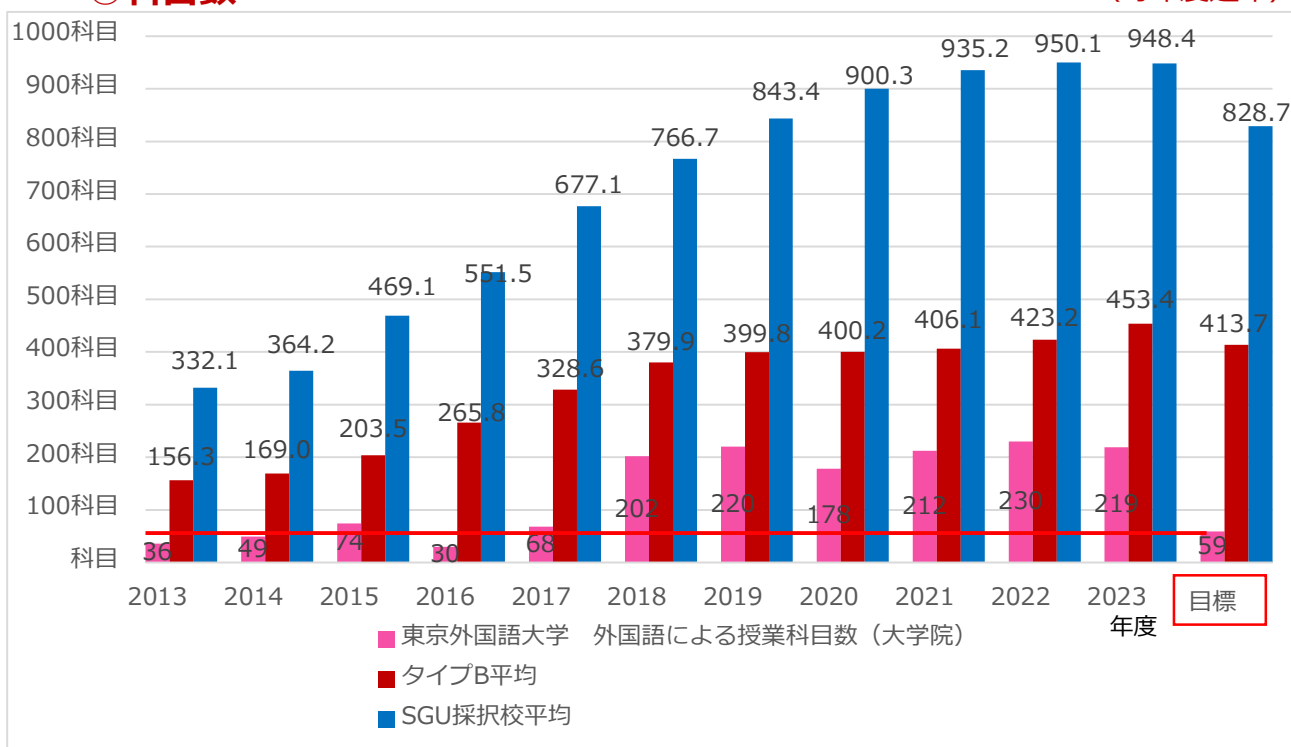
割合 = 外国語による学部授業科目数 ÷ 全授業科目数 (語学としての授業を除く)



●外国語による授業科目（大学院）

○科目数

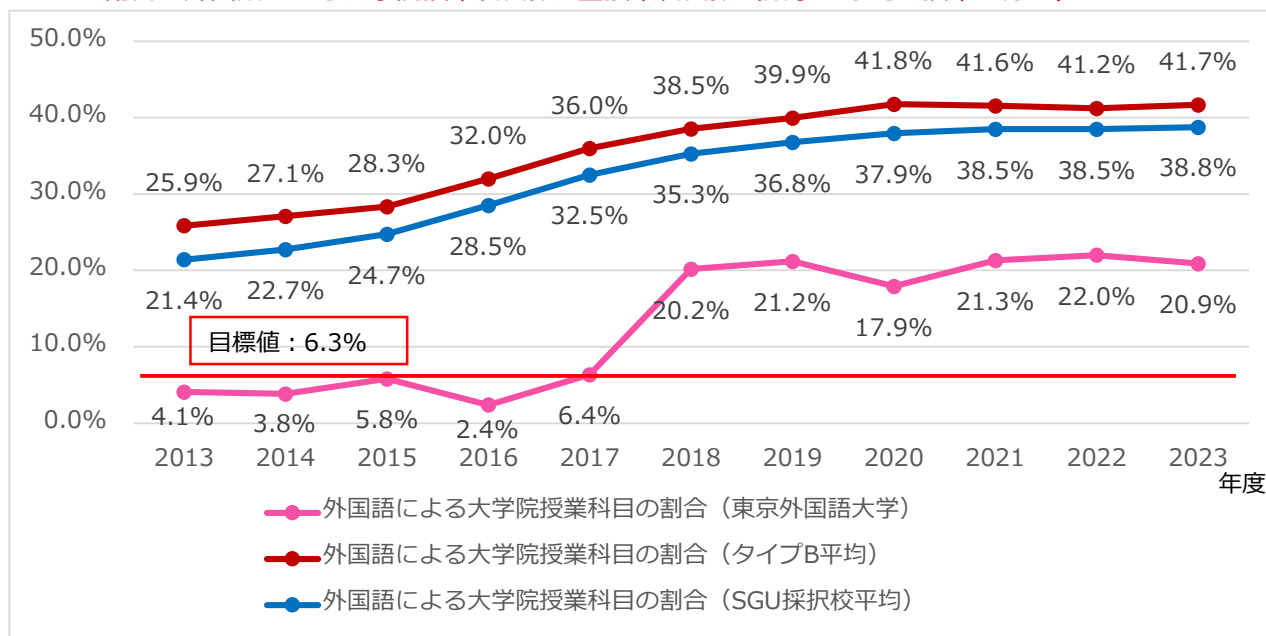
（毎年度通年）



○割合

（毎年度通年）

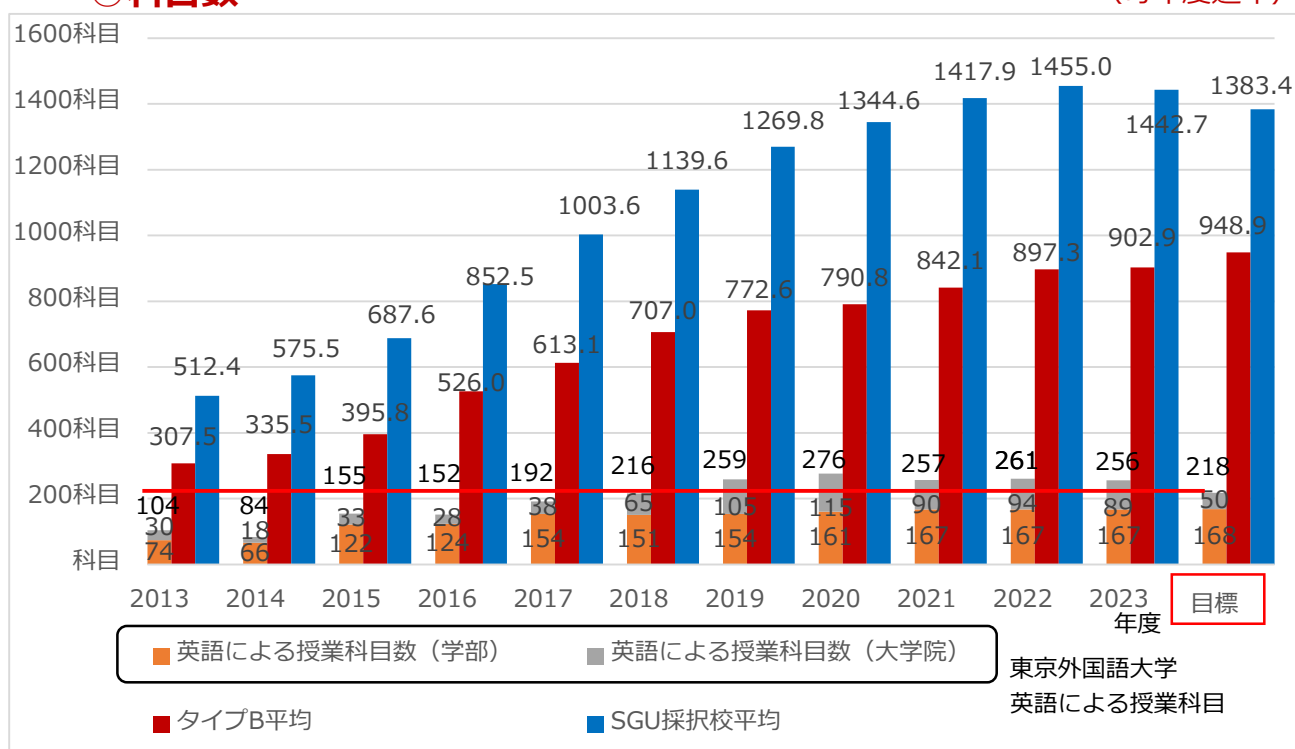
割合 = 外国語による大学院授業科目数 ÷ 全授業科目数（語学としての授業を除く）



●英語による授業科目

○科目数

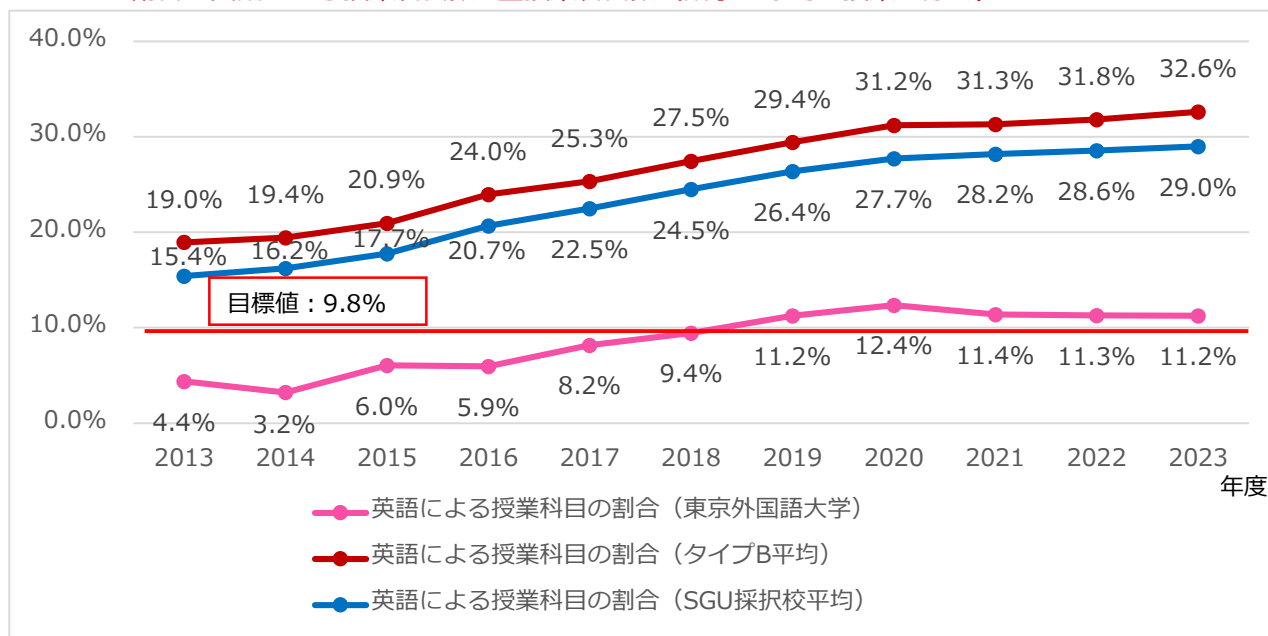
(毎年度通年)



○割合

割合 = 英語による授業科目数 ÷ 全授業科目数 (語学としての授業を除く)

(毎年度通年)



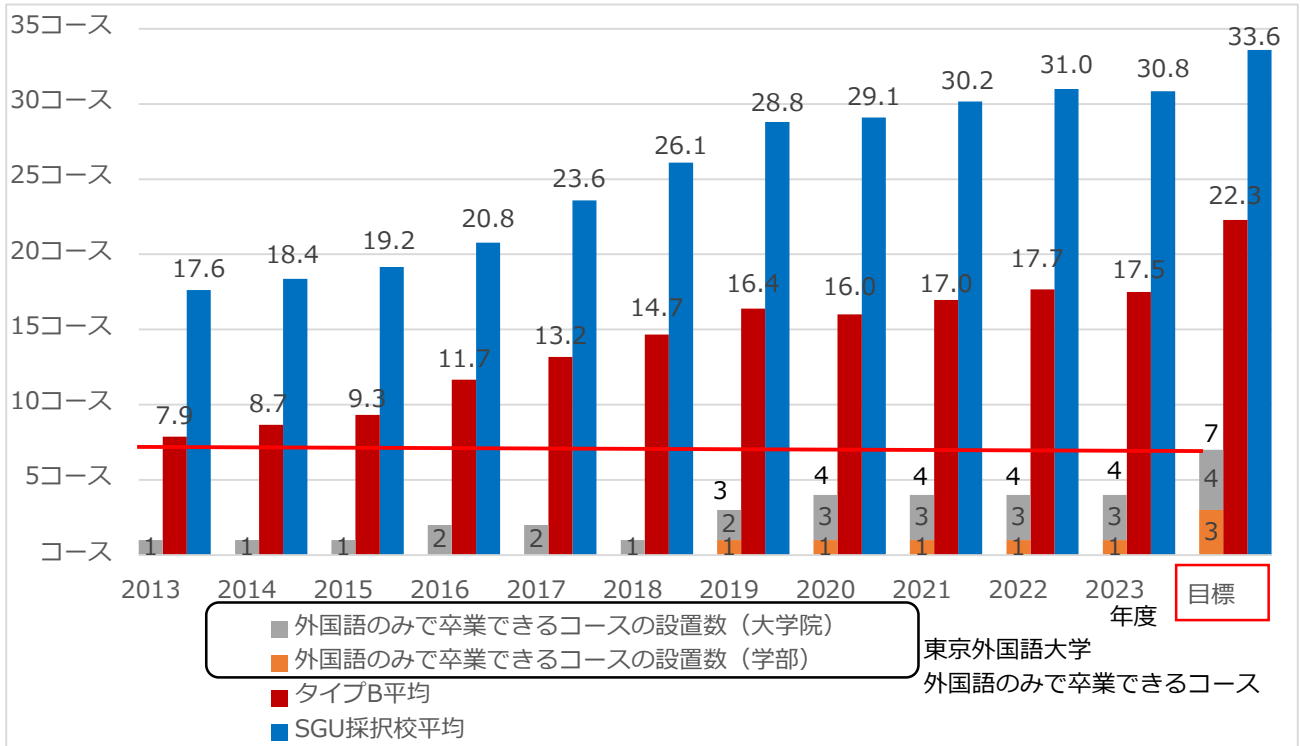
外国語のみで卒業できるコースの数等

大学共通必須項目

●外国語のみで卒業できるコースの設置数

○コース数

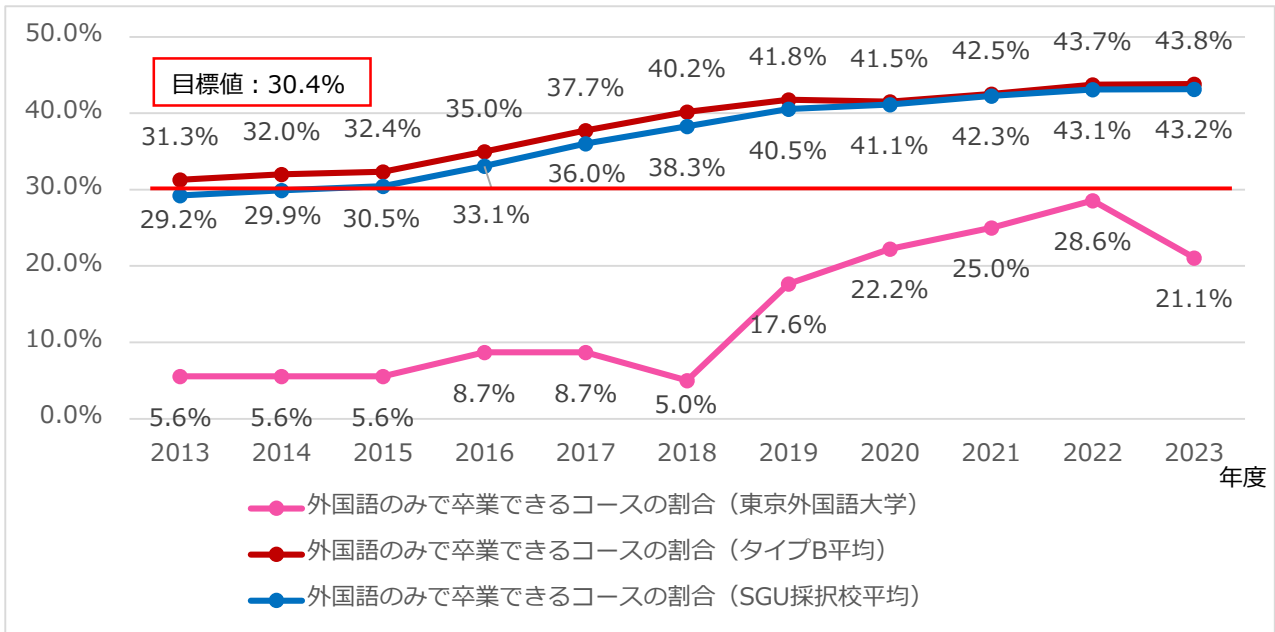
(毎年度5月1日時点)



○割合

(毎年度5月1日時点)

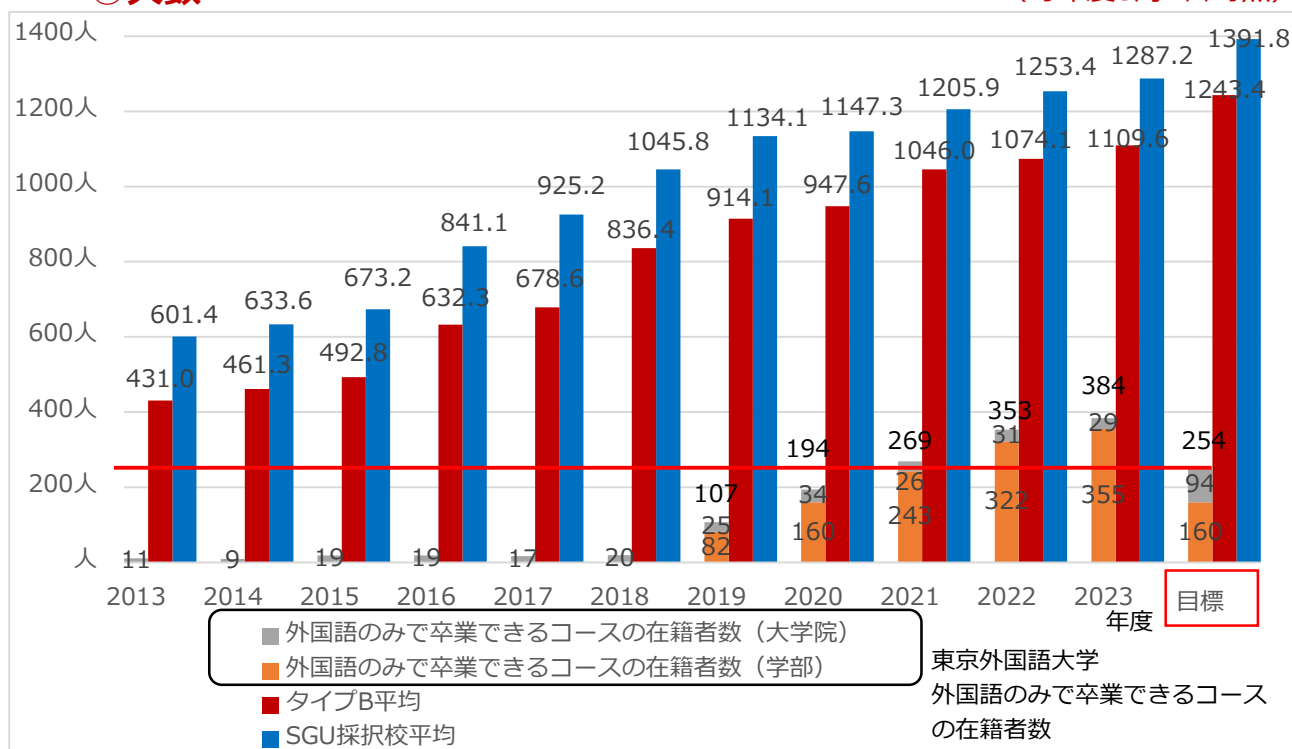
割合 = 外国語のみで卒業できるコースの設置数 ÷ 全学位コースの設置数



●外国語のみで卒業できるコースの在籍者

○人数

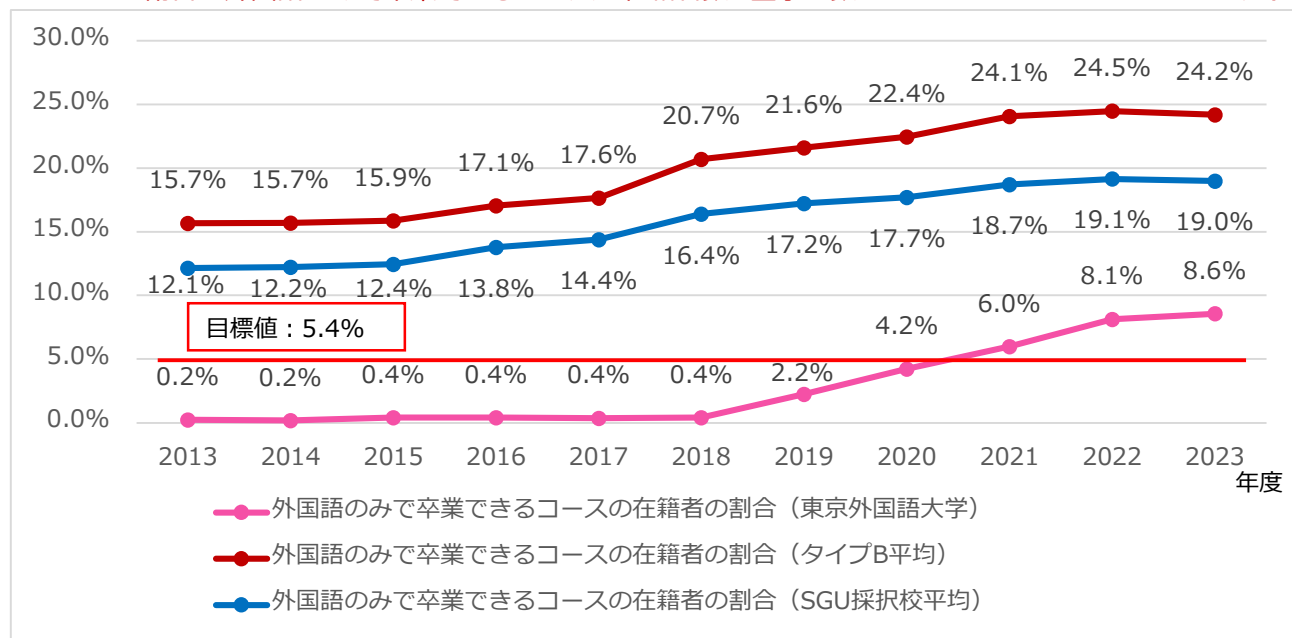
(毎年度5月1日時点)



○割合

割合 = 外国語のみで卒業できるコースの在籍者数 ÷ 全学生数

(毎年度5月1日時点)



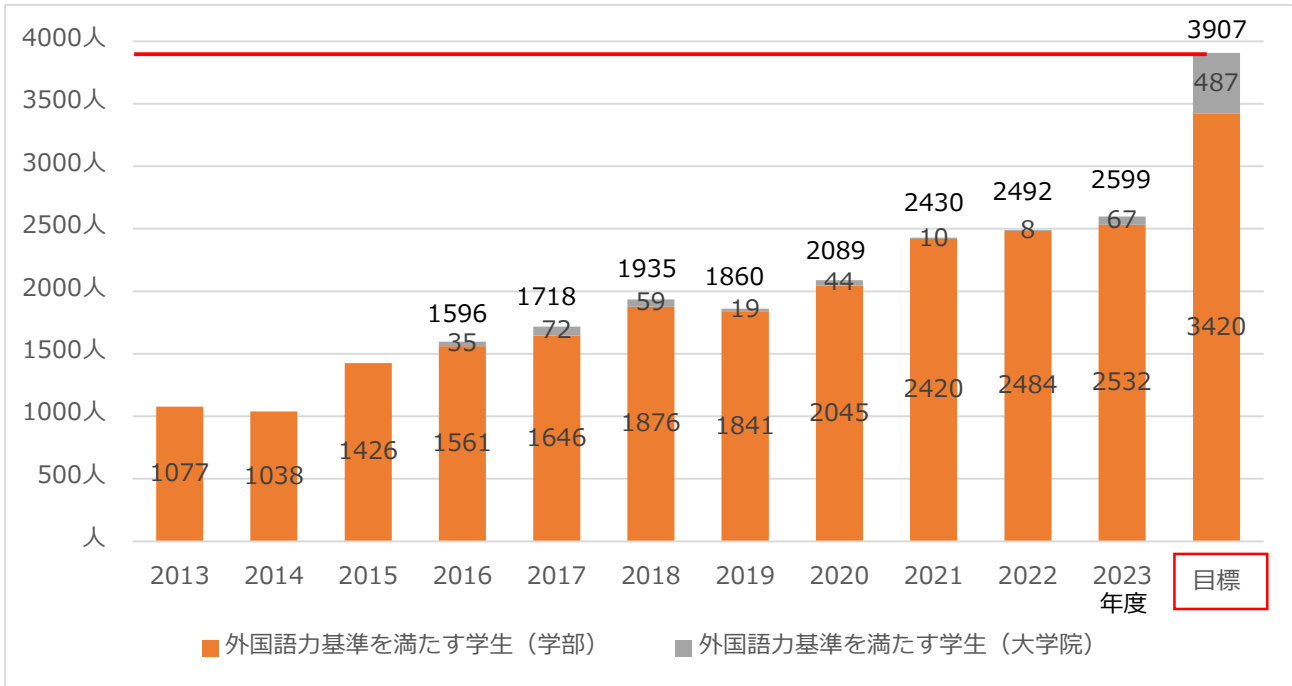
●外国語力基準

本学では、外国語力基準（TOEIC800点相当）を満たす学生数を基準に置いています。

●外国語力基準を満たす学生

○人数

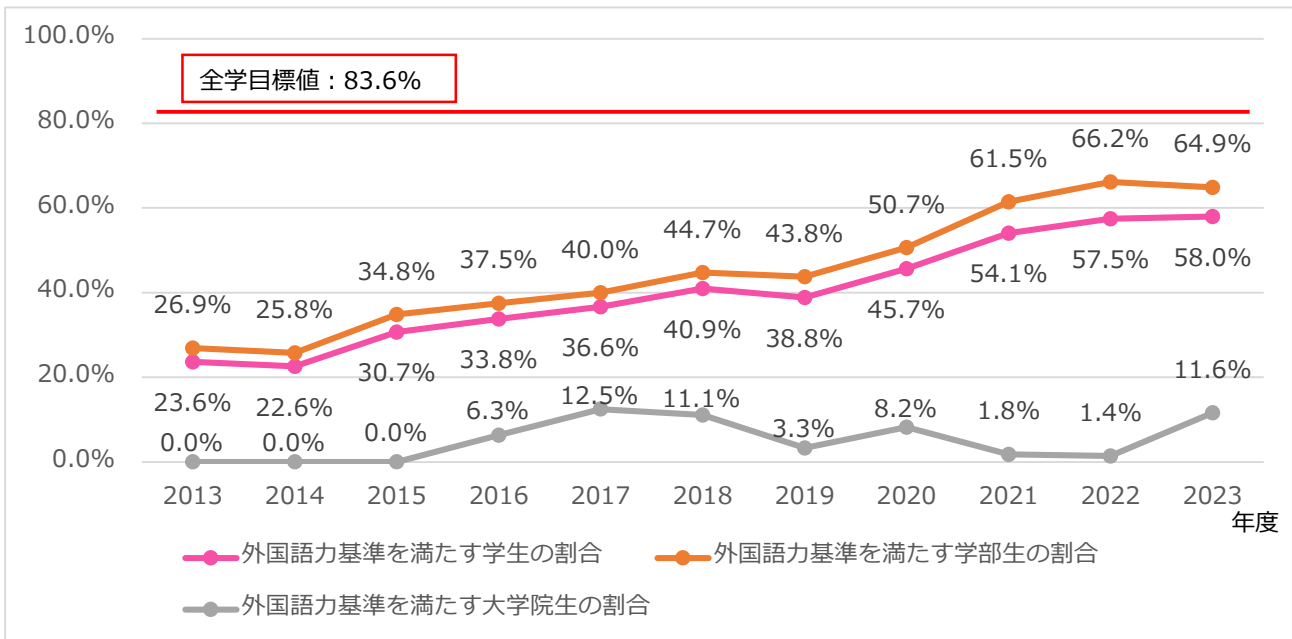
(毎年度通年)



○割合

割合 = 外国語力基準を満たす学生数 ÷ 全学生数

(毎年度通年)



第4節

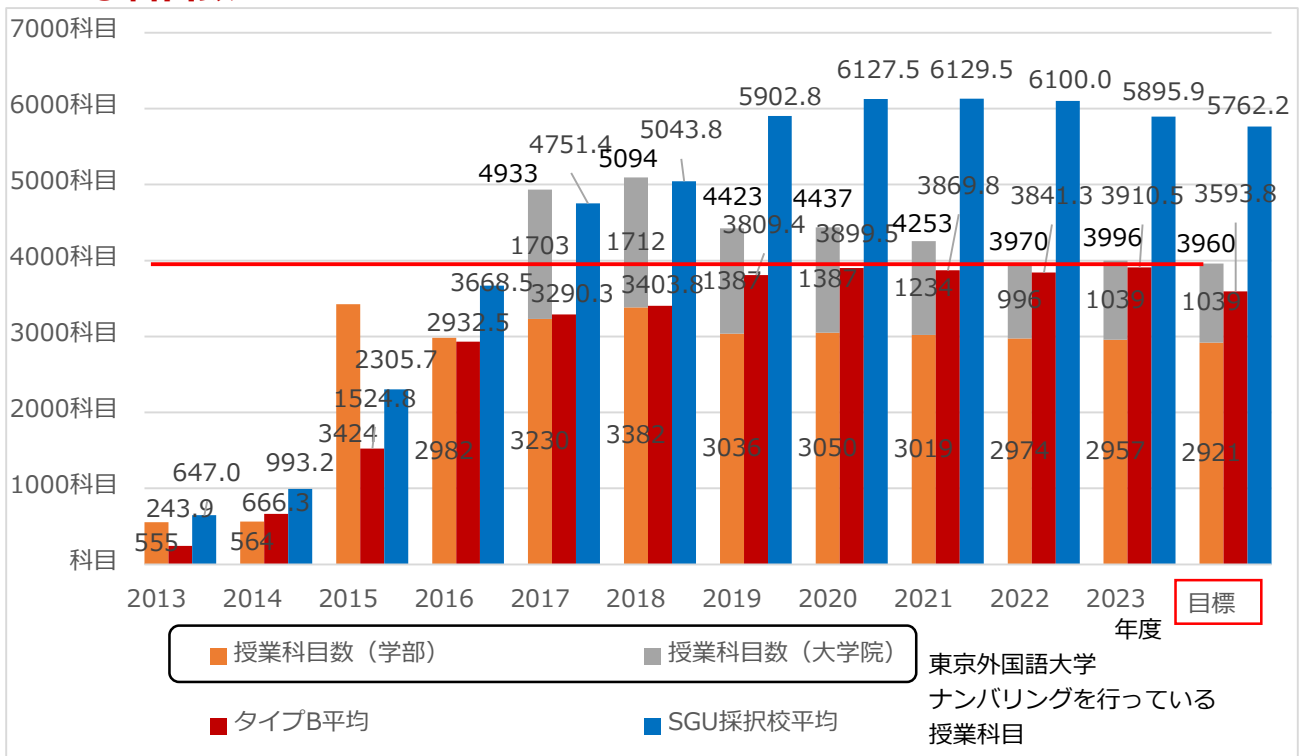
教務システムの国際通用性

ナンバリング実施状況・割合

大学共通必須項目

○科目数

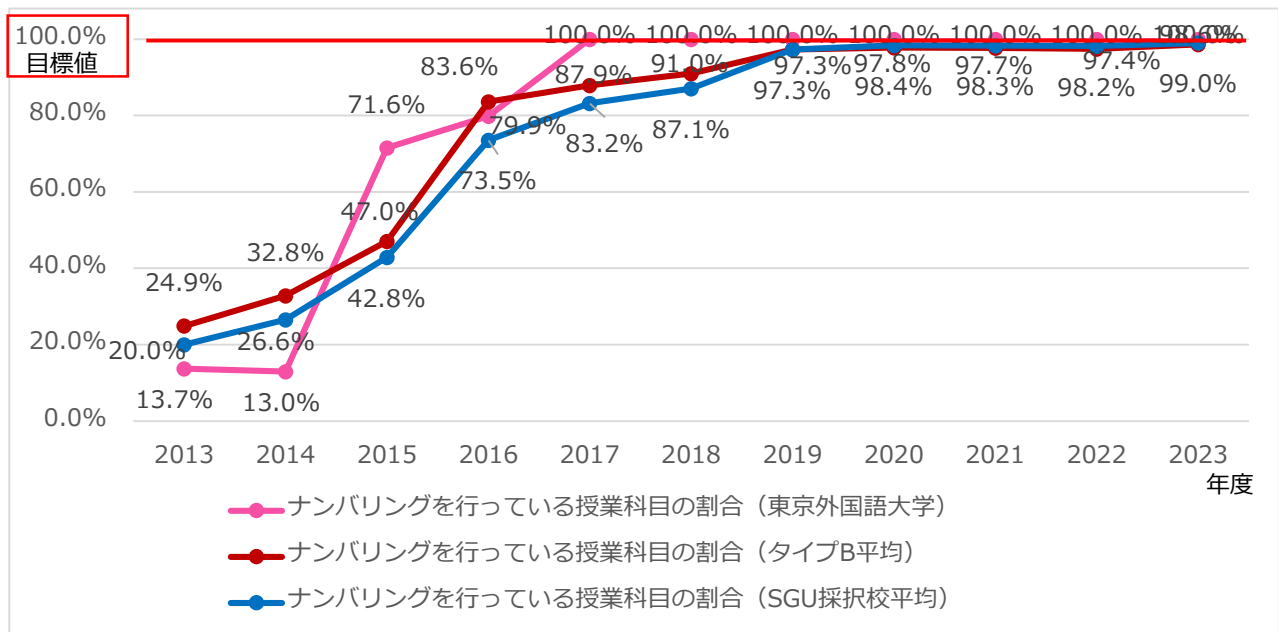
(毎年度5月1日時点)



○割合

割合 = ナンバリングを行っている授業科目数 ÷ 全授業科目数

(毎年度5月1日時点)

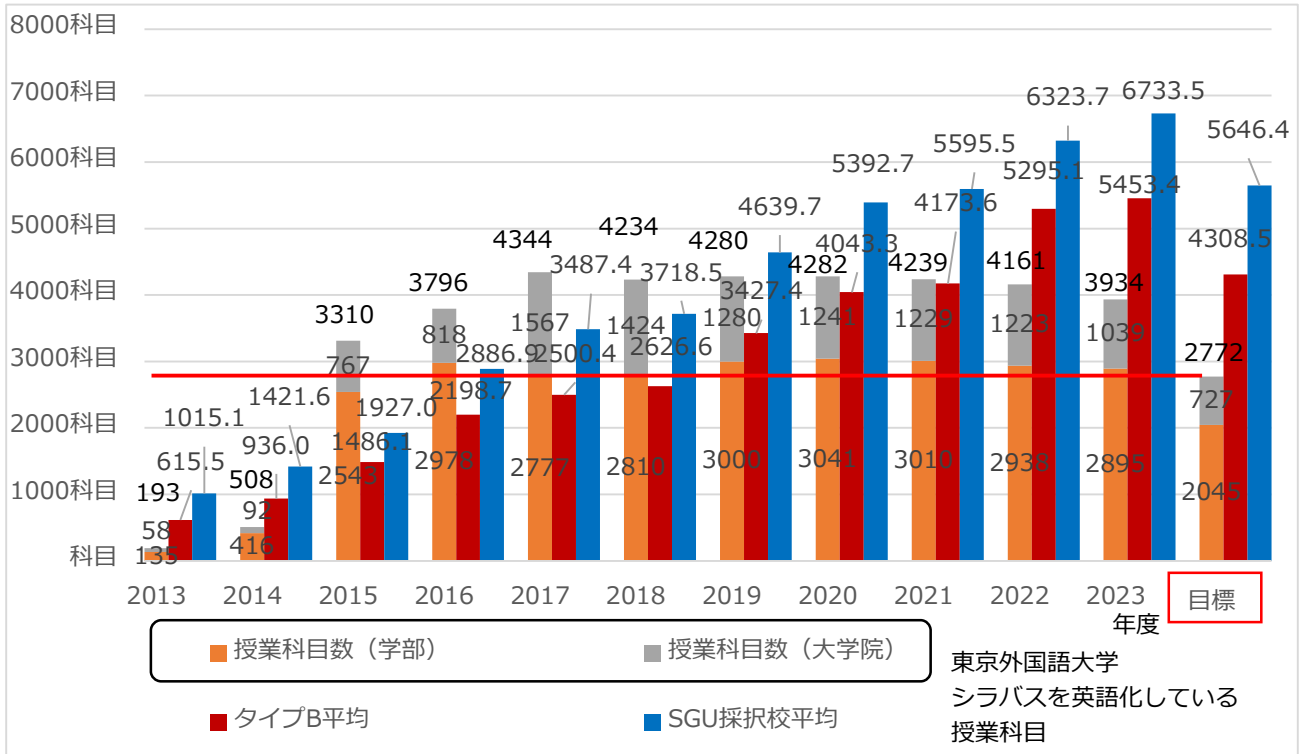


シラバスの英語化の状況・割合

大学共通必須項目

○科目数

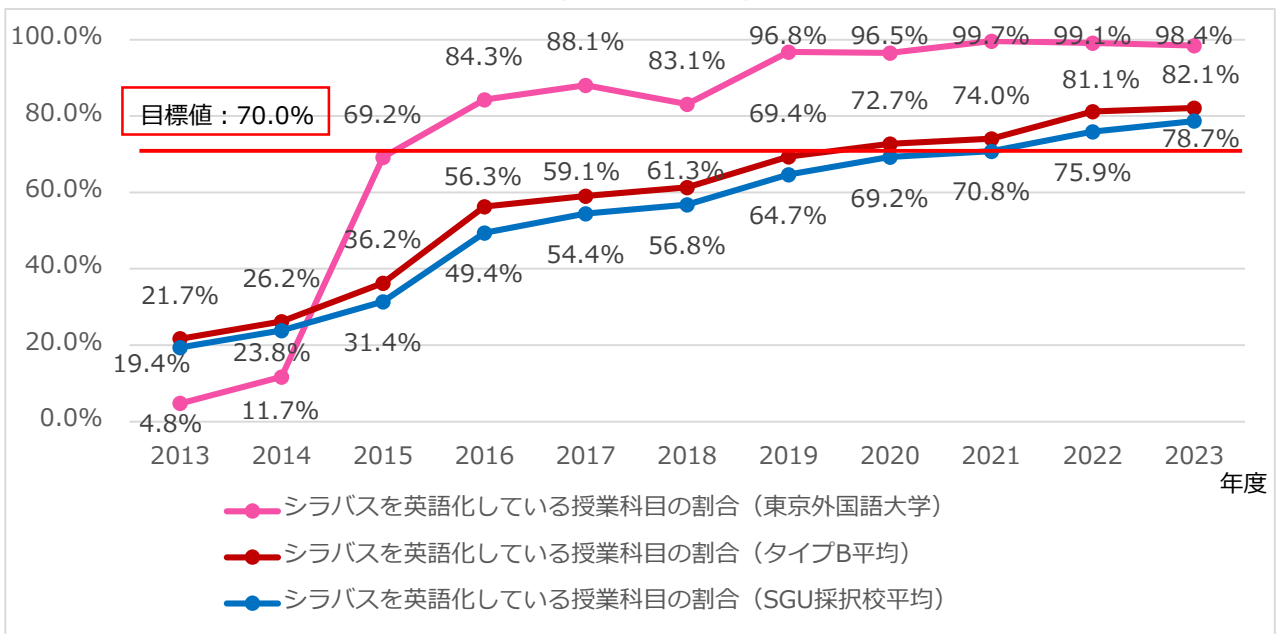
(毎年度5月1日時点)



○割合

割合 = シラバスを英語化している授業科目数 ÷ 全授業科目数

(毎年度5月1日時点)



第5節

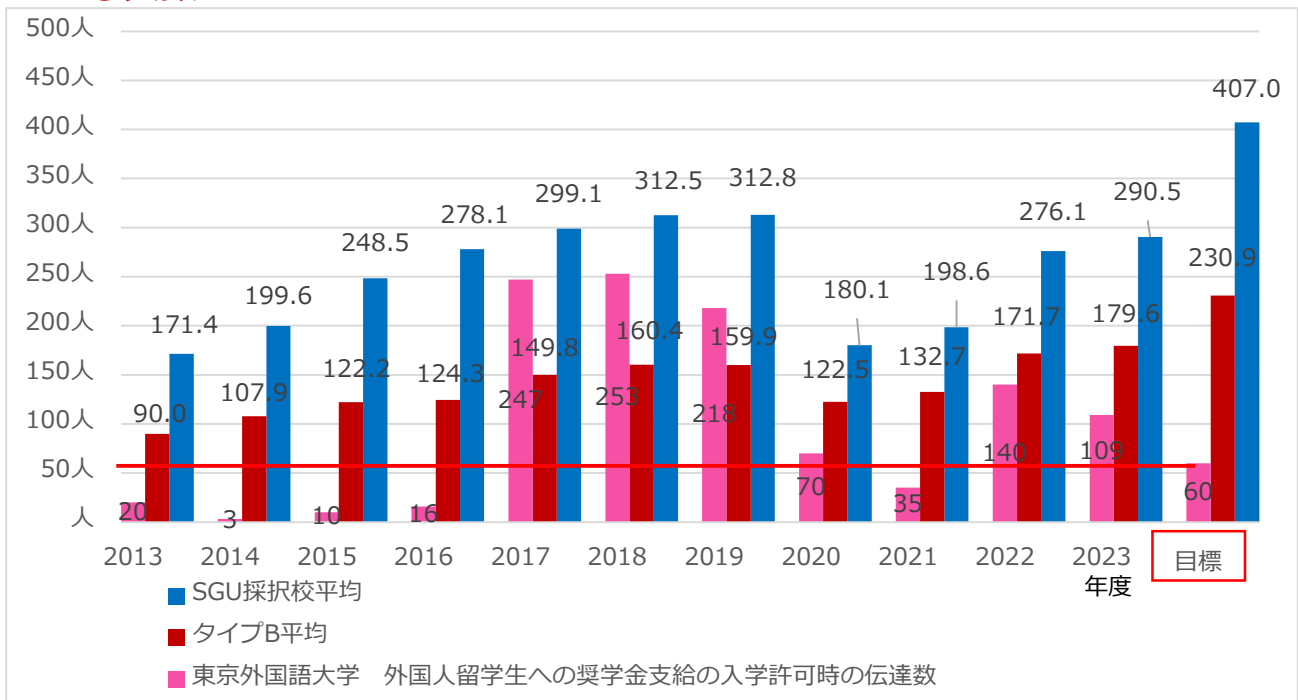
大学の国際開放度

奨学金支給の入学許可時の伝達

大学選択項目（本学選択）

○人数

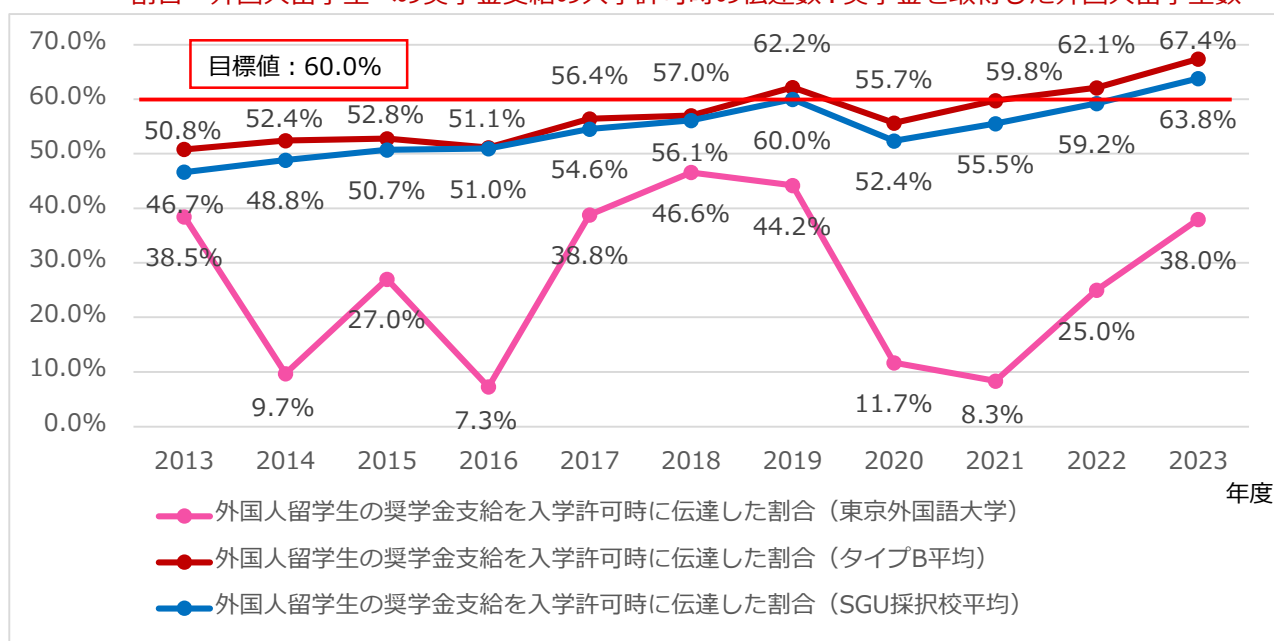
(毎年度通年)



○割合

(毎年度通年)

割合 = 外国人留学生への奨学金支給の入学許可時の伝達数 ÷ 奨学金を取得した外国人留学生数



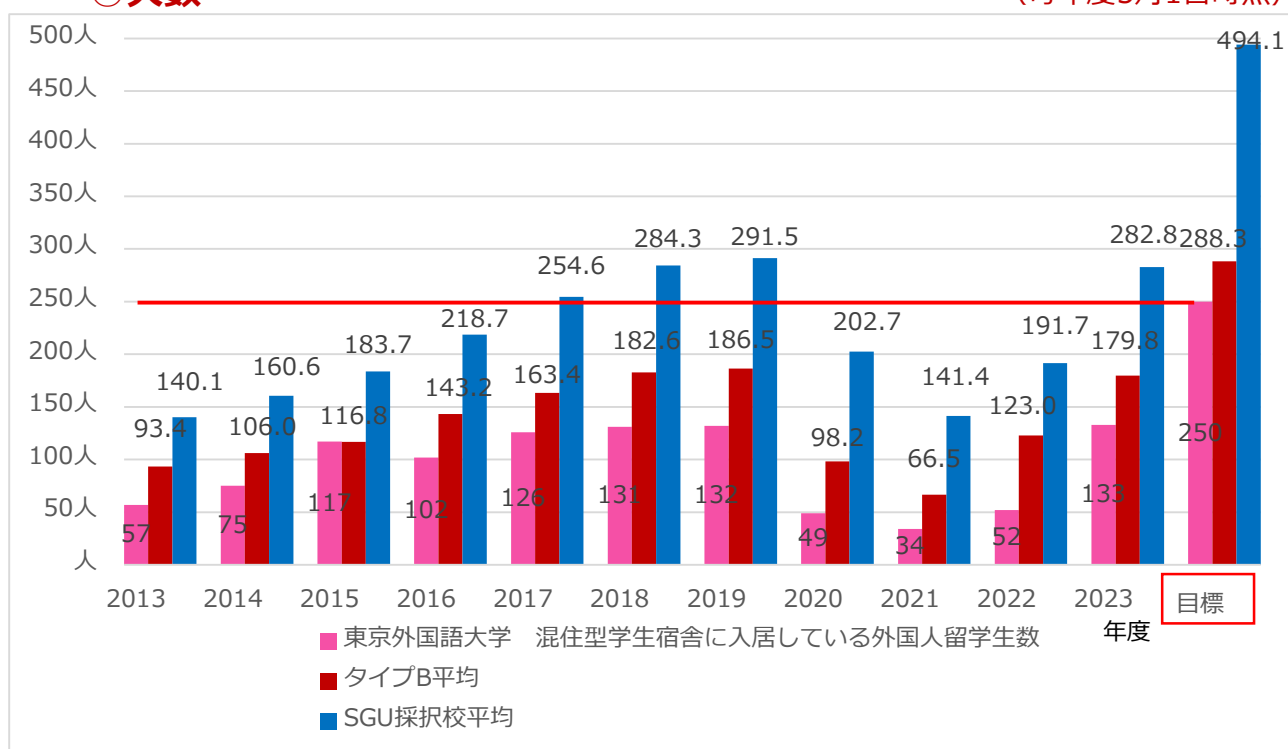
混住型学生宿舎の有無

大学選択項目 (本学選択せず)

●混住型学生宿舎に入居している外国人留学生

○人数

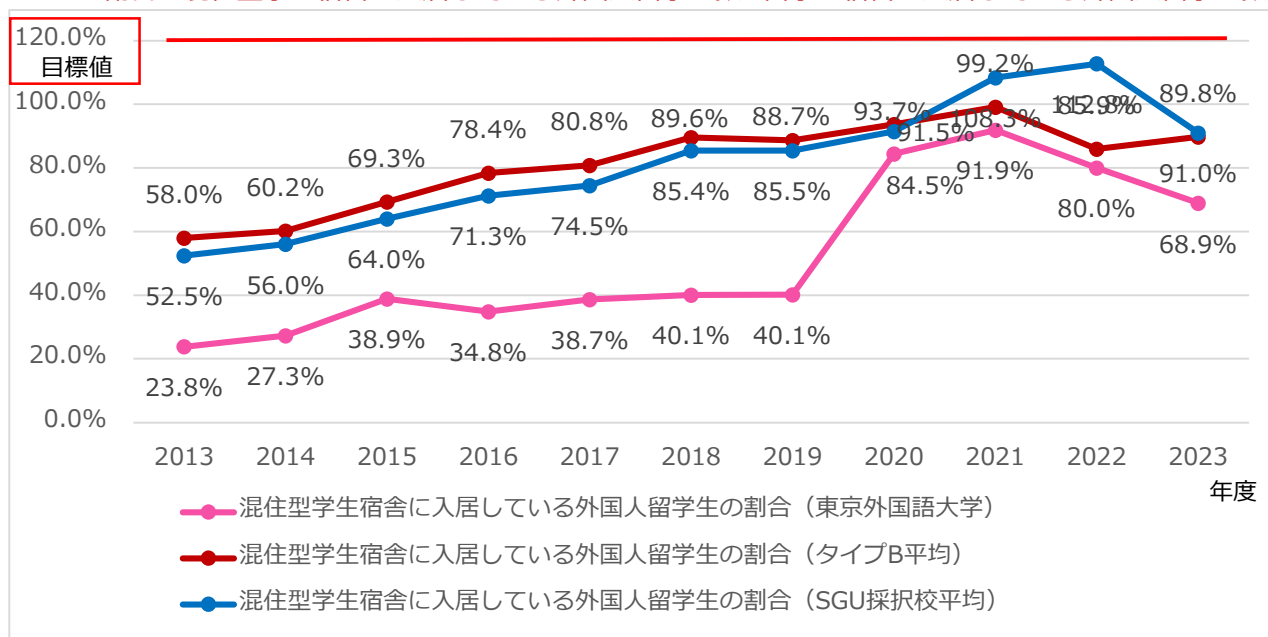
(毎年度5月1日時点)



○割合

(毎年度5月1日時点)

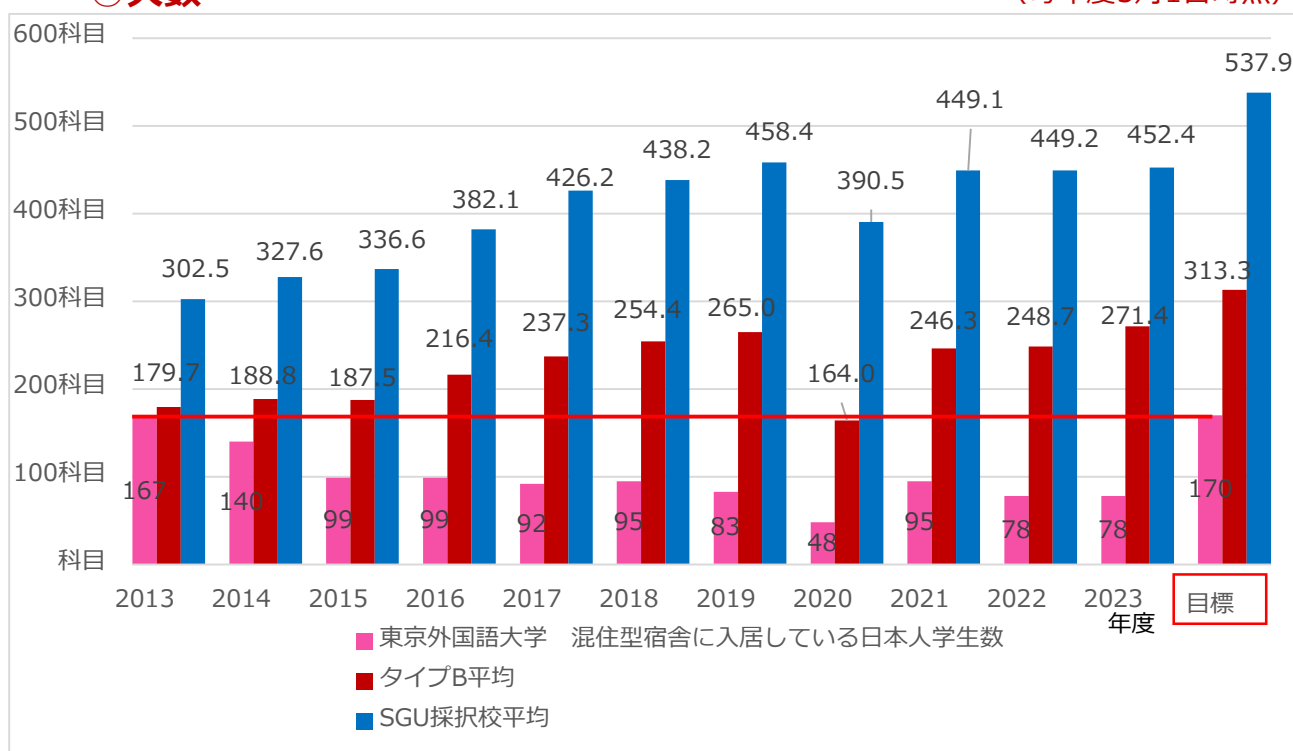
割合 = 混住型学生宿舎に入居している外国人留学生数 ÷ 留学生宿舎に入居している外国人留学生数



●混住型宿舎に入居している日本人学生数

○人数

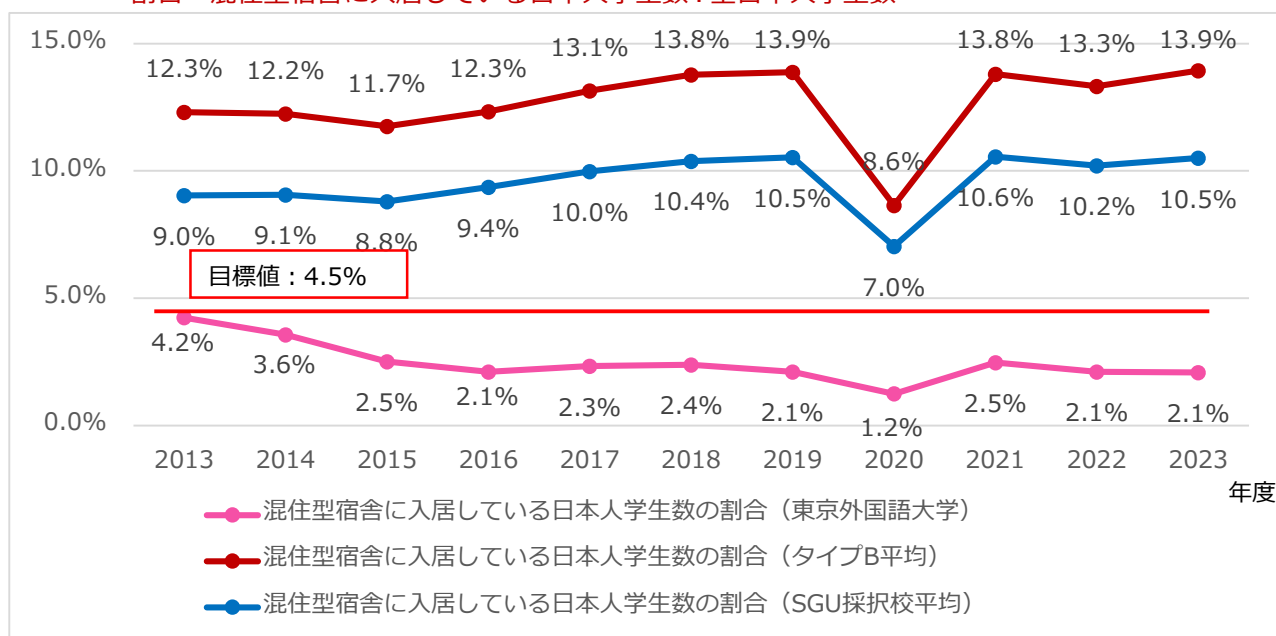
(毎年度5月1日時点)



○割合

(毎年度5月1日時点)

割合 = 混住型宿舎に入居している日本人学生数 ÷ 全日本人学生数



第3章

目標の進捗状況（ガバナンス改革関連）

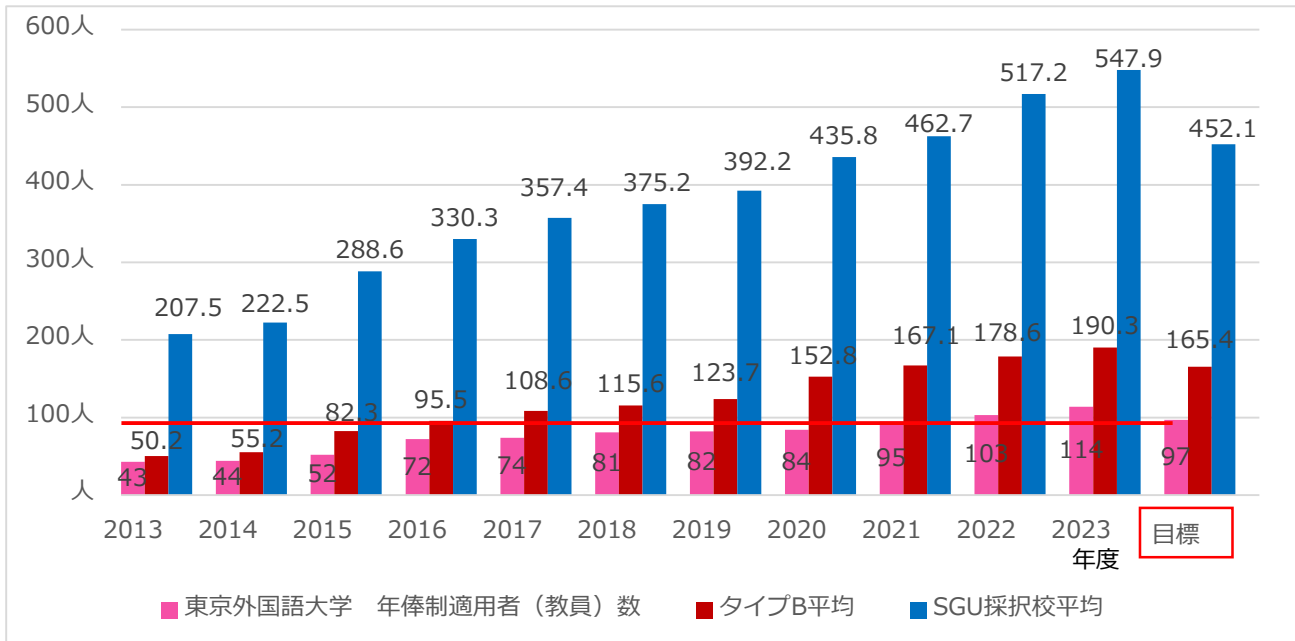
年俸制の導入

大学共通必須項目

●年俸制適用者（教員）

○人数

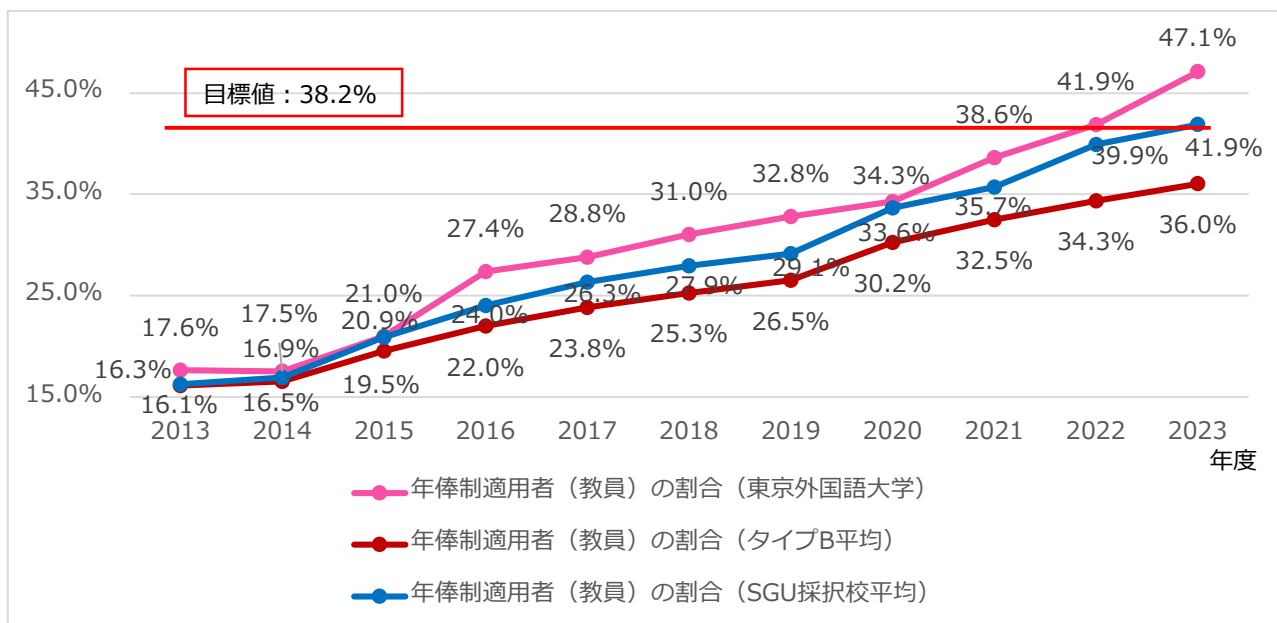
（毎年度5月1日時点）



○割合

割合 = 年俸制適用者（教員）数 ÷ 全専任教員数

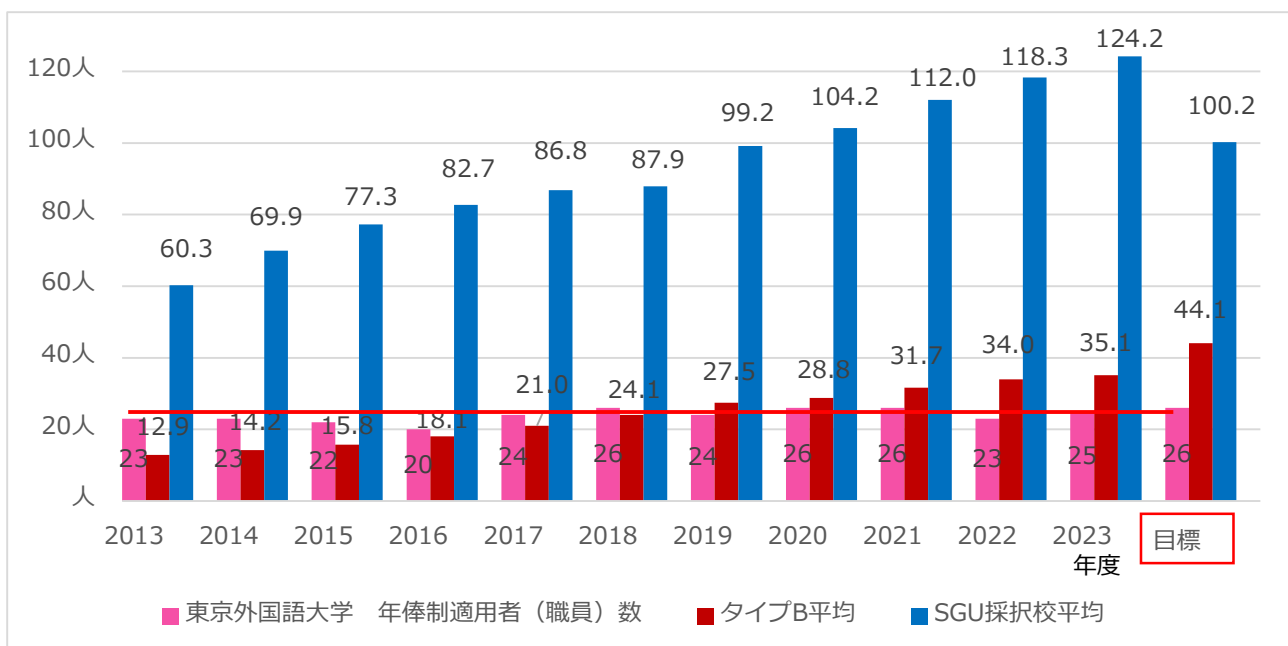
（毎年度5月1日時点）



●年俸制適用者（職員）

○人数

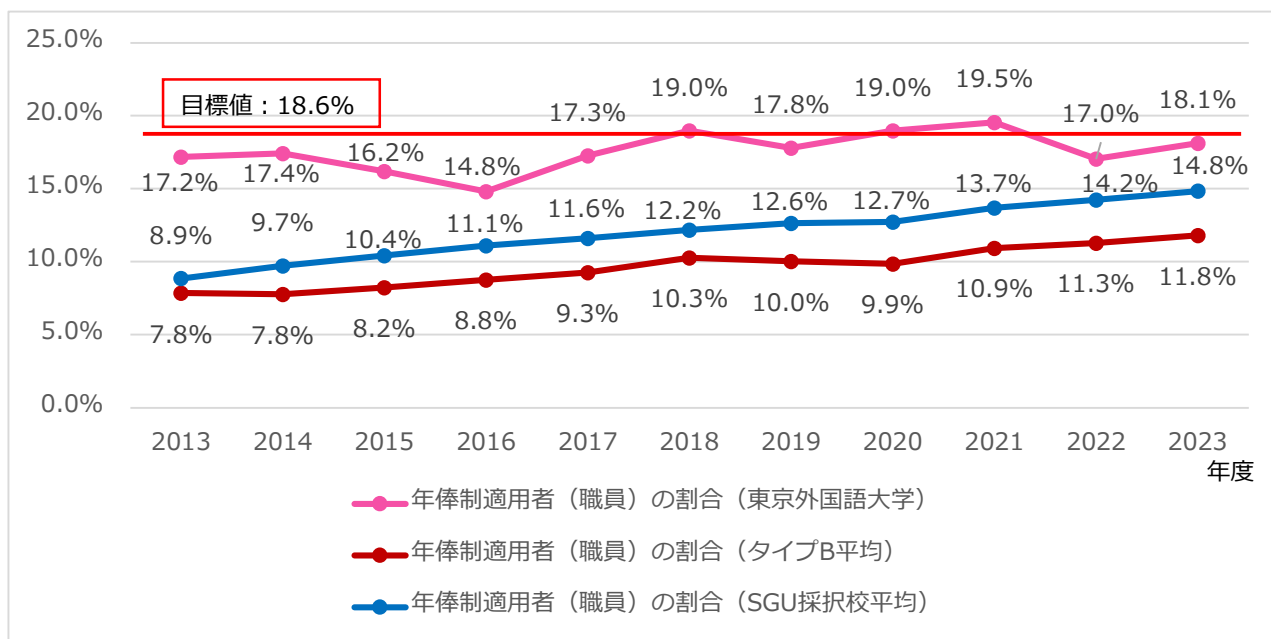
（毎年度5月1日時点）



○割合

割合 = 年俸制適用者（職員）数 ÷ 全専任職員数

（毎年度5月1日時点）

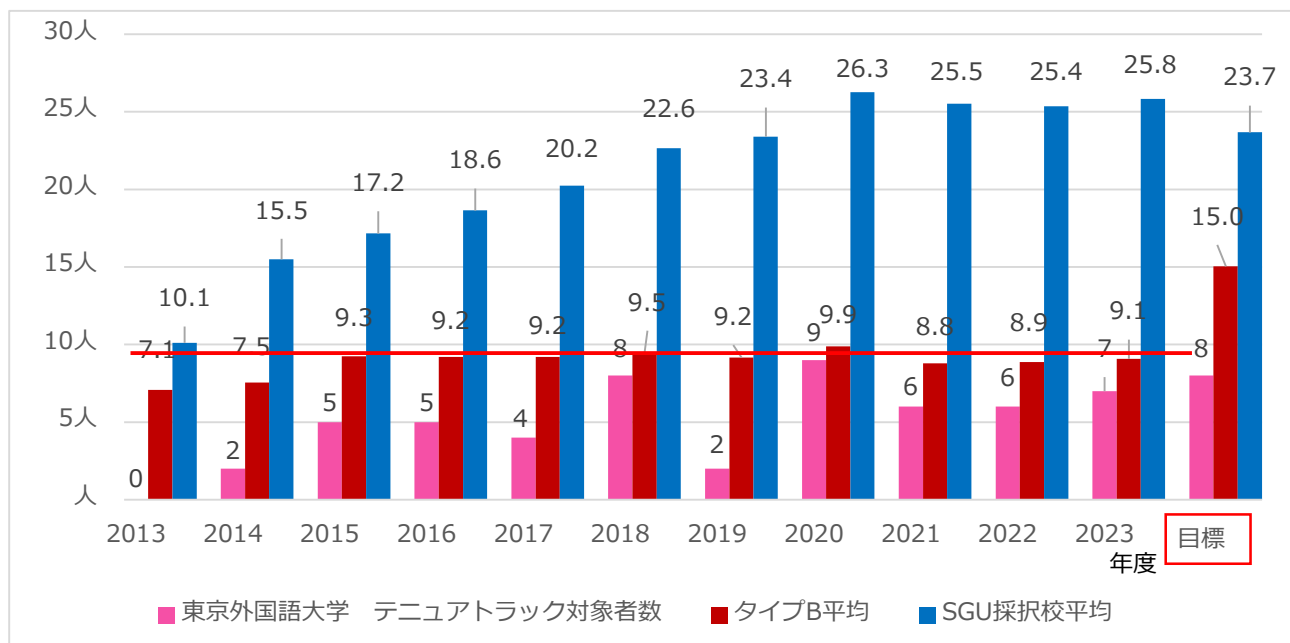


テニユアトラック制の導入

大学選択項目（本学選択）

○人数

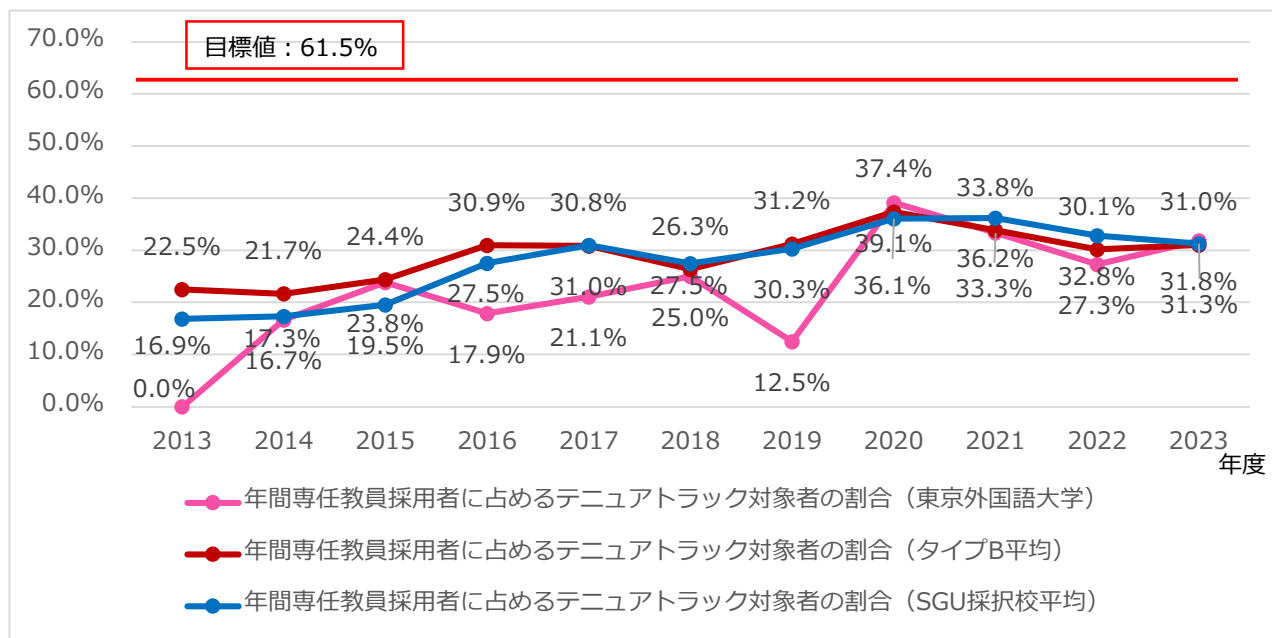
(毎年度通年)



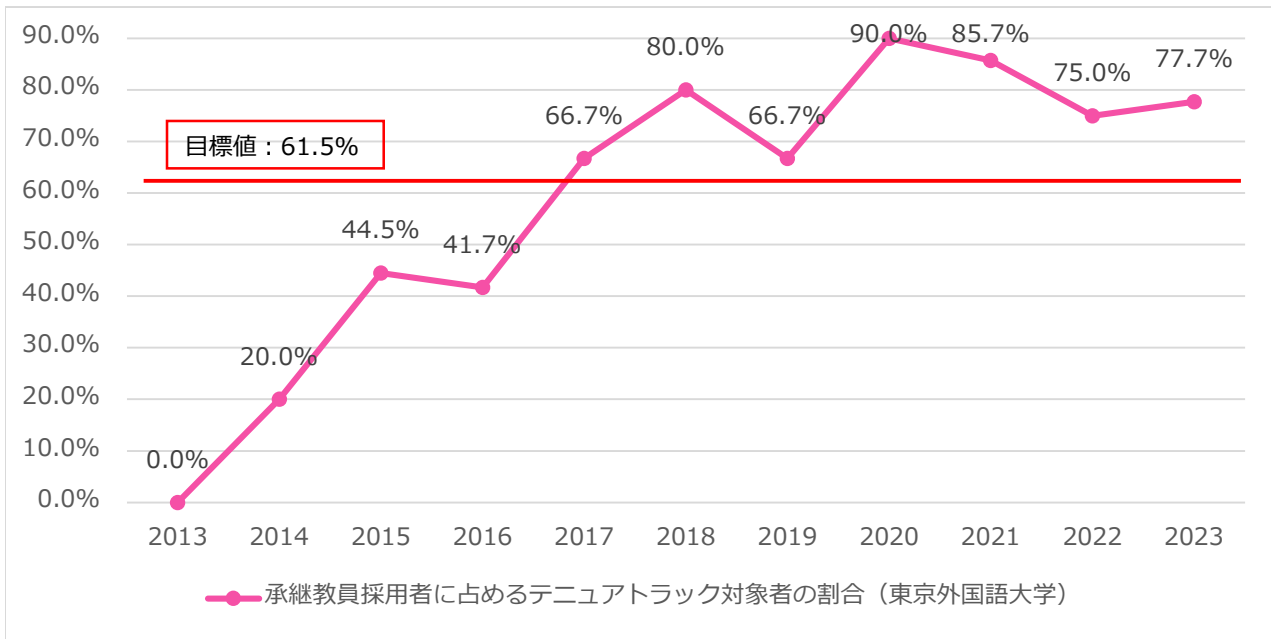
○割合

割合 = テニユアトラック対象者数 ÷ 年間専任教員採用者数

(毎年度通年)



(参考) 承継教員採用者を母数にした場合のテニュアトラック対象者の割合



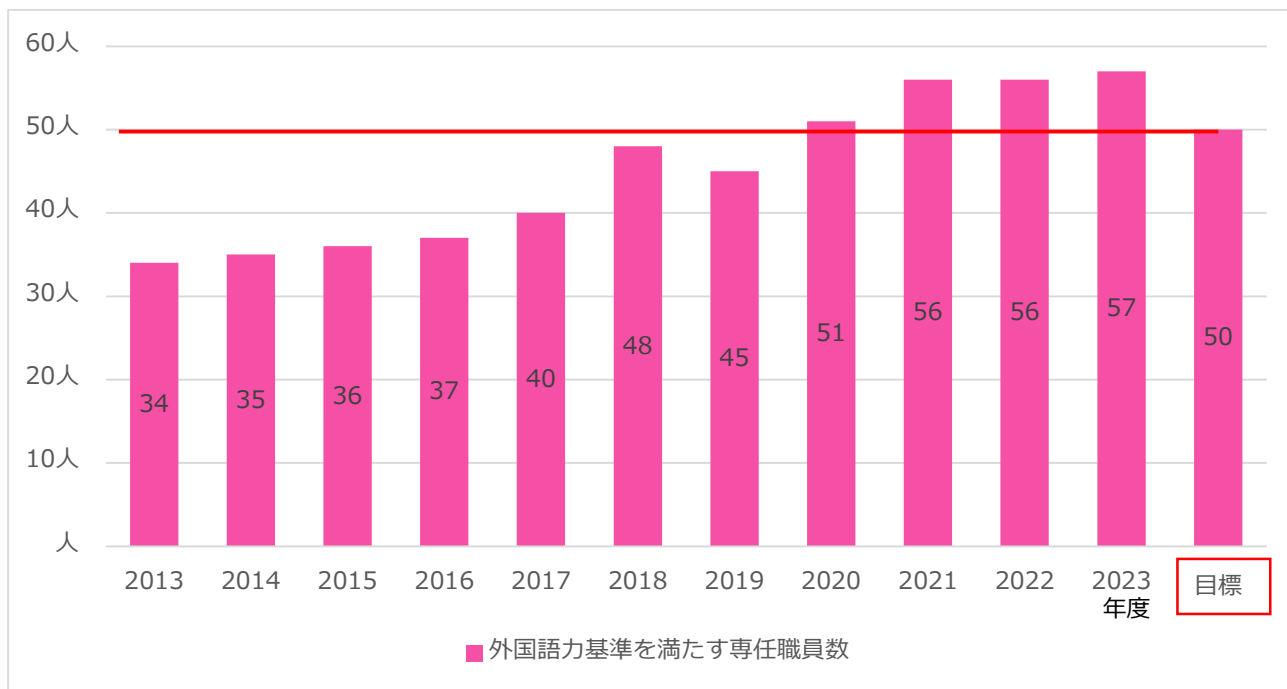
●外国語力基準

本学では、TOEFL(iBT) 65以上、TOEIC 600以上、IELTS 5.5以上、英検準1級以上のいずれかを満たす職員数を基準に置いています。

●外国語力基準を満たす職員

○人数

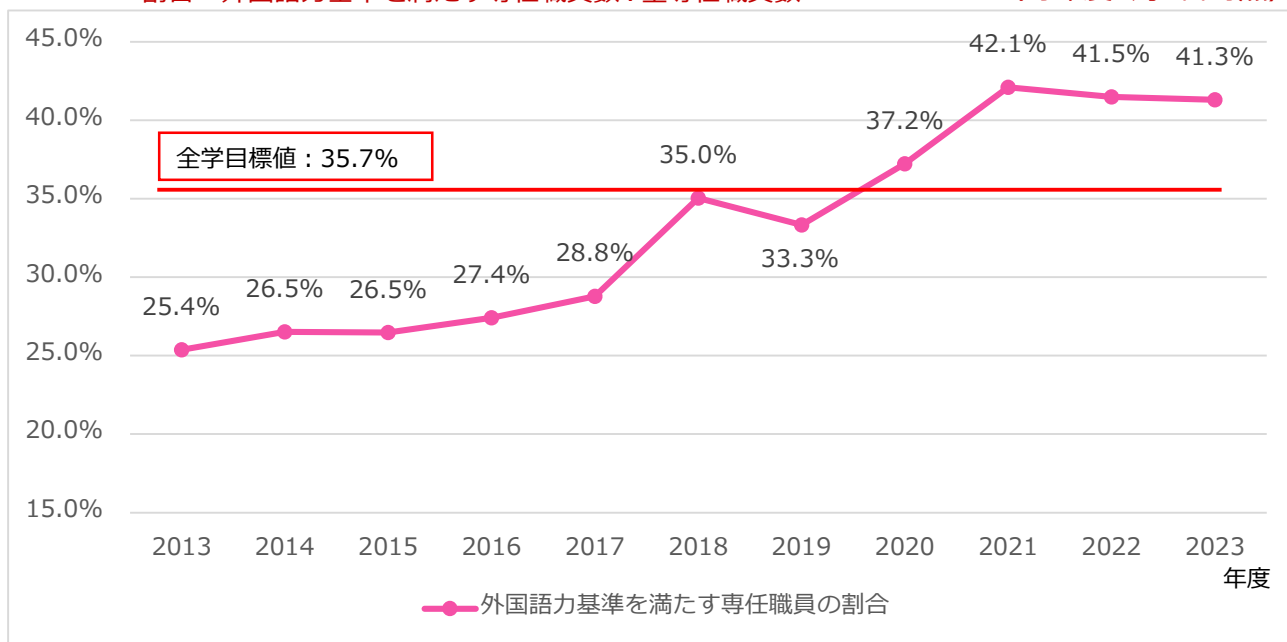
(毎年度5月1日時点)



○割合

割合 = 外国語力基準を満たす専任職員数 ÷ 全専任職員数

(毎年度5月1日時点)



第4章

目標の進捗状況（教育改革関連）

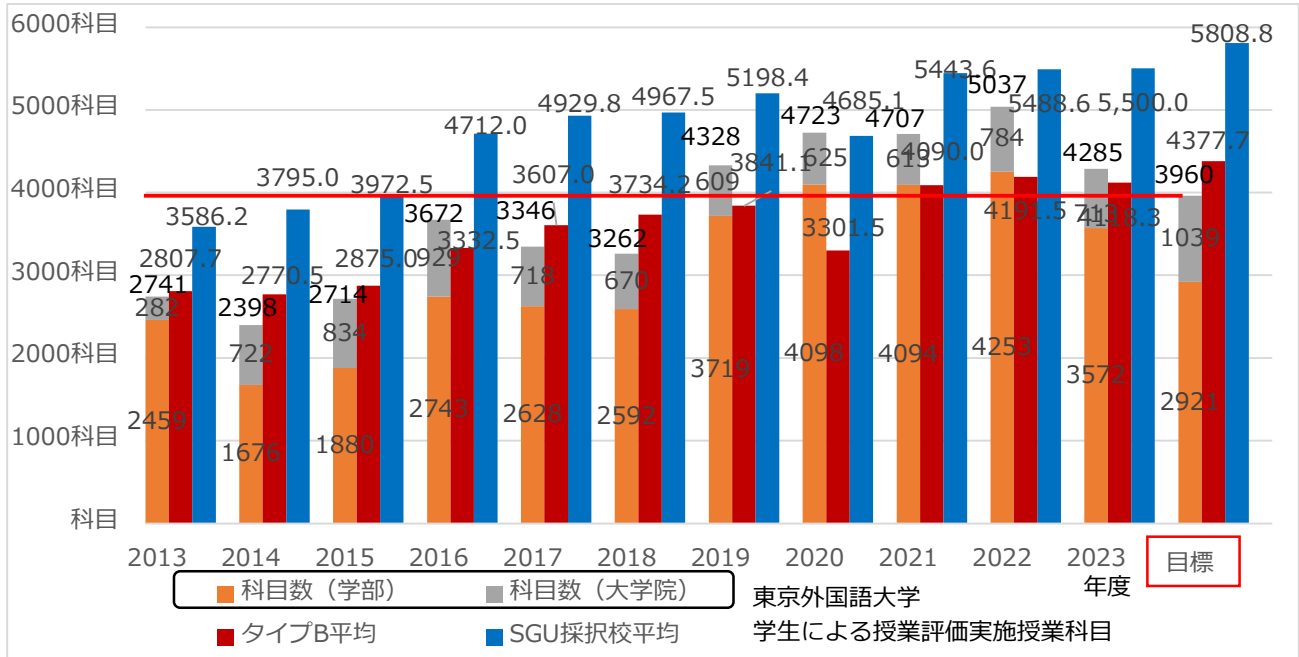
学生の主体的参加と大学運営への反映の促進

大学選択項目（本学選択）

● 学生による授業評価実施授業科目

○ 科目数

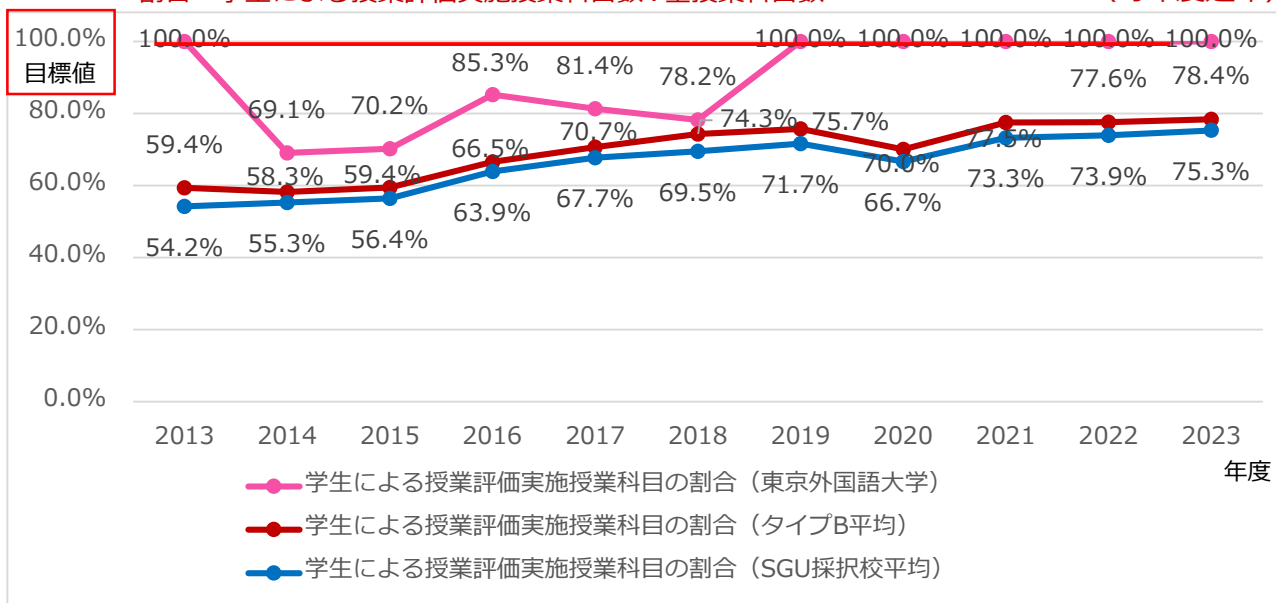
（毎年度通年）



○割合

割合 = 学生による授業評価実施授業科目数 ÷ 全授業科目数

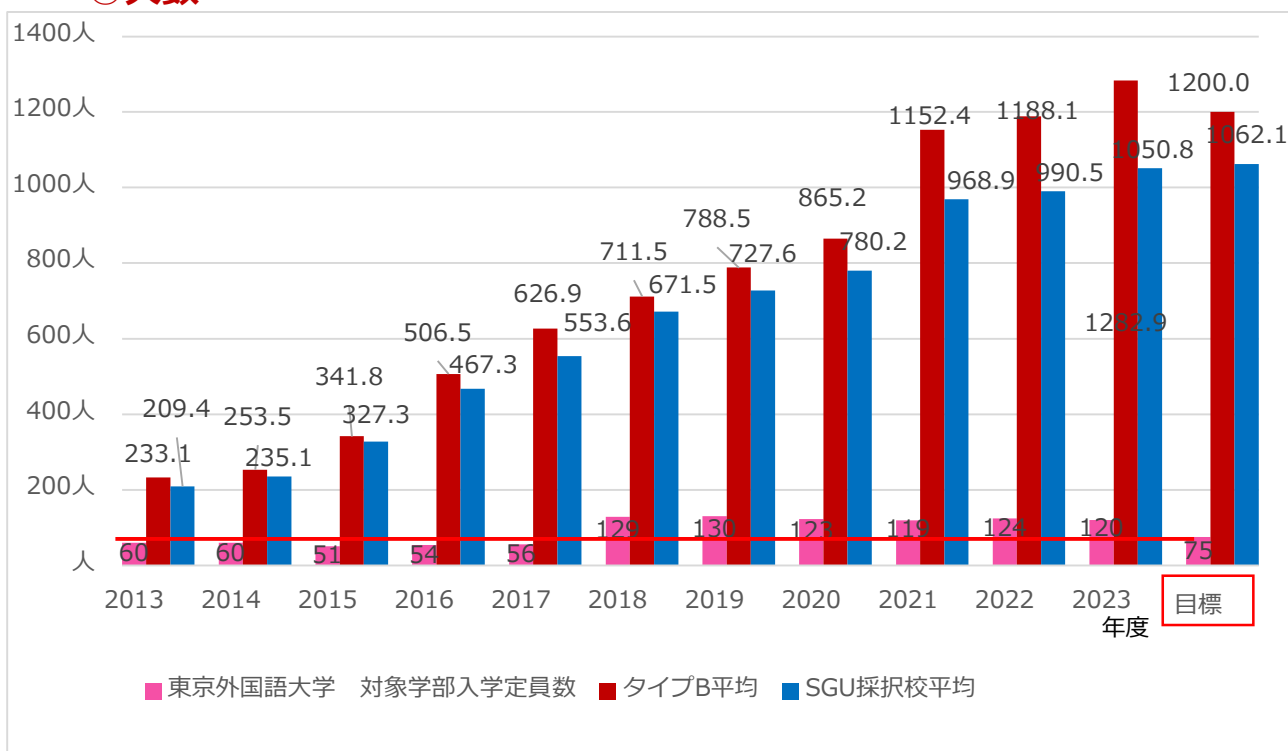
(毎年度通年)



TOEFL等外部試験の学部入試への活用

大学共通必須項目

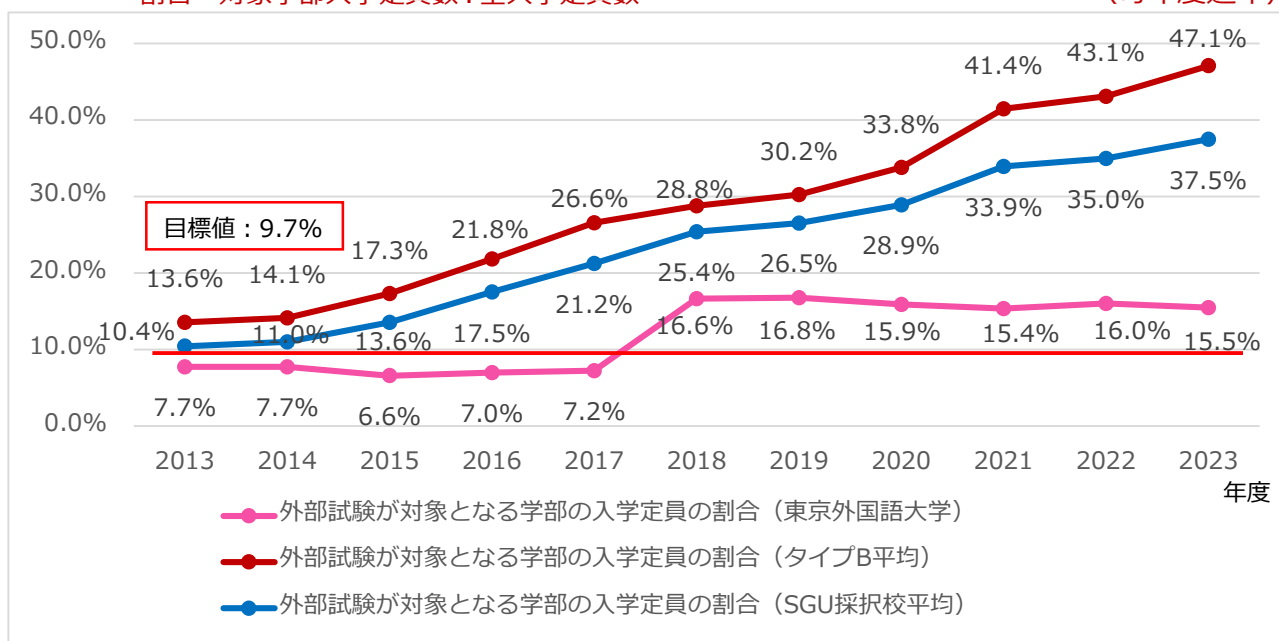
○人数



○割合

割合 = 対象学部入学定員数 ÷ 全入学定員数

(毎年度通年)



第5章

目標の進捗状況（大学独自の成果指標）

語学力（語学力に関するチャレンジ目標達成者）

●語学力に関するチャレンジ目標

本学では、外国語力基準（TOEIC800点相当）を達成した学生に、語学学習の目的に応じ、より高いチャレンジ目標を提示し、自発的・計画的な学習を促しています。

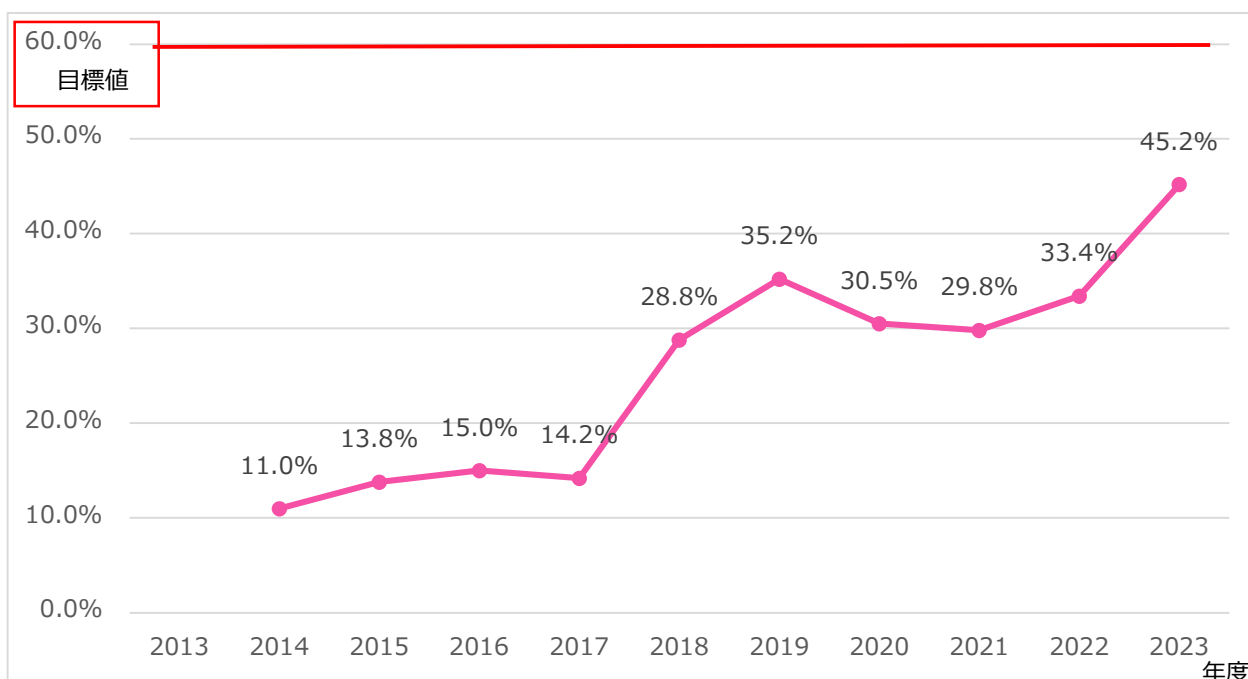
チャレンジ目標は、

- ① 英語以外の外国語において、[CEFR-J/C1]
- ② 英語において、TOEIC900点（または、それに準じる他の外部試験スコア）
- ③ 3つ以上の外国語において、[CEFR-J/B2] とし、

このいずれかを卒業時まで達成した卒業者の割合を基準に置いています。

●チャレンジ目標を達成した卒業者の割合

（毎年度通年）



※2013年度はデータなし

Joint Education Program 開設数

●Joint Education Program とは

Joint Education Program は、海外協定校（1つ、または複数）の学生と本学学生が共学し、それぞれが単位を取得する科目からなるプログラムのことです。

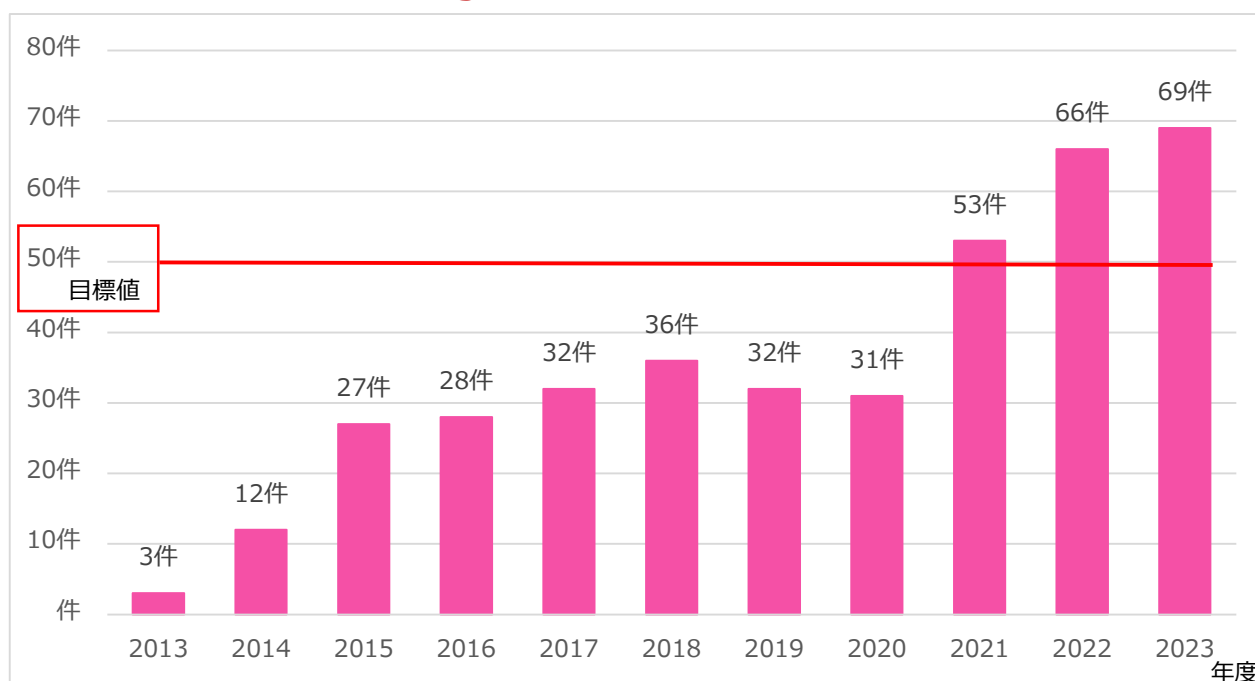
海外の協定大学との多様な分野にわたるプログラムを開発し、教員の交流を含む共同教育プログラムを開催しています。

具体的には、本学における夏季集中セミナー、海外協定校の授業履修、本学学生と海外協定校の学生がともに参加するスタディツアーなどがあります。

本指標では、実際のプログラム開設数を測定します。

●Joint Education Program 開設数

(毎年度通年)



留学200%達成者

●留学200% とは

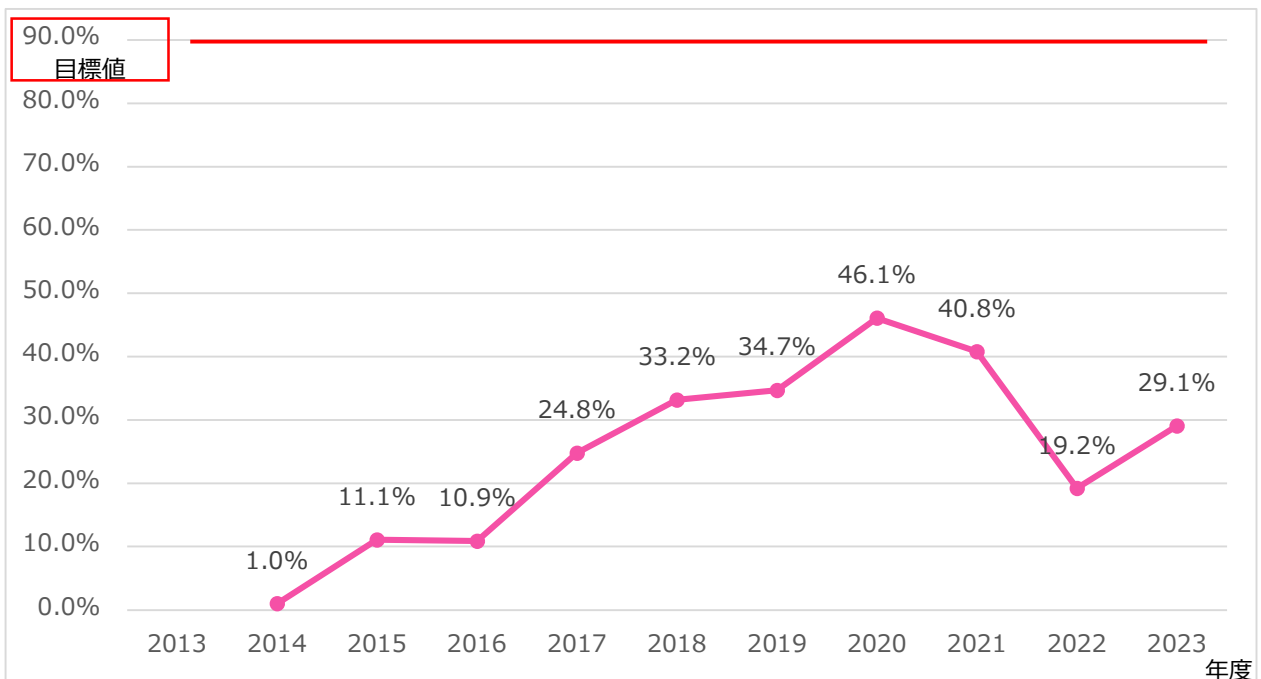
「留学200%」とは、在学中に2回以上の留学を経験しよう、という意味です。

本学では、交換留学、短期海外留学、スタディーツアー、海外インターンシップなど、海外協定校を中心とした海外留学の機会を提供しています。

本指標では、「留学200%」を卒業時まで達成した卒業生の割合を基準に置いています。

●留学200%を達成した卒業生の割合

(毎年度通年)

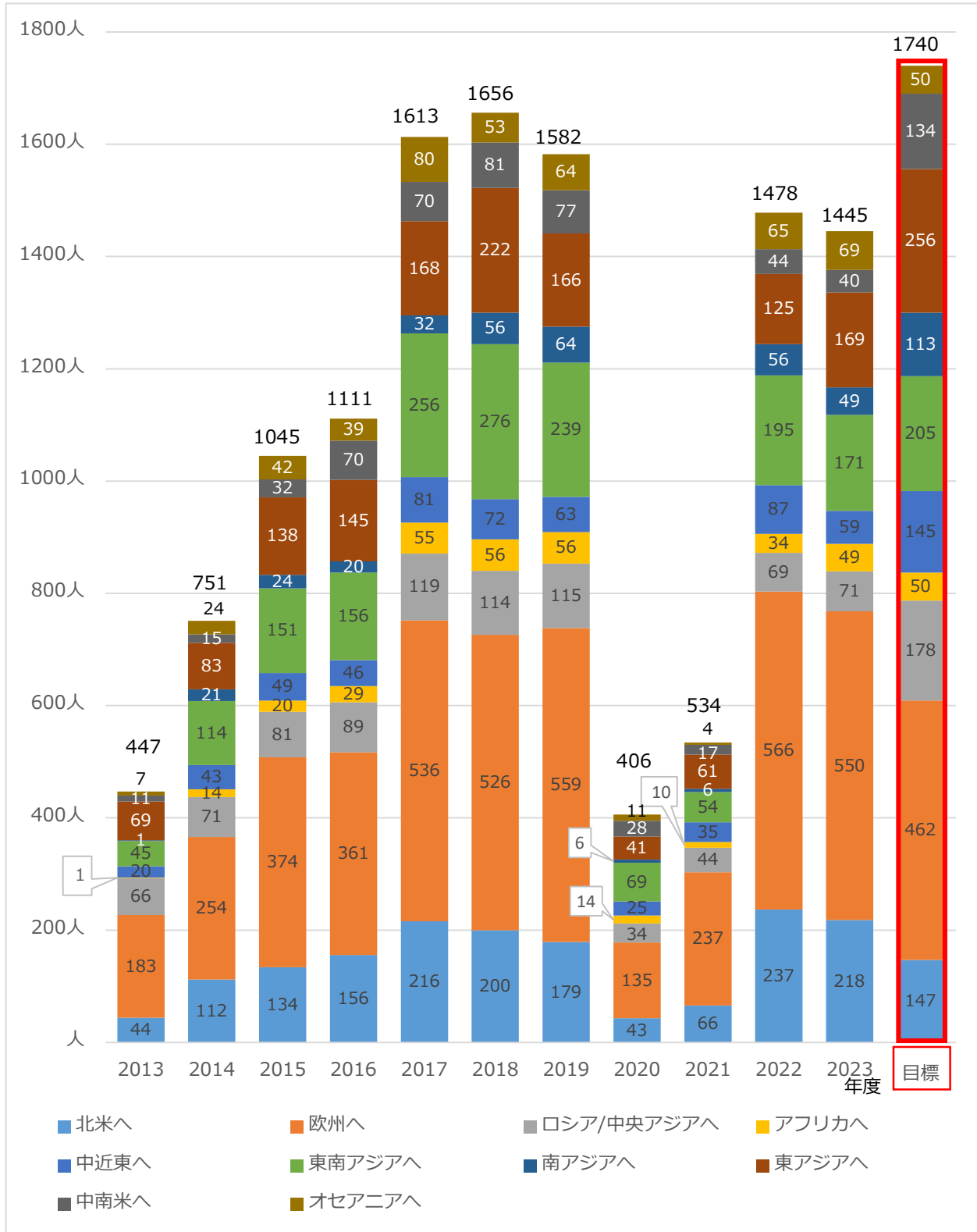


※2013年度はデータなし

本学学生の全世界的展開

地域別の留学者数の目標（通年）を設定し、達成を目指します。

(毎年度通年)



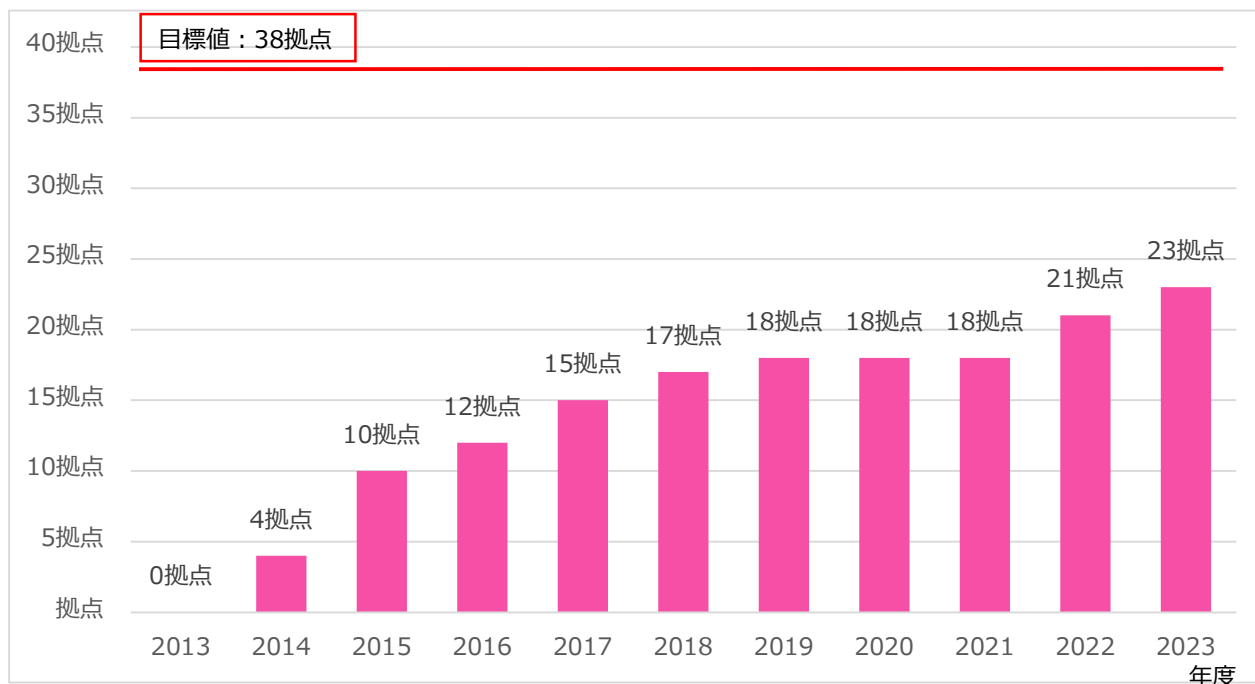
Global Japan Office の設置数

●Global Japan Office とは

本学は、主要な海外協定校に「日本語教育・日本教育」の拠点となるGlobal Japan Officeを設置しています。本指標では、Global Japan Office の設置数を基準に置いています。

●Global Japan Office設置数

(毎年度通年)



●Global Japan Office設置大学

ヤンゴン大学 (ミャンマー)

淡江大学 (台湾)

ロンドン大学SOAS (英国)

上海外国語大学 (中国)

韓国外国語大学校 (韓国)

カイロ大学 (エジプト)

サラマンカ大学 (スペイン)

グアナフアト大学社会人文学部 (メキシコ)

ベオグラード大学文学部 (セルビア)

リオ・デ・ジャネイロ州立大学 (ブラジル)

国際人文開発大学 (トルクメニスタン)

ヴィータウタス・マグヌス大学 (リトアニア)

ライデン大学 (オランダ)

リヴィウ大学 (ウクライナ)

高等経済学院 (ロシア)

プレトリア大学 (南アフリカ)

メルボルン大学 (オーストラリア)

プロテスタント人文・社会科学大学 (ルワンダ) *

タシュケント国立東洋学大学 (ウズベキスタン)

ベトナム国家大学ホーチミン市人文・社会科学大学 (ベトナム) *

ベトナム国家大学ハノイ外国語大学 (ベトナム) *

セントラル・ランカシャー大学 (イギリス) *

マヒドン大学アジア言語文化研究所 (タイ) *

*Global Japan Desk 設置大学

国際化関連

●多様性

①教員に占める外国人及び外国の大学で学位を取得した専任教員等の割合

(各年度5月1日時点)

用語	定義
外国人教員等	
うち外国籍教員	学校基本調査「学生教職員等状況票」の本務者のうち、「外国人」の値
うち外国の大学で学位を取得した日本人教員	外国の大学の学位を保有する日本人教員（特定有期雇用職員、短時間勤務特定有期雇用職員を含む）
うち外国で通算1年以上3年未満の教育研究歴のある日本人教員	前職等での経歴も含め、外国で通算1年以上3年未満の教育研究歴のある日本人教員（特定有期雇用職員、短時間勤務特定有期雇用職員を含む。ただし、学生時代の留学は教育研究歴に含まない）
うち外国で通算3年以上の教育研究歴のある日本人教員	前職等での経歴も含め、外国で通算3年以上の教育研究歴のある日本人教員（特定有期雇用職員、短時間勤務特定有期雇用職員を含む。ただし、学生時代の留学は教育研究歴に含まない）
全専任教員数	学校基本調査「学生教職員等状況票」の教員数（本務者）の合計値（特定有期雇用職員、短時間勤務特定有期雇用職員を含む）

②職員に占める外国人及び外国の大学で学位を取得した専任職員等の割合

(各年度5月1日時点)

用語	定義
外国人職員等	
うち外国籍職員	外国籍の職員（特定有期雇用職員を含む）
うち外国の大学で学位を取得した日本人職員	外国の大学の学位を有している日本人職員（特定有期雇用職員を含む）
うち外国で通算1年以上の勤務・研修経験のある日本人職員	学生時代の留学や前職等での経歴を含め、外国で通算1年以上の勤務・研修経験のある日本人職員（特定有期雇用職員を含む）
全専任職員数	学校基本調査「学生教職員等状況票」の職員数（本務者）の合計値（特定有期雇用職員を含む）

③教職員に占める女性の比率

(各年度5月1日時点)

用語	定義
女性教員	学校基本調査「学生教職員等状況票」の教員数（本務者）のうち女性の合計値（特定有期雇用職員、短時間勤務特定有期雇用職員を含む）
全専任教員数	学校基本調査「学生教職員等状況票」の教員数（本務者）の合計値（特定有期雇用職員、短時間勤務特定有期雇用職員を含む）

女性職員	学校基本調査「学生教職員等状況票」の職員数（本務者）のうち女性の合計値（特定有期雇用職員を含む）
全専任職員数	学校基本調査「学生教職員等状況票」の職員数（本務者）の合計値（特定有期雇用職員を含む）

④全学生に占める外国人留学生の割合

（各年度5月1日時点）

用語	定義
外国人留学生数	
うち在留資格が「留学」の者	学校基本調査「外国人学生調査票」の国費留学生及び私費留学生の合計値（科目等履修生・聴講生・研究生を含む）
うち在留資格が「留学」以外の者	学校基本調査「外国人学生調査票」の留学生以外の外国人学生の合計値（科目等履修生・聴講生・研究生を含む。永住者及び特別永住者を除く。在留資格が、『日本人の配偶者等』、『永住者の配偶者等』、『定住者』等の者は含む。）
全学生数	学校基本調査「学生教職員等状況票」の学生数の合計値（科目等履修生・聴講生・研究生を含む）

（各年度通年）

用語	定義
外国人留学生数	学校基本調査の定義に基いた1年間の延べ数（当該年度中に在籍記録のある外国人学生の総数）（ショートステイの留学生を含む）
うち在留資格が「留学」の者	5月1日現在の数値に、秋入学の外国人留学生数を追加
うち在留資格が「留学」以外の者	5月1日現在の数値に、以降の入学数を追加（永住者及び特別永住者を除く。ただし、在留資格が『日本人の配偶者等』、『永住者の配偶者等』、『定住者』等は含む。）
全学生数	学校基本調査「学生教職員等状況票」の学生数の合計値（科目等履修生・聴講生・研究生を含む）

●流動性

①日本人学生に占める留学経験者の割合

（各年度通年）

用語	定義
単位取得を伴う海外留学経験者数	該当年度に帰国または出発した学生について ①学部生は、単位認定をした日本国籍の交換留学、休学留学、ショートビジット、スタディツアー、日本語教育インターンシップ（単位認定あり）が対象。
うち学部	大学院生は、日本国籍の単位認定をした交換留学、国際機関インターンシップ、大学院生向けUFS Joint Education Program、日本語教育インターンシップ、ショートビジット、スタディツアーが対象。このうち、単位取得者の数を算出する。
うち大学院	② ①に、前年度以前に留学し本年度に単位認定されたものを加える。 ③ ②から本年度に二度の留学をし、2回とも単位取得しているものを差し引く。

全学生数	学校基本調査「学生教職員等状況票」の学部/大学院 学生数から「外国人学生調査票」の学部/大学院 留学生数を引いた値（科目等履修生・聴講生・研究生を含む）。全学生数と、日本国籍を有し正規課程に在籍する学生で、かつ、単位取得を伴う留学を経験した学生の数を記入。永住者・特別永住者も除く。
うち学部	
うち大学院	
教員の指導の下、3ヶ月以上研究派遣された大学院生数	協定校への交換留学生、研究自由留学、長期JEP、国際機関インターンシップをした者の数を合算する。日本国籍を持たないものは含まない。コチューテルや研究委託の数を加える。日本学術振興会の特別研究員等で該当者がいる場合は加える。

②大学間協定に基づく交流数・派遣日本人学生数

(各年度通年)

用語	定義
大学間協定に基づく派遣日本人学生数	
うち単位取得を伴う学部生数	日本国籍を持つ単位認定済み交換留学、ショートビジットの日本国籍を持つ単位認定済み参加者数を合計し、協定に基づき二度の留学をして2回とも単位認定をしている学生を差し引く。 ※前年度から継続して留学している者や翌年度にかけて留学している者を含む。
うち単位取得を伴わない学部生数	交換留学生で単位認定が未済のものから、日本国籍以外の学生を引いた数を算出。これにショートビジットで単位認定のなかった日本国籍を持つ学生を加える。
うち単位取得を伴う大学院生数	日本国籍を持つ単位認定済み交換留学、ショートビジット、協定校へのJEP(非協定校除く)の日本国籍を持つ単位認定済み参加者数を合計し、協定に基づき二度の留学をして2回とも単位認定をしている学生を差し引く。 ※前年度から継続して留学している者や翌年度にかけて留学している者を含む。
うち単位取得を伴わない大学院生数	交換留学生で単位認定が未済のものから、日本国籍以外の学生を引いた数を算出。これにショートビジットで単位認定のなかった日本国籍を持つ学生を加える。
大学間協定に基づく受入外国人留学生数	
うち単位取得を伴う学部生数	当該年度年度受入学生の中で成績発行を行った学生。
うち単位取得を伴わない学部生数	
うち単位取得を伴う大学院生数	当該年度年度受入学生の中で成績発行を行った学生。
うち単位取得を伴わない大学院生数	
全学生数	学校基本調査「学生教職員等状況票」の学生数の合計値（科目等履修生・聴講生・研究生を含む）

●語学力関係

①外国語による授業科目数・割合

(各年度通年)

※学部・大学院の両方に開かれた授業であっても、学部または大学院のいずれかで1科目として計上

用語	定義
外国語による授業科目数	
うち学部	学部の教育課程（4年間）で開設される外国語（英語を含む）による授業科目数（語学としての授業及び外国語学部は除く）
うち大学院	総合国際学研究科の教育課程（計5年）で開設される外国語（英語を含む）による授業科目数（語学としての授業は除く）
英語による授業科目数	
うち学部	学部の教育課程（4年間）で開設される英語による授業科目数（語学としての授業及び外国語学部は除く）
うち大学院	総合国際学研究科の教育課程（計5年）で開設される英語による授業科目数（語学としての授業は除く）
全授業科目数	
うち学部	学部の教育課程（4年間）で開設される総授業科目数（語学としての授業を含む。外国語学部は除く。）
うち大学院	総合国際学研究科の教育課程（計5年）で開設される総授業科目数（語学としての授業を含む）

②外国語のみで卒業できるコースの数等

（各年度5月1日時点）

用語	定義
外国語のみで卒業できるコースの設置数	
うち学部	外国語のみで卒業できる学部のコースの設置数
うち大学院	外国語のみで卒業できる大学院のコースの設置数
全学位コースの設置数	
外国語のみで卒業できるコースの在籍者数	
うち学部	外国語のみで卒業できる学部のコースの在籍者数
うち大学院	外国語のみで卒業できる大学院のコースの在籍者数
全学生数	学校基本調査「学生教職員等状況票」の学生数の合計値（科目等履修生・聴講生・研究生を含む）

③学生の語学レベルの測定・把握、向上のための取組

（各年度通年）

用語	定義
外国語力基準を満たす学生数	
うち学部	5月1日現在在籍者のうち、TOEIC800点（相当）を満たす学部学生数
うち大学院	5月1日現在在籍者のうち、TOEIC800点（相当）を満たす大学院学生数
全学生数	
うち学部	学校基本調査「学生教職員等状況票」の学部学生数（科目等履修生・聴講生・研究生を含む）
うち大学院	学校基本調査「学生教職員等状況票」の大学院学生数（科目等履修生・聴講生・研究生を含む）

●教務システムの国際通用性

①ナンバリング実施状況・割合

(各年度5月1日時点)

※学部・大学院の両方に開かれた授業であっても、学部または大学院のいずれかで1科目として計上

用語	定義
ナンバリングを行っている授業科目数	
うち学部	学部の教育課程（4年間）で開設されるナンバリングを行っている授業科目数（外国語学部は除く）
うち大学院	総合国際学研究科の教育課程（計5年）で開設されるナンバリングを行っている授業科目数
全授業科目数	学部の教育課程（4年間）及び総合国際学研究科の教育課程（計5年）で開設される総授業科目数（外国語学部は除く）

②シラバスの英語化の状況・割合

(各年度5月1日時点)

※学部・大学院の両方に開かれた授業は、ダブルカウントする

用語	定義
シラバスを英語化している授業科目数	
うち学部	学部の教育課程（4年間）で開講されるシラバスが英語化されている授業科目数（外国語学部は除く）
うち大学院	総合国際学研究科の教育課程（計5年）で開講されるシラバスが英語化されている授業科目数
全授業科目数	学部の教育課程（4年間）及び総合国際学研究科の教育課程（計5年）で開講される総授業科目数（外国語学部は除く）

●大学の国際開放度

①奨学金支給の入学許可時の伝達

(各年度通年)

用語	定義
外国人留学生への奨学金支給の入学許可時の伝達数	入学許可前に伝達が可能なJASSO奨学金及び大学独自の奨学金の受給者が対象
奨学金を取得した外国人留学生数	JASSO海外留学支援制度、国際交流基金、国費大学推薦、授業料減免、公益財団ほか、奨学金受給者と授業料減免適用者の重複を確認し、実数を計上

②混住型学生宿舎の有無

(各年度5月1日時点)

用語	定義
混住型学生宿舎に入居している外国人留学生数	国際交流会館1号館に入居している外国人留学生数
留学生宿舎に入居している外国人留学生数	国際交流会館1～3号館に入居している外国人留学生数の合計値
混住型宿舎に入居している日本人学生数	国際交流会館3号館に入居している日本人学生数

全日本人学生数	学校基本調査「学生教職員等状況票」の学部及び大学院学生数から「外国人学生調査票」の合計数を引いた値（科目等履修生・聴講生・研究生は含まない）
---------	------------------------------------------------------------------------

ガバナンス改革関連

●年俸制の導入

（各年度5月1日時点）

用語	定義
年俸制適用者（教員）数	専任教員の年俸制適用者と特定有期雇用職員（特定教員・特定外国語教員）の人数
全専任教員数	学校基本調査「学生教職員等状況票」の教員数（本務者）の合計値
年俸制適用者（職員）数	特定有期雇用職員（事務系・特定研究員）の人数
全専任職員数	学校基本調査「学生教職員等状況票」の職員数（本務者）の合計値

●テニユアトラック制の導入

（各年度通年）

用語	定義
テニユアトラック対象者数	年間専任教員採用者数のうち、テニユアトラック対象者として採用した者
年間専任教員採用者数	当該年度における専任教員の新規採用者数

●事務職員の高度化への取組

（各年度5月1日時点）

用語	定義
外国語力基準を満たす専任職員数	TOEFL(iBT) 65以上、TOEIC 600以上、IELTS 5.5以上、英検 準1級以上のいずれかを満たしている職員数（本務者）の合計値
全専任職員数	学校基本調査「学生教職員等状況票」の職員数（本務者）の合計値（特定専門職員を含む）

教育改革関連

●学生の主体的参加と大学運営への反映の促進

（各年度通年）

※学部・大学院の両方に開かれた授業は、ダブルカウントする

用語	定義
学生による授業評価実施授業科目数	
うち学部	当該年度に学部で開講された授業科目のうち、授業評価が実施された授業科目数（外国語学部は除く）
うち大学院	当該年度に総合国際学研究科で開講された授業科目のうち、授業評価が実施された授業科目数

全授業科目数	当該年度に学部及び研究科で開設され、履修者がいた授業科目の合計数（外国語学部は除く）
--------	--------------------------------------------

●TOEFL等外部試験の学部入試への活用

（各年度通年）

用語	定義
対象学部入学定員数	TOEFL等外部試験の活用した学部入試の入学定員（該当する定員が、若干名の場合は入学者数をカウント）
入学定員数	学部の全入学定員数

大学独自の成果指標

●語学力（語学力に関するチャレンジ目標達成者）

（各年度通年）

用語	定義
チャレンジ目標達成者数	3月学部卒業生のうち、 ①TOEIC900 ②TOEIC800点相当以上、かつ、たふれこに登録されているCEFR-J判定の5技能のうち、どれか一つでもC1以上 ③たふれこに登録されているCEFR-J判定の5技能のうち、英語を含め3つ以上の言語でB2 のいずれかに相当するスコア取得者 をカウントする
学部卒業生数	3月学部卒業生数

●Joint Education Program 開設数

（各年度通年）

用語	定義
Joint Education Program 開設数	学部及び大学院のJoint Education Program 開設数

●留学200%達成者

（各年度通年）

用語	定義
留学200%達成者	学部卒業生に占める二度の留学経験者。留学の定義は、留学白書に掲載しているものすべて。学生の国籍及び単位取得の有無は問わない。
学部卒業生数	

●本学学生の全世界的展開

(各年度通年)

用語	定義
各地域への留学生数	本学学部・大学院からの留学生の留学先を地域別に分類する。留学の定義は留学白書に掲載しているものすべて。学生の国籍及び単位取得の有無は問わない。2回留学した場合は2回とも数えるが、一度の留学で2か国・地域を訪れた場合は、最初に留学した地で数を算出する。

●Global Japan Office の設置数

(各年度通年)

用語	定義
Global Japan Office の設置数	Global Japan Office の設置数 (Global Japan Deskを含む)

(本件担当)

東京外国語大学国際化拠点室

Tel: 042-330-5534

Mail: kokusai-kyoten@tufs.ac.jp